

平成30年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成30年9月

目 次

ページ

1	調査目的	1
2	調査対象者・実施日・調査内容	1
3	倉敷市の学力の特徴	2
	(1) 平均正答率の比較	3
	(2) 正答数分布の比較	5
	(3) 各学校のA, Bそれぞれの問題における全国平均との差の散布図	11
	(4) 小学6年生 設問別の概要【設問順】	15
	(5) 小学6年生 設問別の概要【全国との差順】	21
	(6) 中学3年生 設問別の概要【設問順】	27
	(7) 中学3年生 設問別の概要【全国との差順】	37
4	児童生徒質問紙・学校質問紙から見える特徴	48
	(1) 質問ごとの分析	49
	(2) 児童質問紙 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【設問順】	57
	(3) 児童質問紙 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【全国差順】	59
	(4) 生徒質問紙 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【設問順】	61
	(5) 生徒質問紙 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【全国差順】	63
	(6) 学校質問紙 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【設問順】	65
	(7) 学校質問紙 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【全国差順】	67
	(8) 学校質問紙 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【設問順】	69
	(9) 学校質問紙 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合【全国差順】	71
5	総括	73
	(1) 学力調査の結果から	74
	(2) 児童生徒質問紙の結果から	76
	(3) 学校質問紙の結果から	77
	(4) 考察	78
	〈参考資料〉	

平成30年度 全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象者・実施日・調査内容

(1) 調査対象者

市立小学校	63校	第6学年児童	4,525人
市立中学校	26校	第3学年生徒	4,271人
倉敷市受検者数	4月17日受検		
小学6年生	…	4,414人	
中学3年生	…	4,078人	

(2) 実施日 平成30年4月17日(火)

(3) 調査内容

- ①教科に関する調査(国語, 算数・数学, 理科)
 - ・A問題(主として「知識」に関する問題)
 - ・B問題(主として「活用」に関する問題)
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・質問紙調査(児童生徒質問紙)
 - ・学校に対する調査(学校質問紙)

本報告書の数値は、国立・私立学校を除く公立学校の数値のため、他の報告書等で公表されている数値と、小数点以下のポイントに僅かな差異が生じている場合がある。

3 倉敷市の学力の特徴

(1) 平均正答率の比較

※国語，算数・数学におけるAは主として「知識」に関する問題，Bは主として「活用」に関する問題

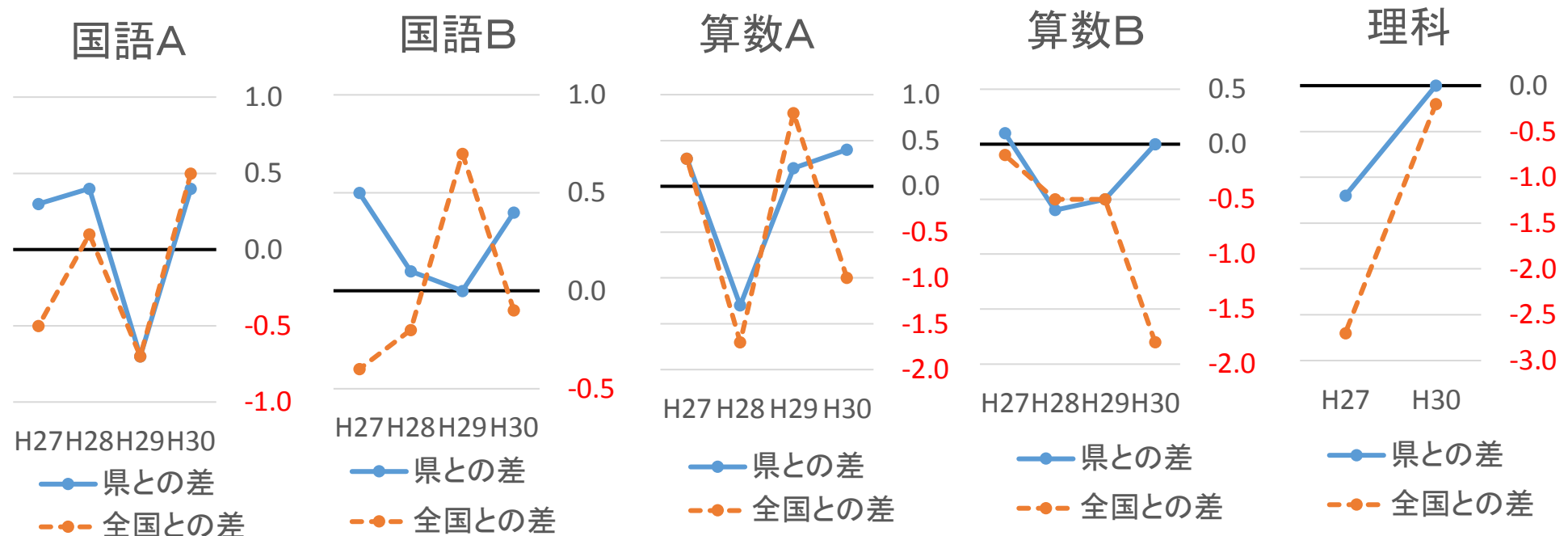
【小学6年生】

全国における岡山県の順位：

年度	H26	H27	H28	H29	H30
順位	38位	28位	25位	19位	31位

教科	国語								算数								理科	
	A				B				A				B				H27	H30
年度	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H30
倉敷市平均	69.5	73.0	74.1	71.2	65.0	57.6	58.2	54.6	75.5	75.9	79.4	62.5	44.9	46.7	45.4	49.7	50.3	60.1
岡山県平均	69.2	72.6	74.8	70.8	64.5	57.5	58.2	54.3	75.2	77.2	79.2	62.1	44.8	47.3	45.9	49.7	51.5	60.1
全国平均	70.0	72.9	74.8	70.7	65.4	57.8	57.5	54.7	75.2	77.6	78.6	63.5	45.0	47.2	45.9	51.5	53.0	60.3
岡山県との差	0.3	0.4	-0.7	0.4	0.5	0.1	0.0	0.3	0.3	-1.3	0.2	0.4	0.1	-0.6	-0.5	0.0	-1.2	0.0
全国との差	-0.5	0.1	-0.7	0.5	-0.4	-0.2	0.7	-0.1	0.3	-1.7	0.8	-1.0	-0.1	-0.5	-0.5	-1.8	-2.7	-0.2

岡山県・全国との差の推移



○倉敷市の平均正答率について

H30の倉敷市の平均正答率について，H29と比較すると，国語Aでは，-2.9，国語Bでは，-3.6ポイントとなっている。全国も同様の傾向が見られ，問題の難化傾向が見られる。算数Aは，-16.9ポイントと問題の著しい難化傾向が見られる。算数Bは+4.3ポイントとなっている。理科は，前回より+9.8ポイントと問題の難易度が下がっている。

○岡山県平均との比較について

H30の倉敷市の平均正答率について，すべての教科において県平均以上であった。

○全国平均との比較について

市平均と全国平均との差は，前回と比べて，国語Aと理科で改善されている。特に理科は，2.7ポイント差が開いていたが，平成30年度は0.2ポイントの差となっており2.5ポイント差が縮まっている。国語B，算数A，算数Bでは差が開いている。

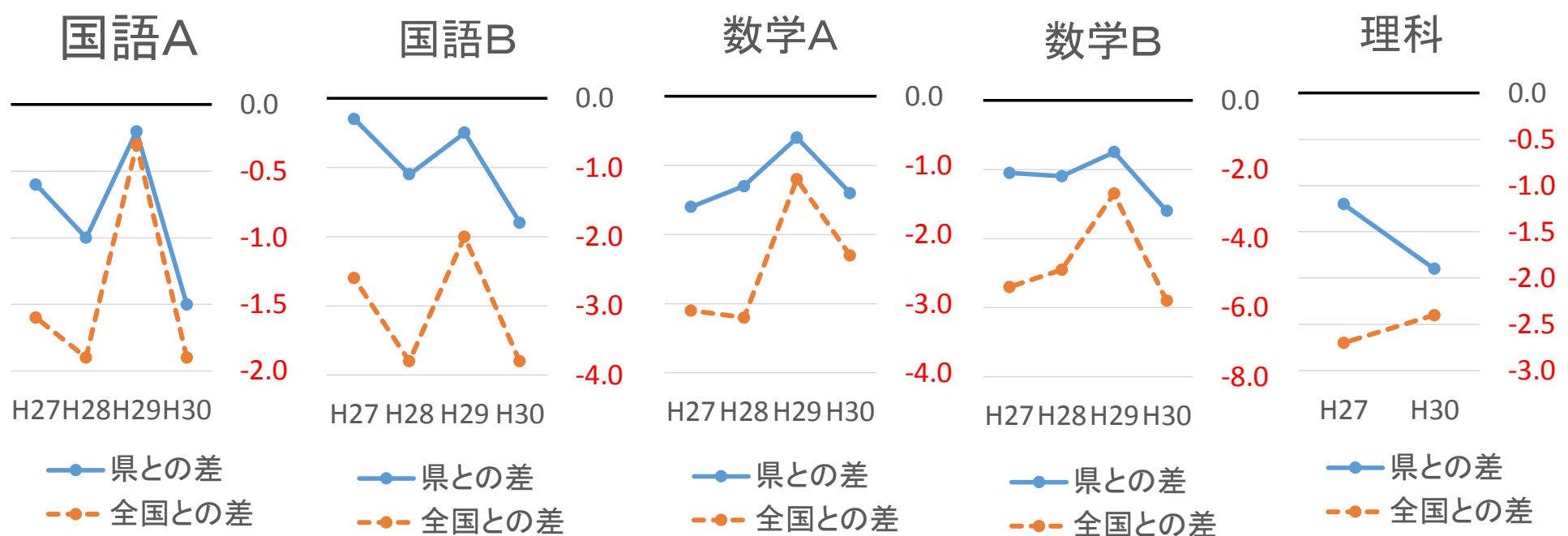
【中学3年生】

全国における岡山県の順位：

年度	H26	H27	H28	H29	H30
順位	42位	41位	41位	34位	40位

教科	国語								数学								理科	
	A				B				A				B					
年度	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H30
倉敷市平均	74.2	73.7	77.1	74.2	63.2	62.7	70.2	57.4	61.3	59.0	63.4	63.8	36.2	39.2	45.4	41.1	50.3	63.7
岡山県平均	74.8	74.7	77.3	75.6	63.5	63.8	70.7	59.2	62.9	60.3	64.0	65.3	38.3	41.4	46.9	44.3	51.5	65.6
全国平均	75.8	75.6	77.4	76.1	65.8	66.5	72.2	61.2	64.4	62.2	64.6	66.1	41.6	44.1	48.1	46.9	53.0	66.1
岡山県との差	-0.6	-1.0	-0.2	-1.4	-0.3	-1.1	-0.5	-1.8	-1.6	-1.3	-0.6	-1.5	-2.1	-2.2	-1.5	-3.2	-1.2	-1.9
全国との差	-1.6	-1.9	-0.3	-1.9	-2.6	-3.8	-2.0	-3.8	-3.1	-3.2	-1.2	-2.3	-5.4	-4.9	-2.7	-5.8	-2.7	-2.4

岡山県・全国との差の推移



○倉敷市の平均正答率について

H30の倉敷市の平均正答率について、H29と比較すると、国語Aでは、-2.9ポイント、国語Bでは、-12.8ポイントとなっている。数学Aでは、+0.4ポイント、数学Bでは、-4.3ポイントとなっている。理科は、前回より+13.4ポイントとなっている。特に国語で問題の難易度が上がっているとともに、理科で問題の難易度が下がっている。

○岡山県平均との比較について

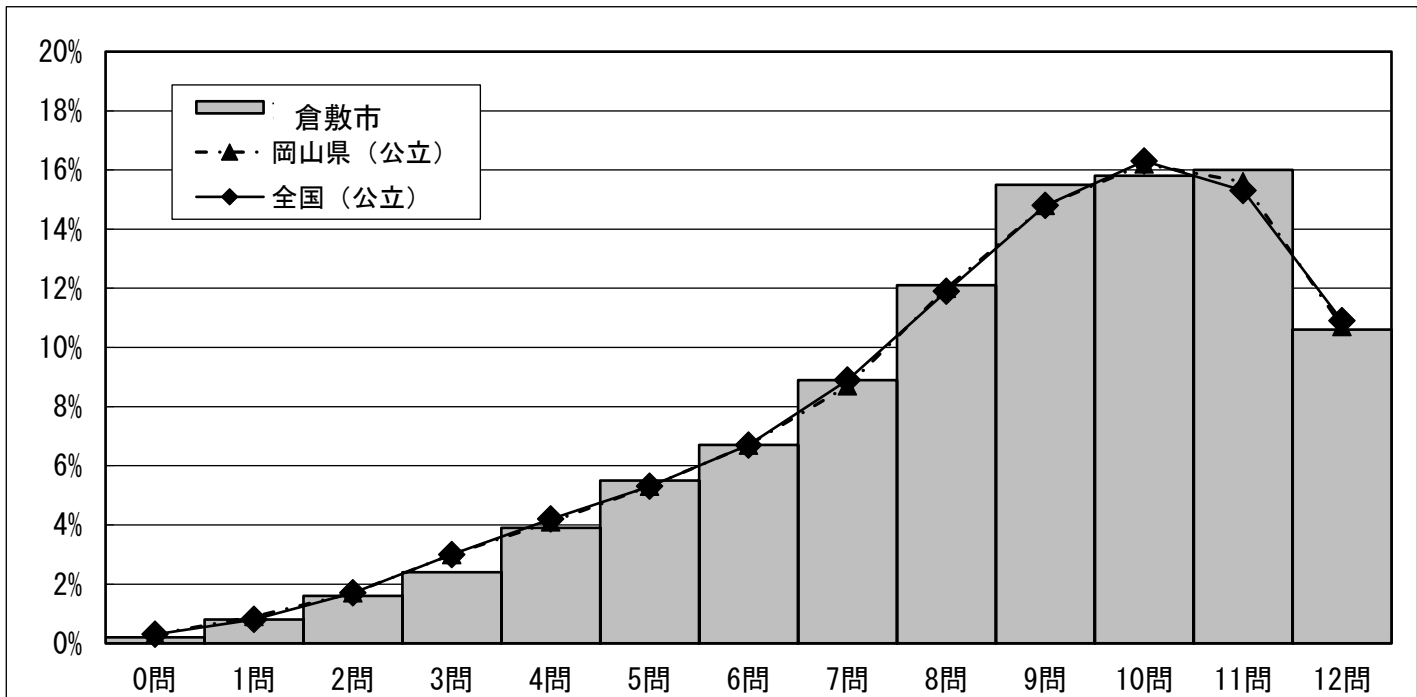
H30の岡山県平均との比較では、すべての調査内容で-1.4ポイントから-3.2ポイントとなっている。これまで県平均と差をつめていたが、今回その差が開いている。

○全国平均との比較について

H30の全国平均との比較では、すべての調査内容で-1.9ポイントから-5.8ポイントとなっている。これまで全国平均と差をつめていたが、今回その差が開いている。

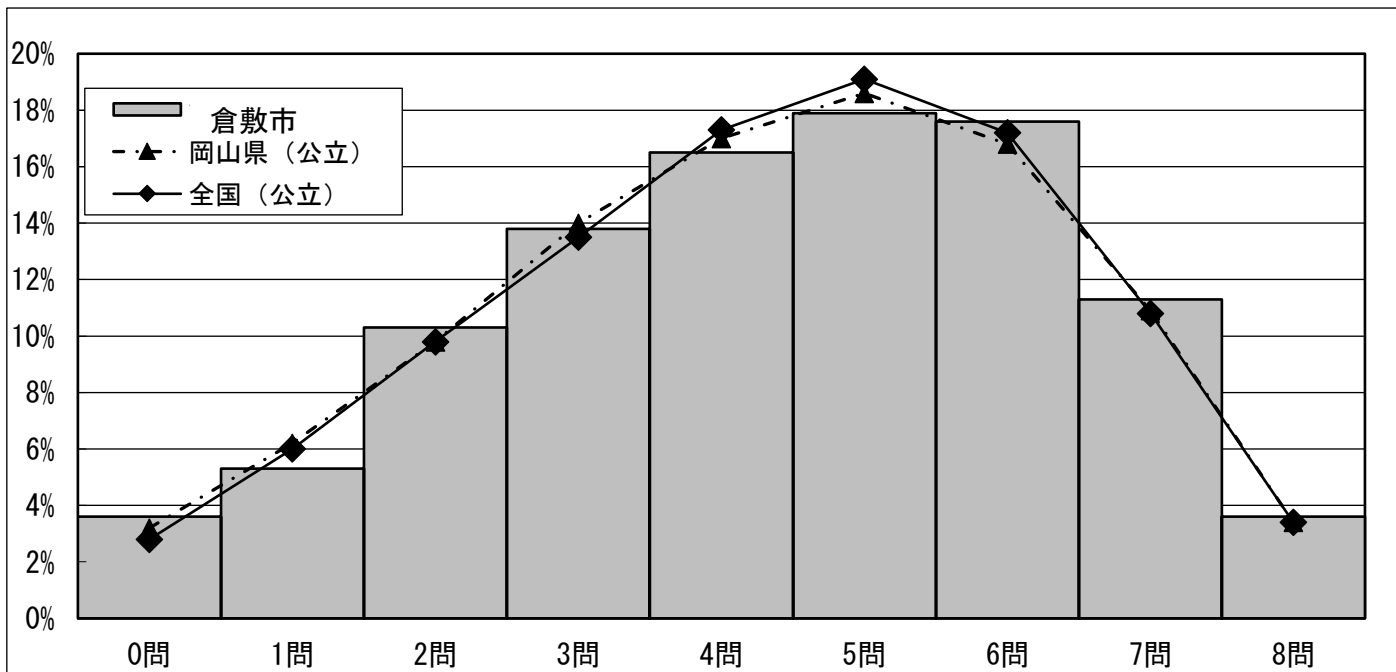
(2) 正答数分布の比較

【小学6年生 国語A】



○全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。

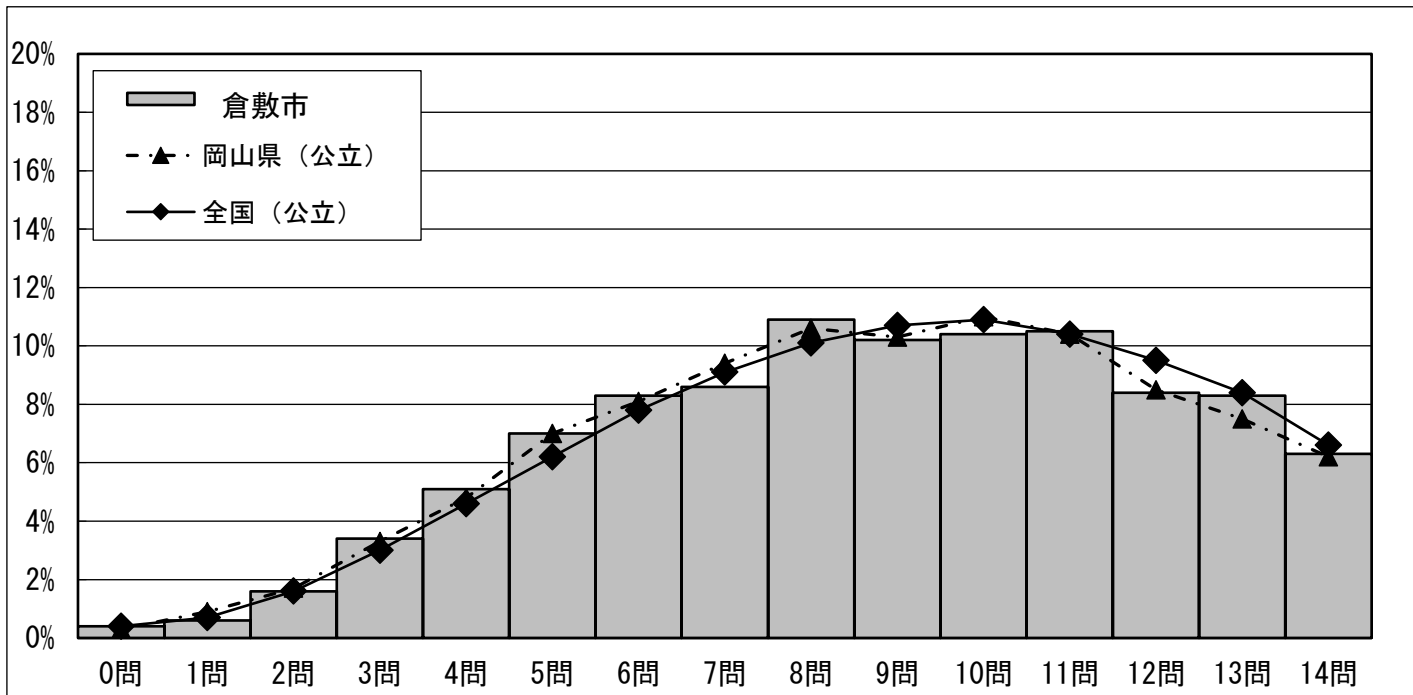
【小学6年生 国語B】



○全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。

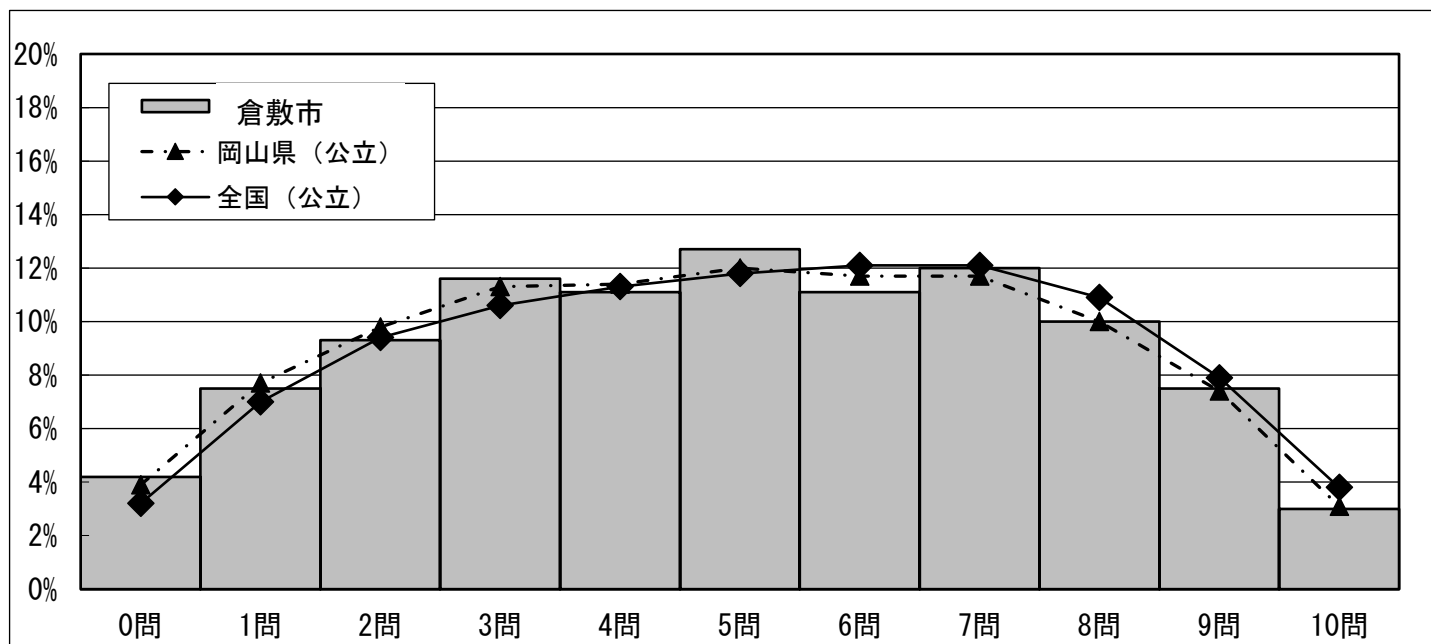
○全国, 岡山県と比べると, 全8問中0問, 6問正答の割合が高く, 4問, 5問正答の割合が低い。

【小学6年生 算数A】



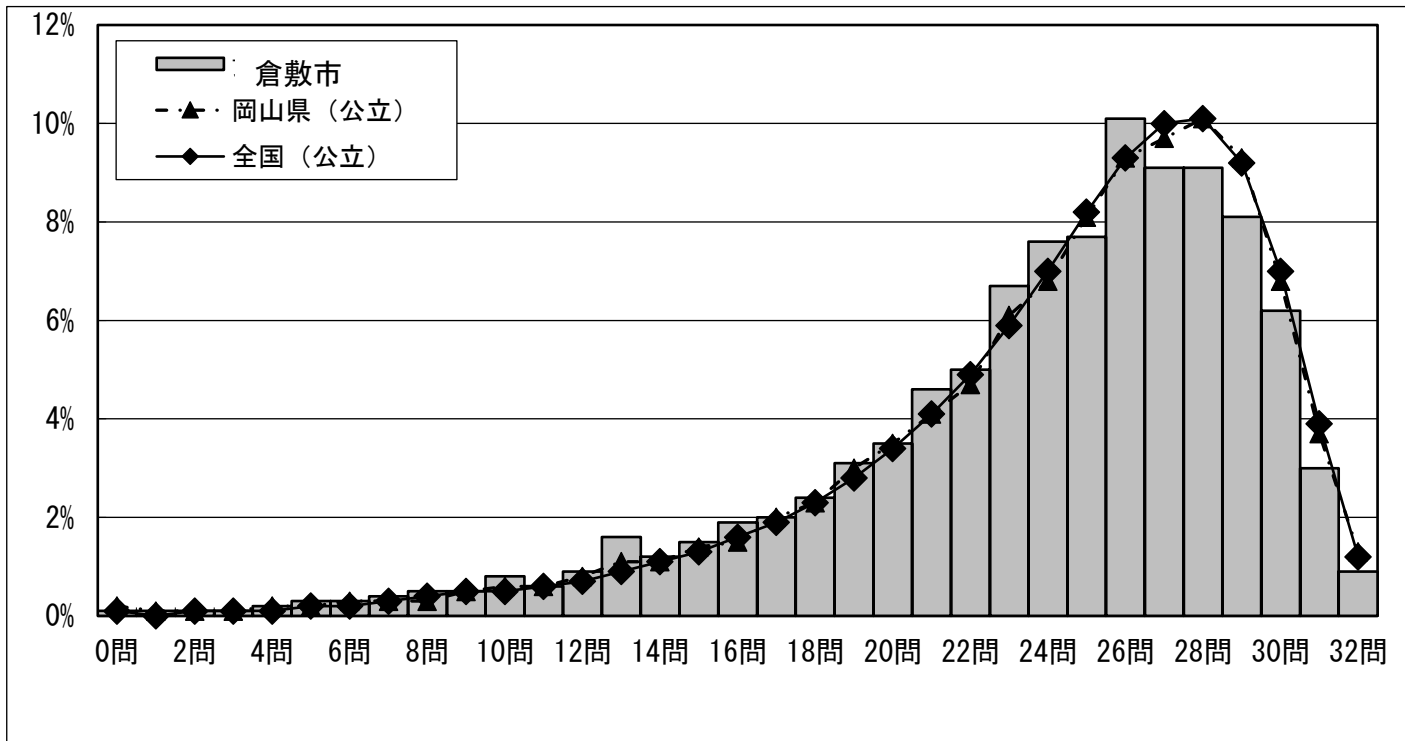
- 全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 全国と比べると, 全14問中5問, 8問正答の割合が高く, 12問正答の割合が低い。

【小学6年生 算数B】



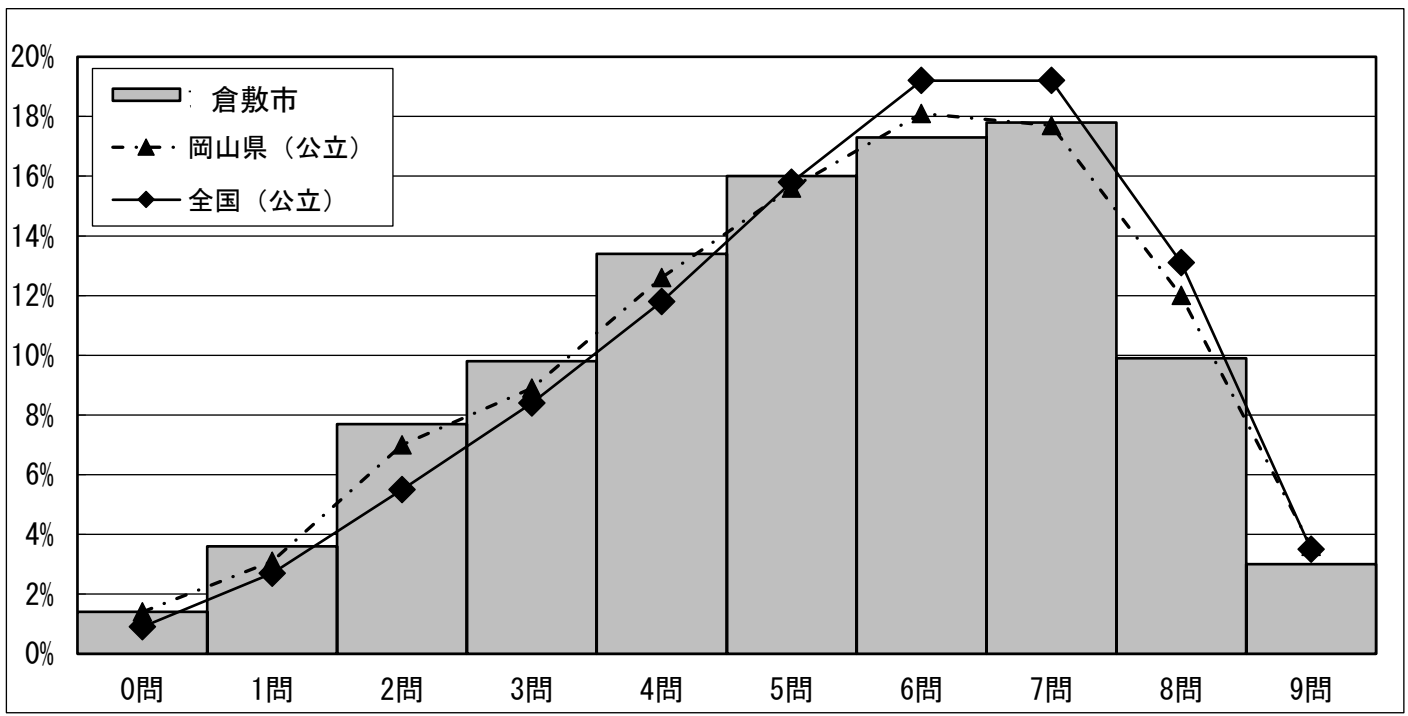
- 全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 全国と比べると, 全10問中8問以上正答の割合が低く, 0問, 1問, 3問, 5問正答の割合が高い。

【中学3年生 国語A】



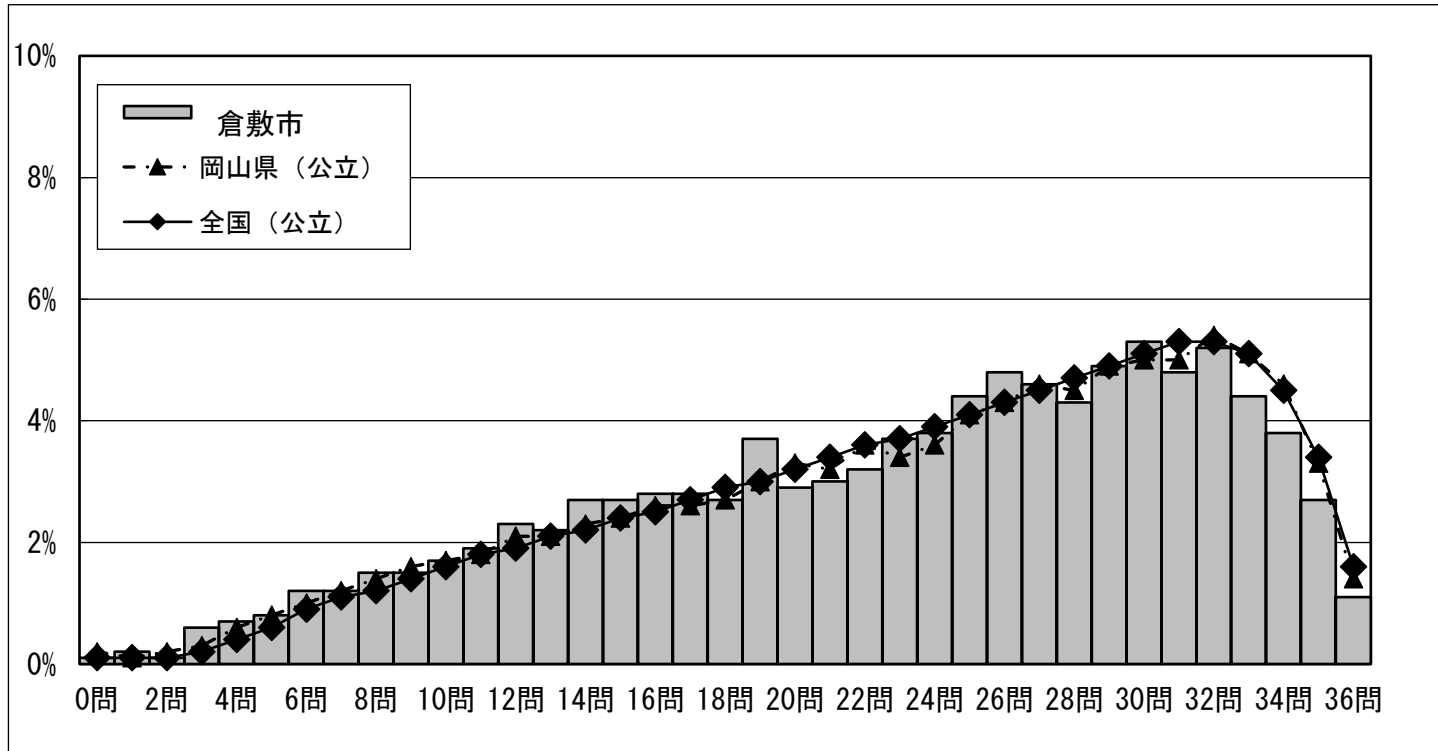
○全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。
 ○全国, 岡山県と比べると, 全32問中27問以上正答の割合が低い。

【中学3年生 国語B】



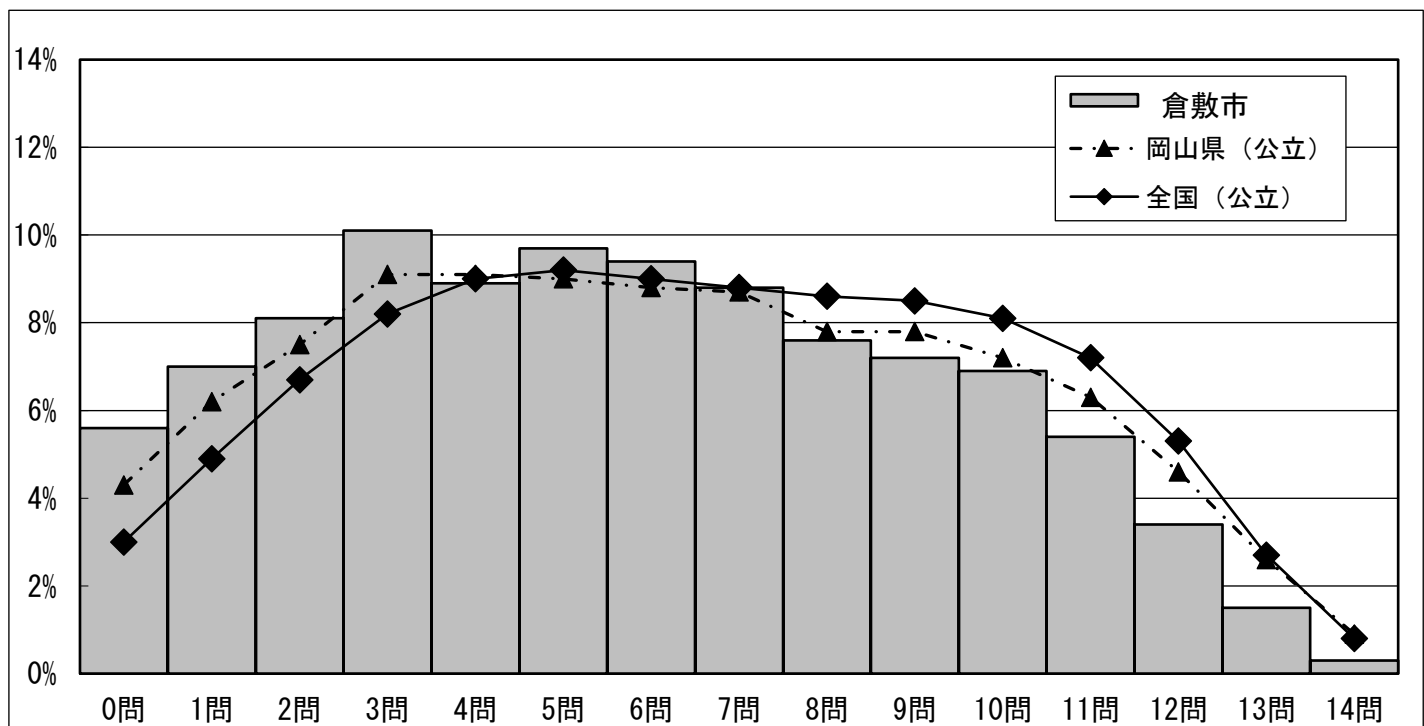
○全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。
 ○全国と比べると, 全9問中4問以下正答の割合が高く, 6問以上正答の割合が低い。

【中学3年生 数学A】



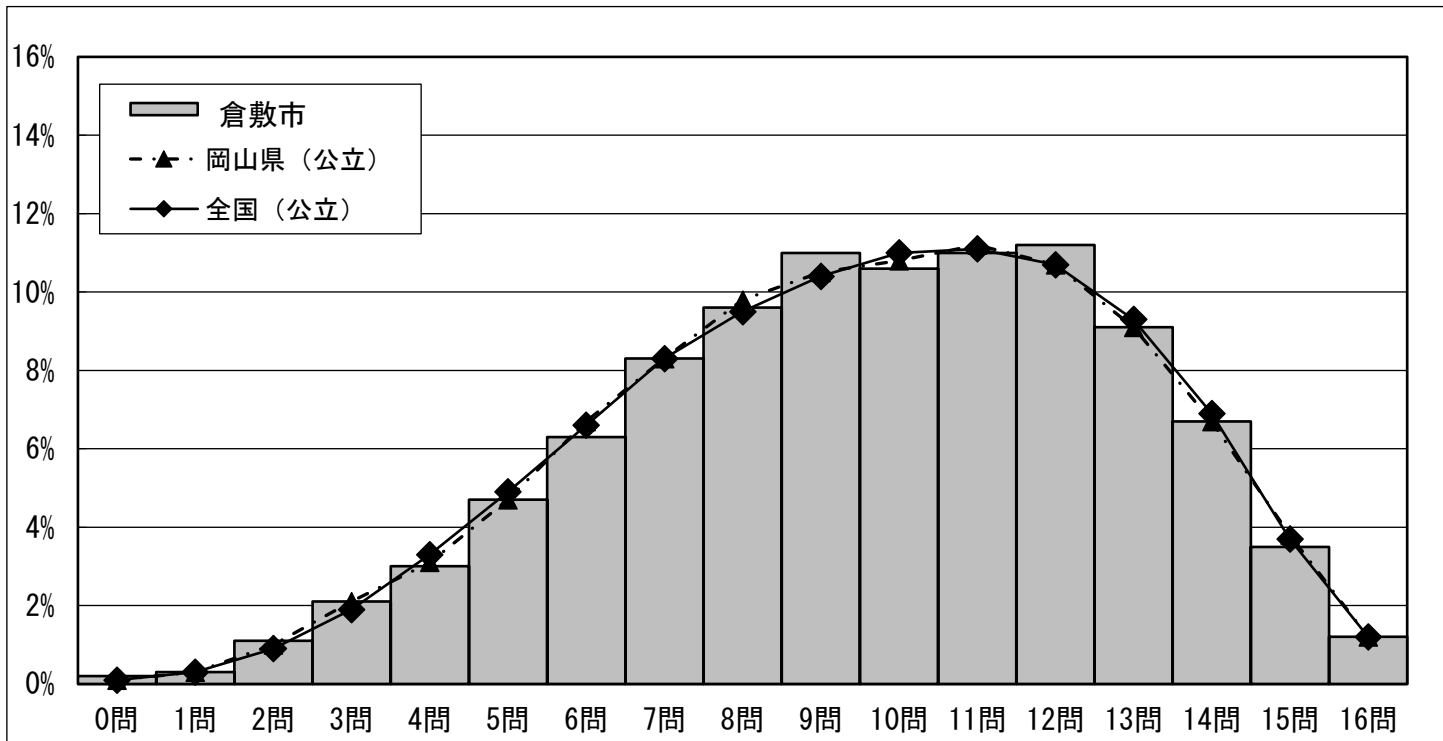
- 全国，岡山県と比べると，ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 全国，岡山県と比べると，全36問中19問以下で正答の割合が高いところが多く，33問以上正答の割合が低い。

【中学3年生 数学B】



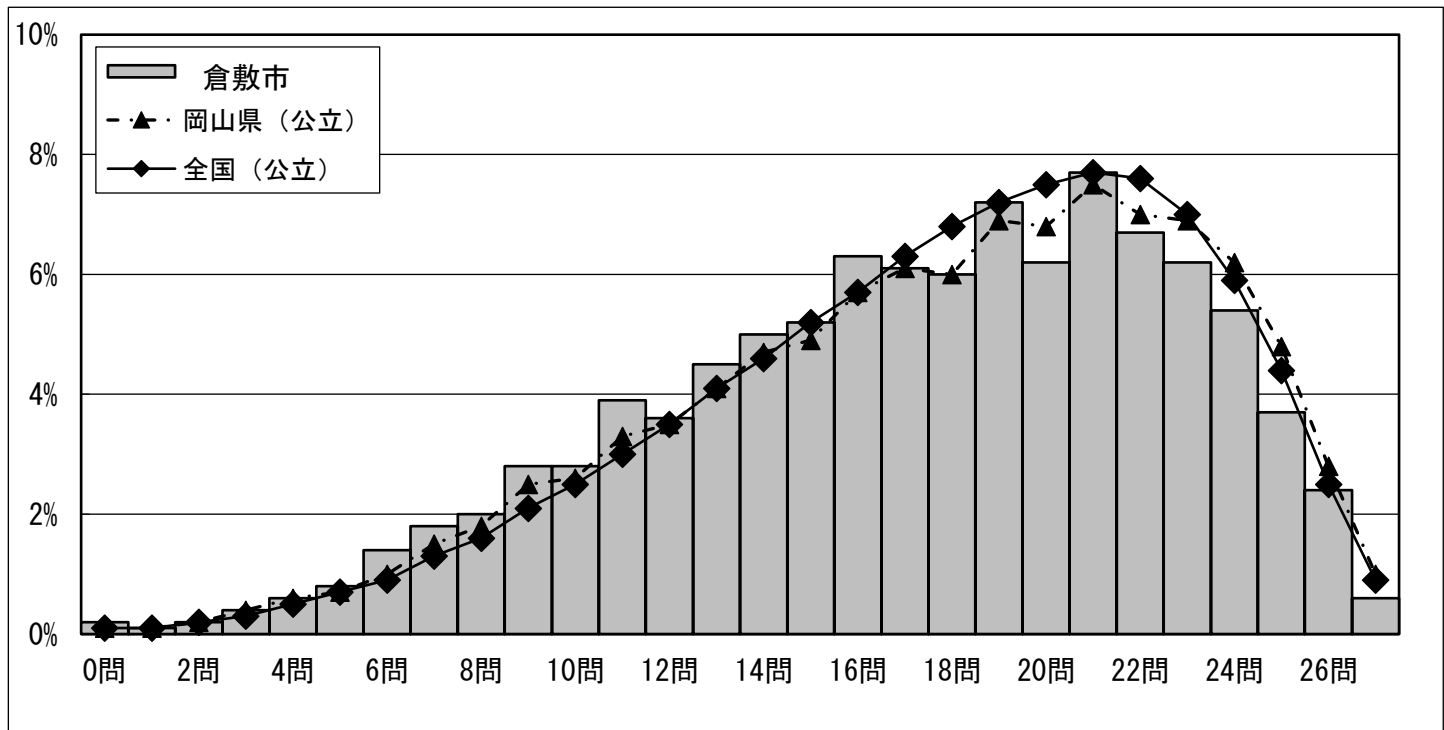
- 岡山県と比べると，ほぼ同様な正答数分布となっているが，全国と比べると7問正答を境に右側の割合が低く，左側の割合が高い。
- 岡山県と比べると，3問以下正答の割合が高く，11問以上正答の割合がかなり低い。

【小学6年生 理科】



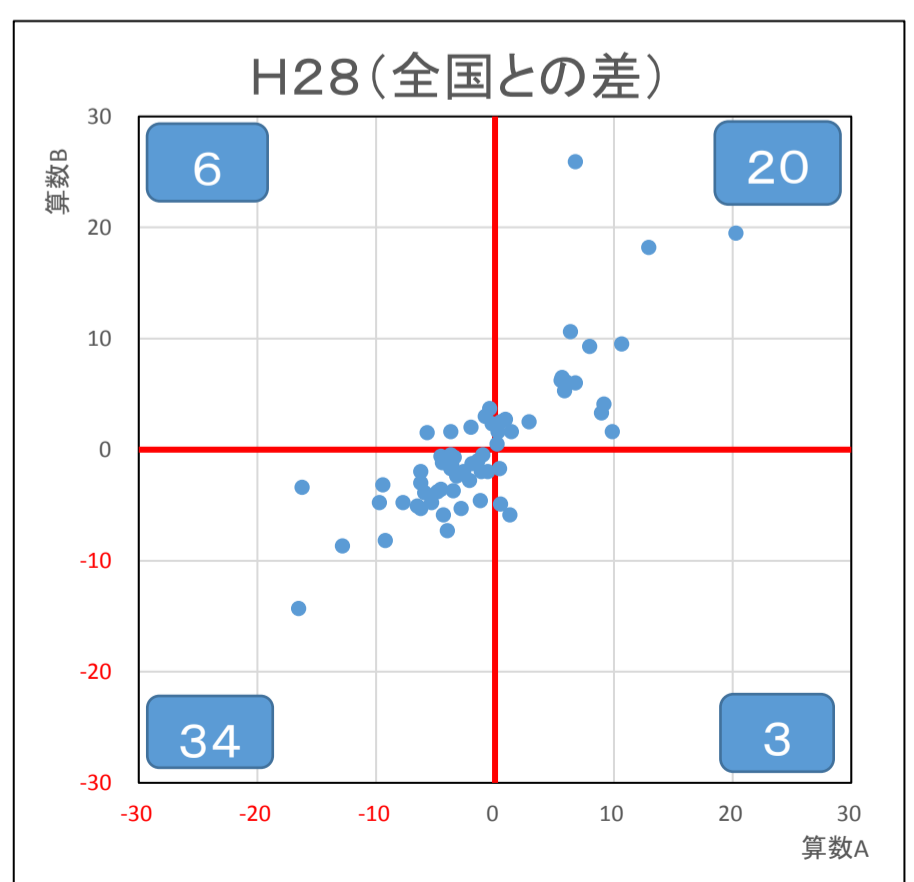
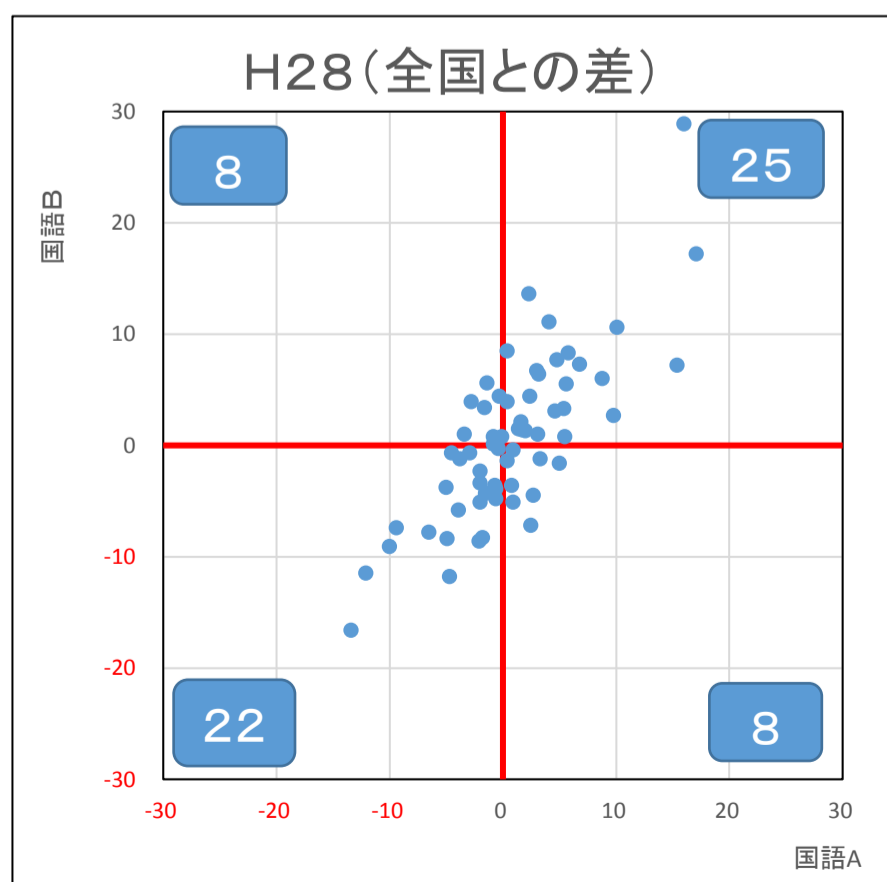
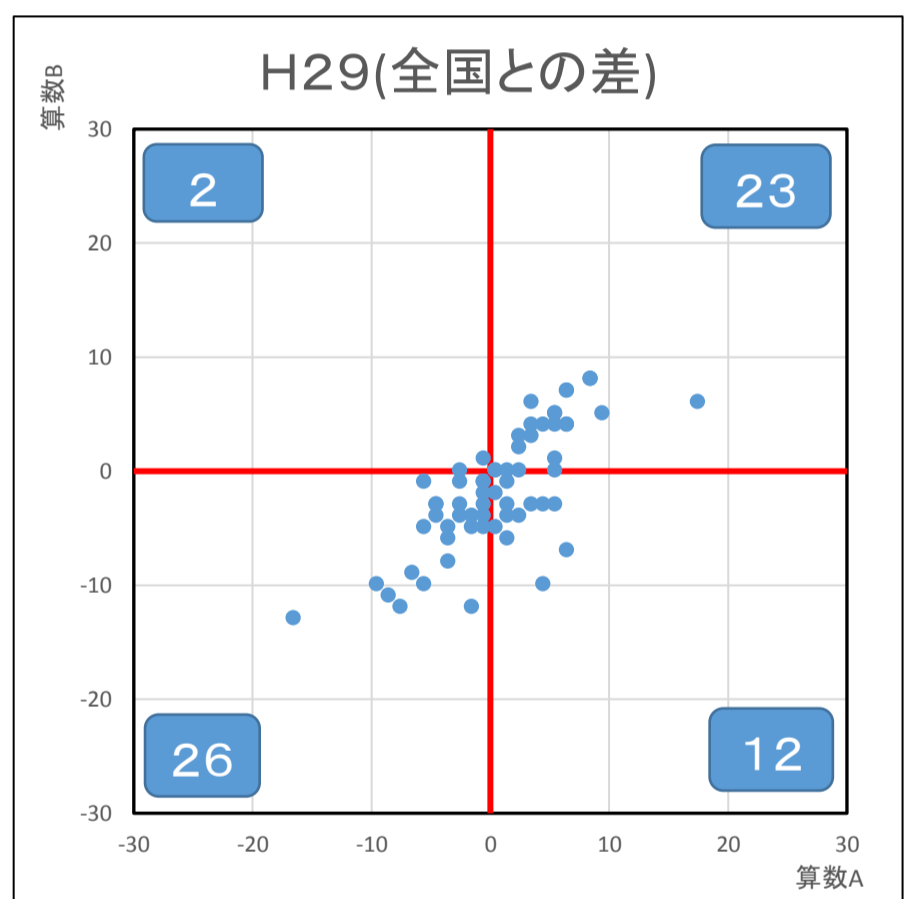
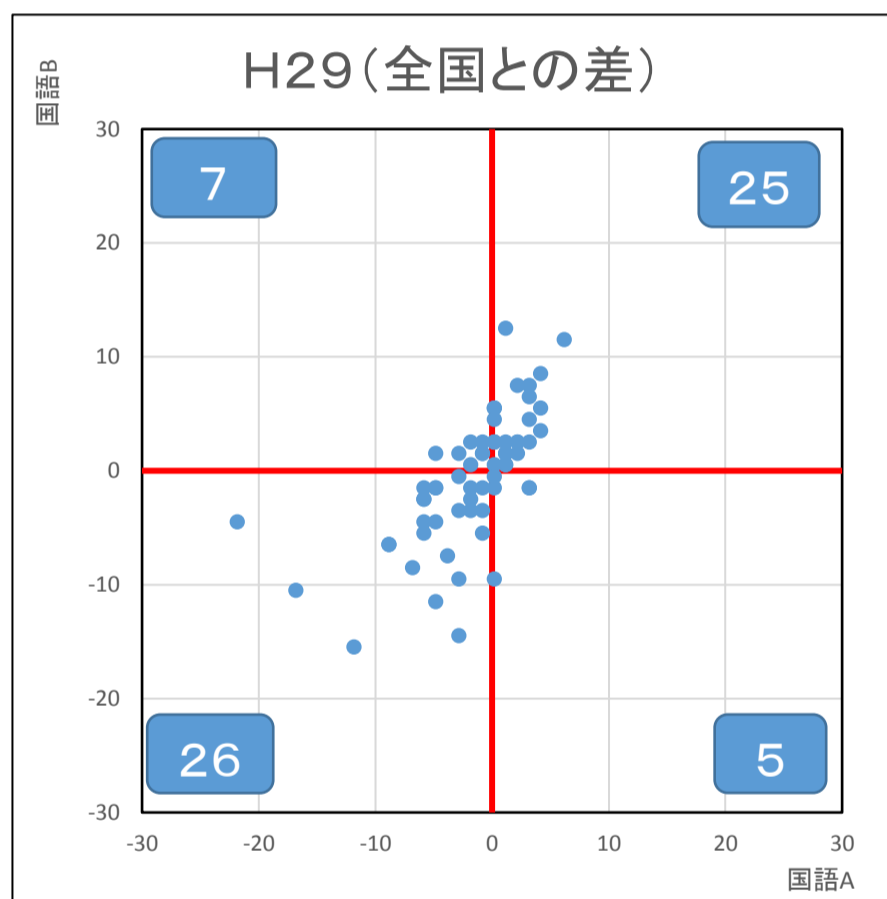
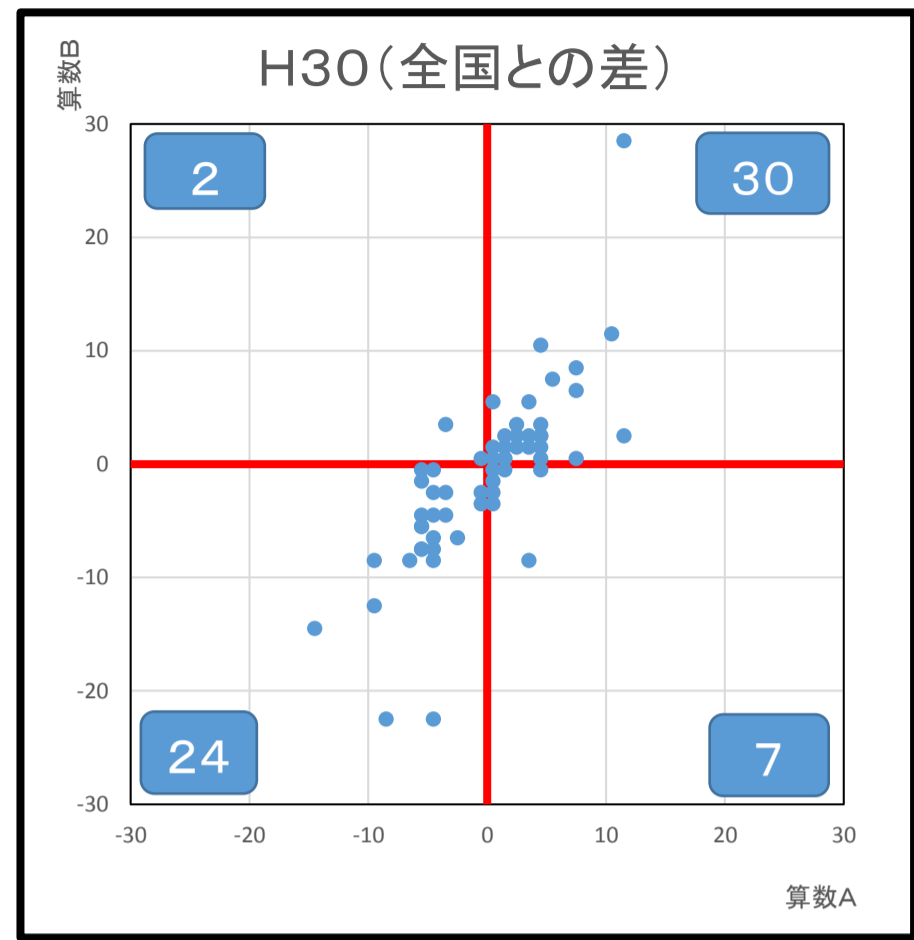
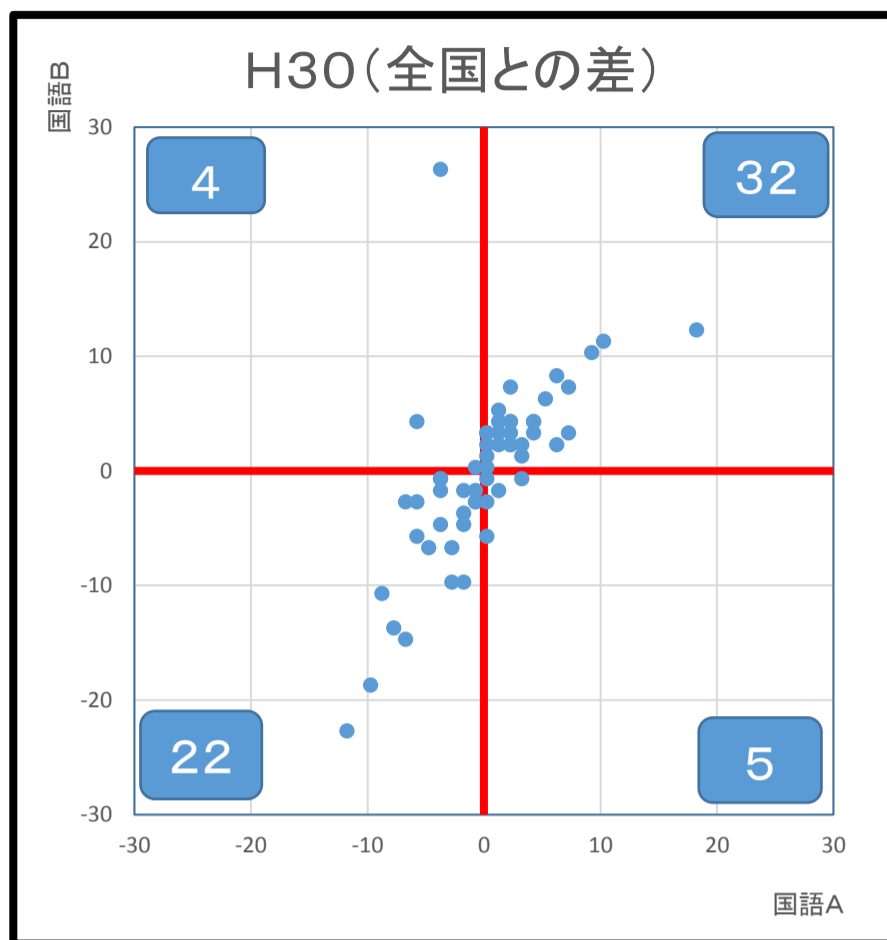
○全国, 岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっている。
 ○全国, 岡山県と比べると, 全16問中9問, 12問正答の割合が高い。

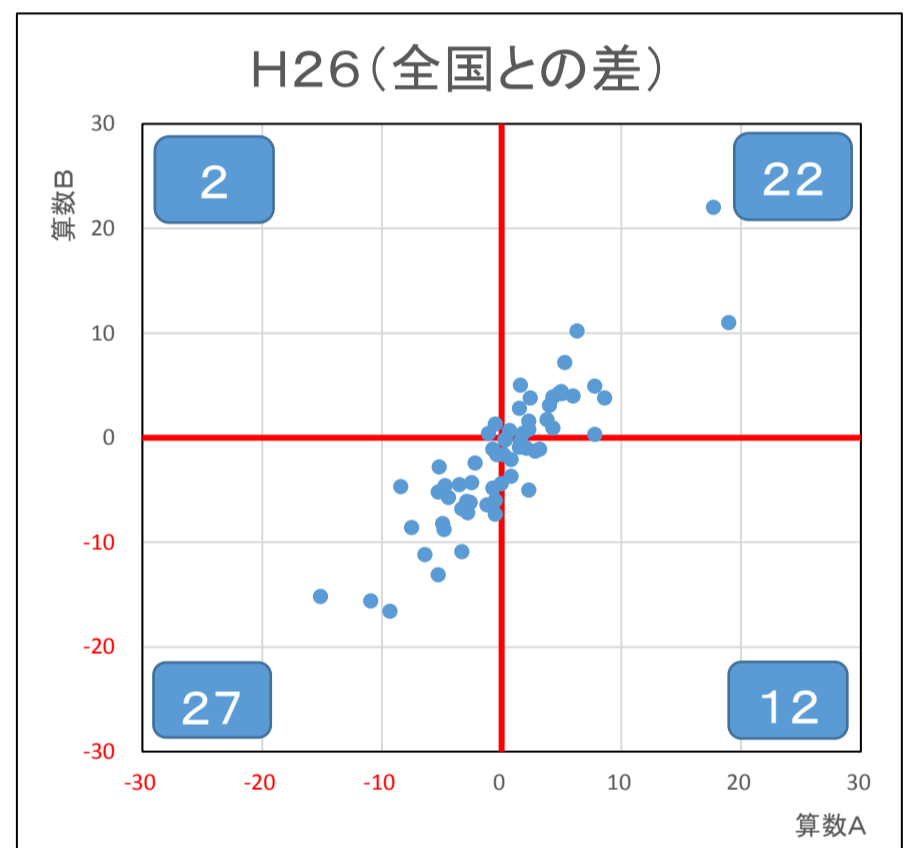
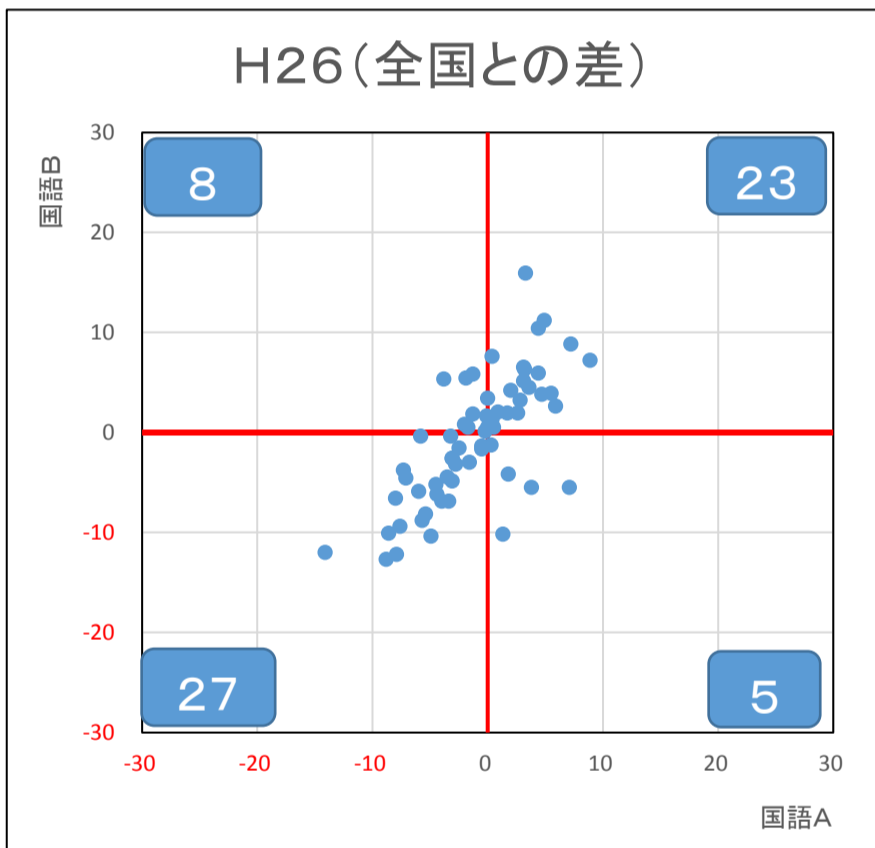
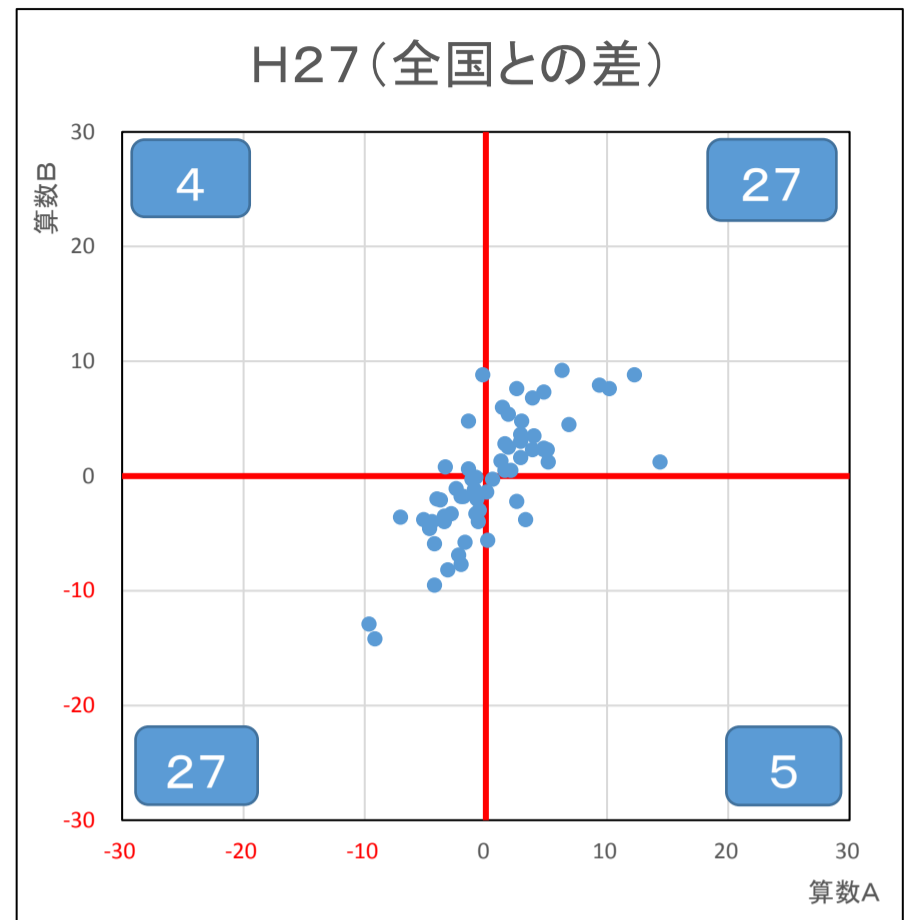
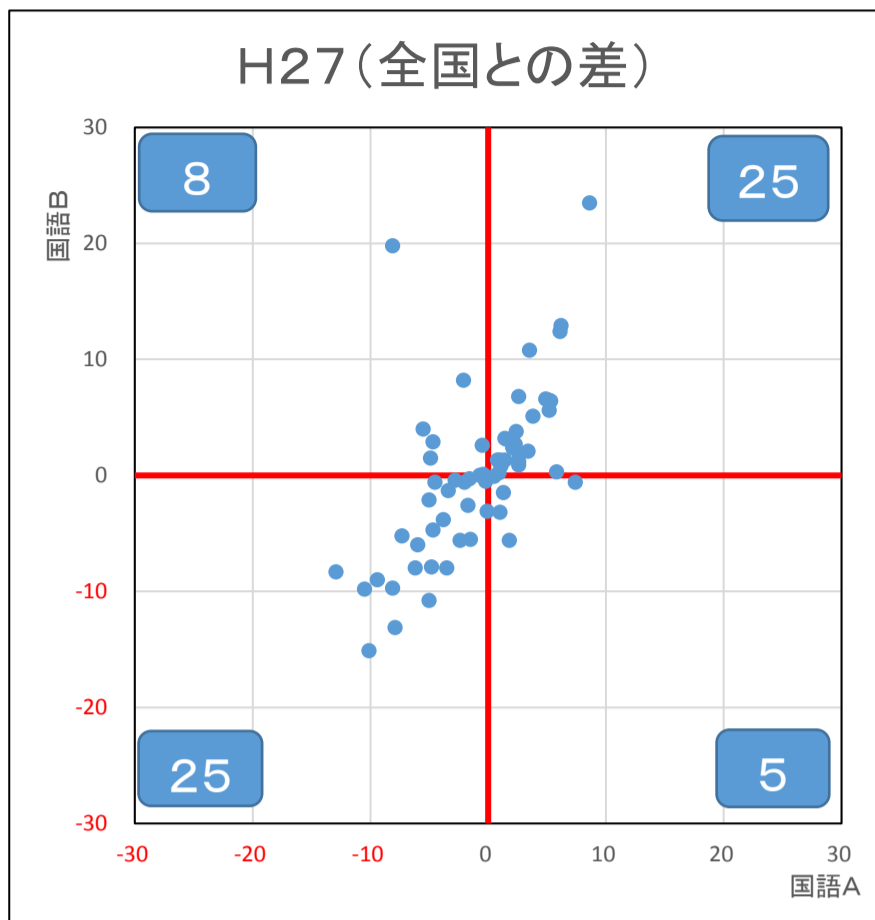
【中学3年生 理科】



○岡山県と比べると, ほぼ同様な正答数分布となっているが, 全国と比べると全27問中 18問, 20問, 22問以上25問以下正答の割合が低く, 16問以下で正答の割合が高いところが多い。

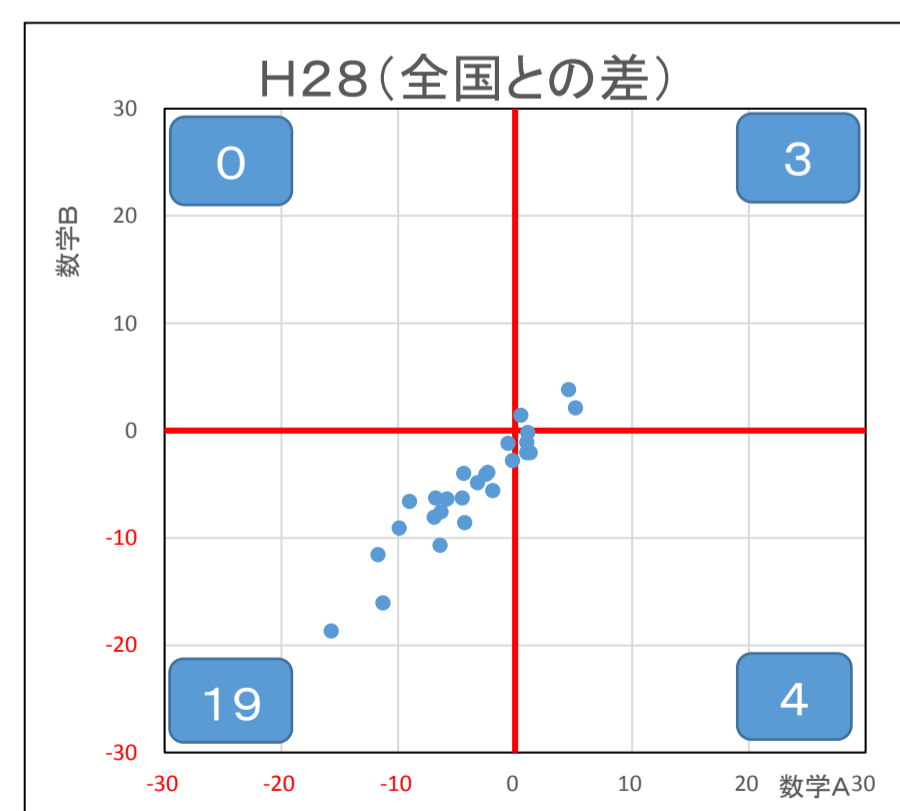
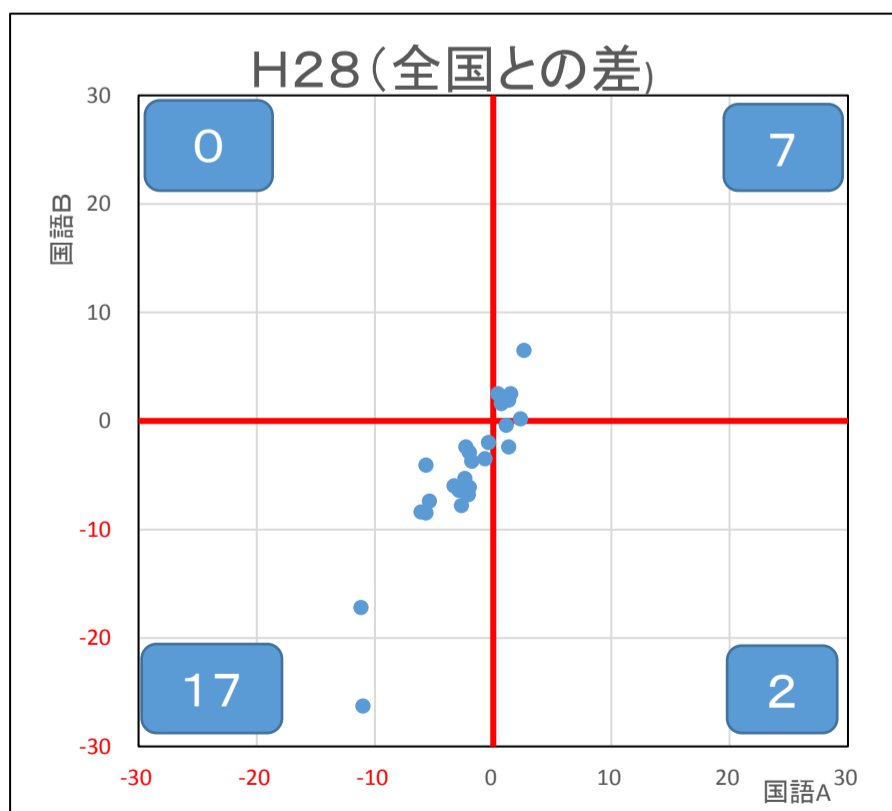
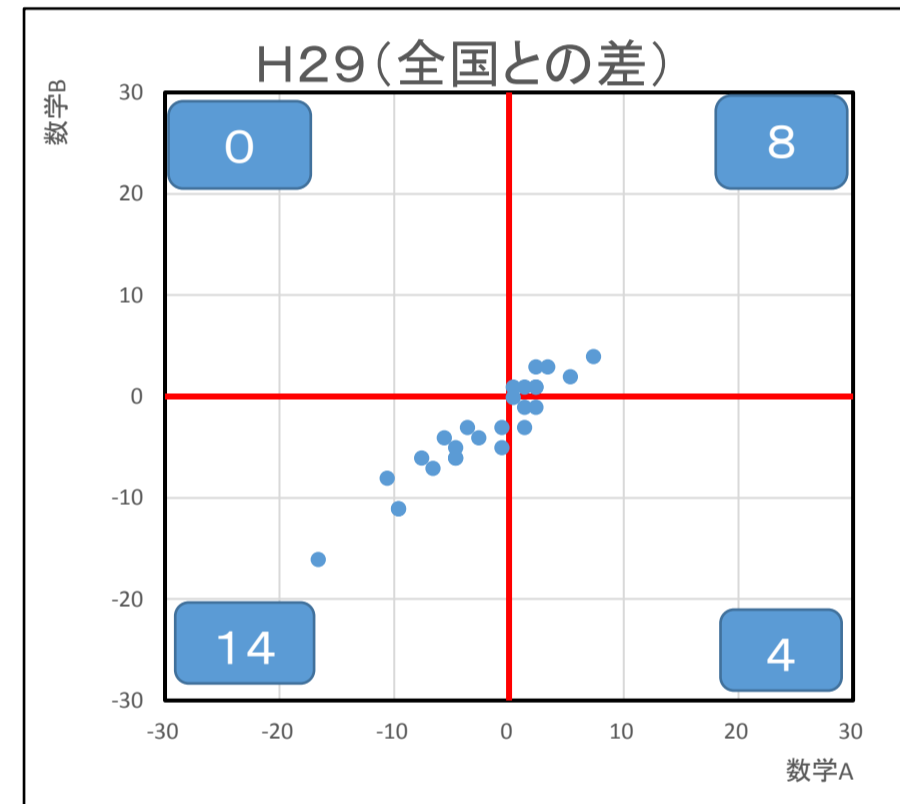
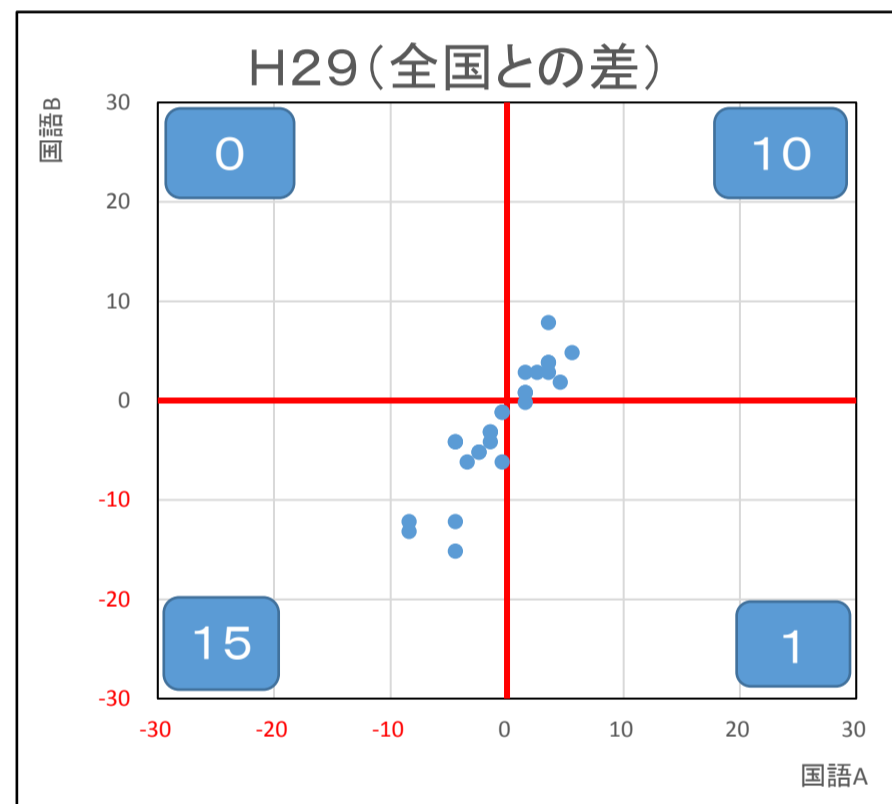
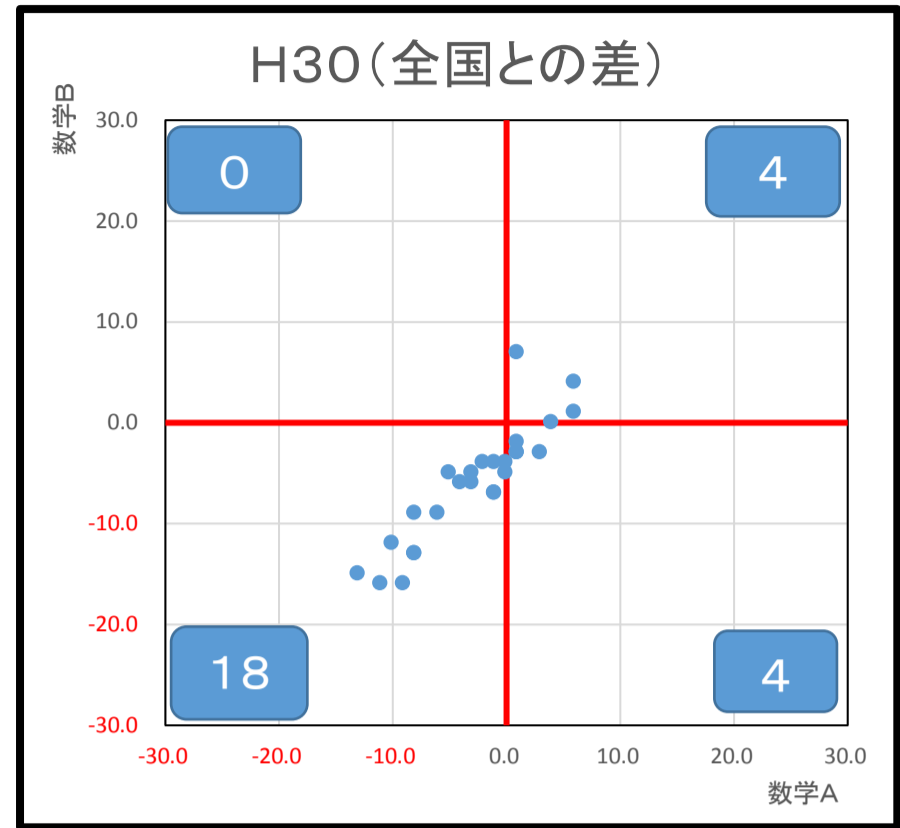
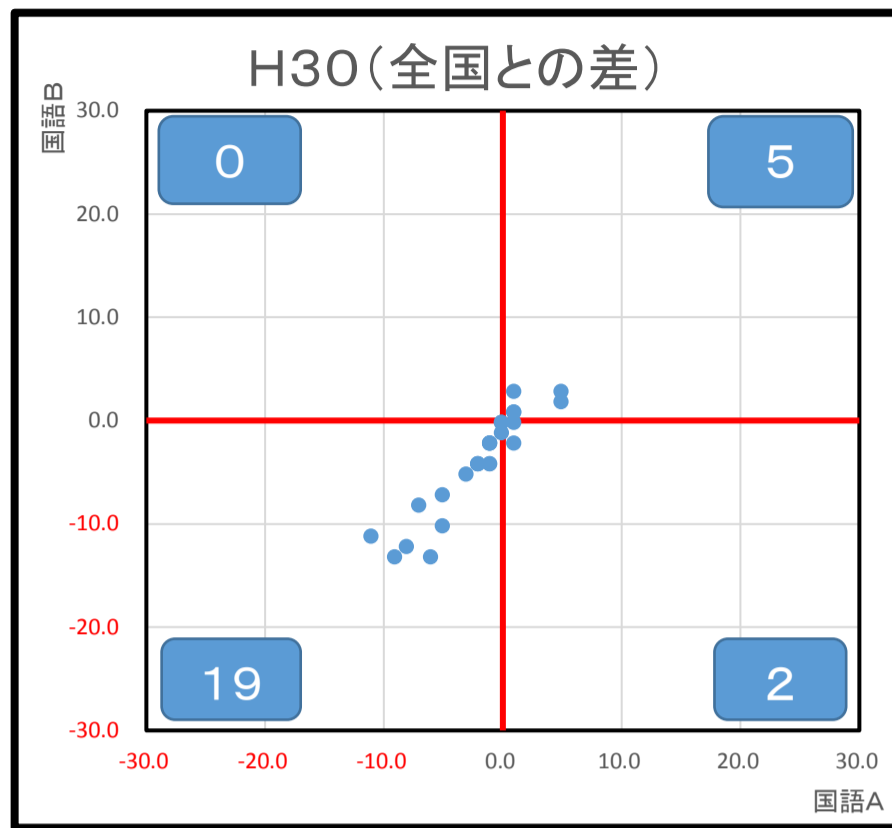
(3)各学校のA, Bそれぞれの問題における全国平均との差の散布図
【小学6年生】

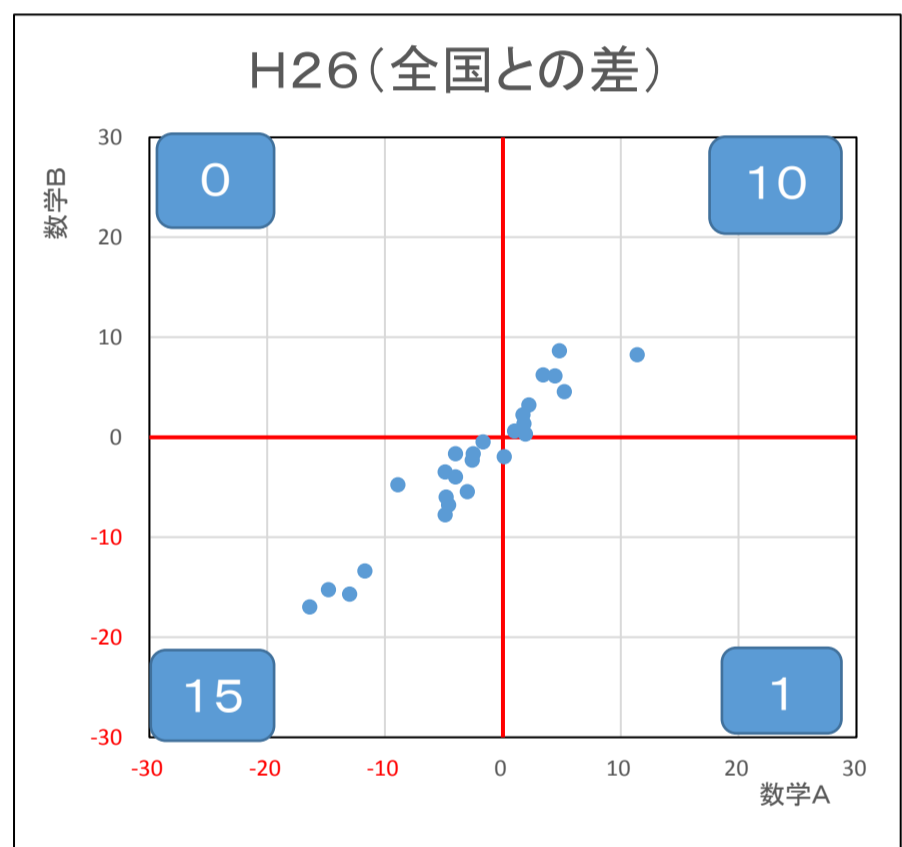
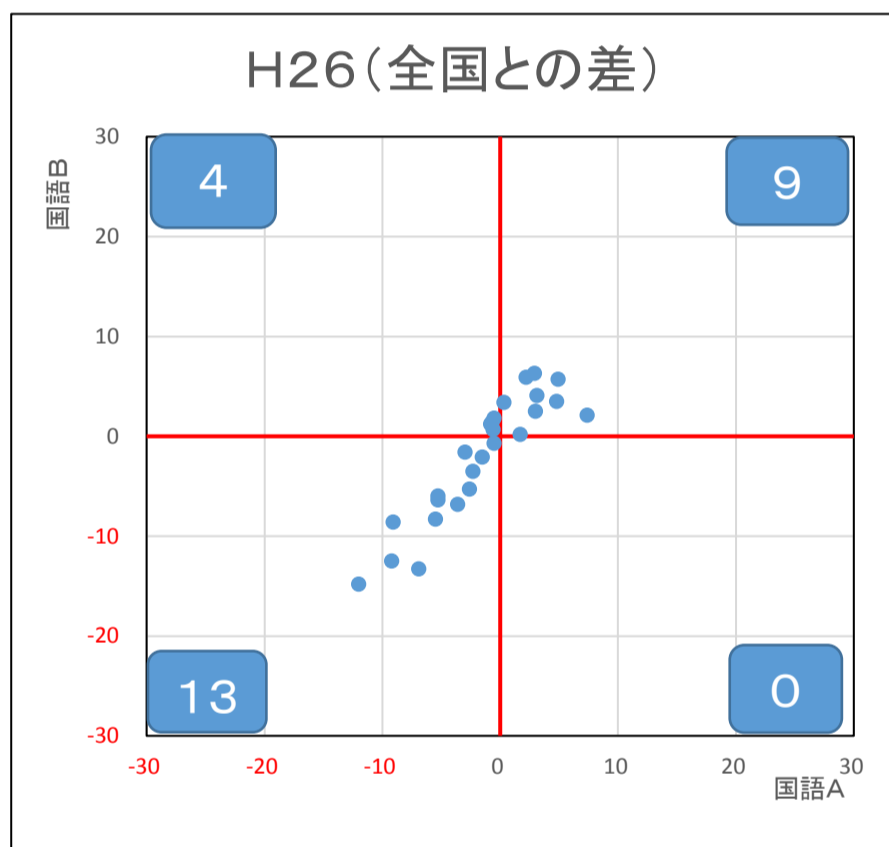
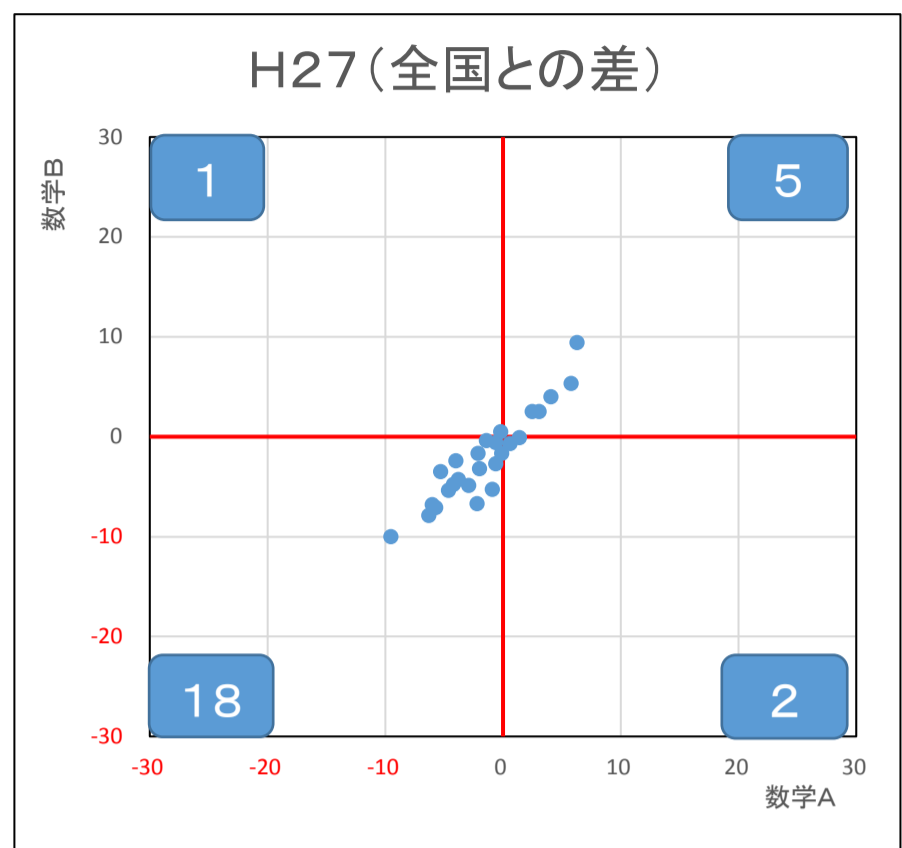
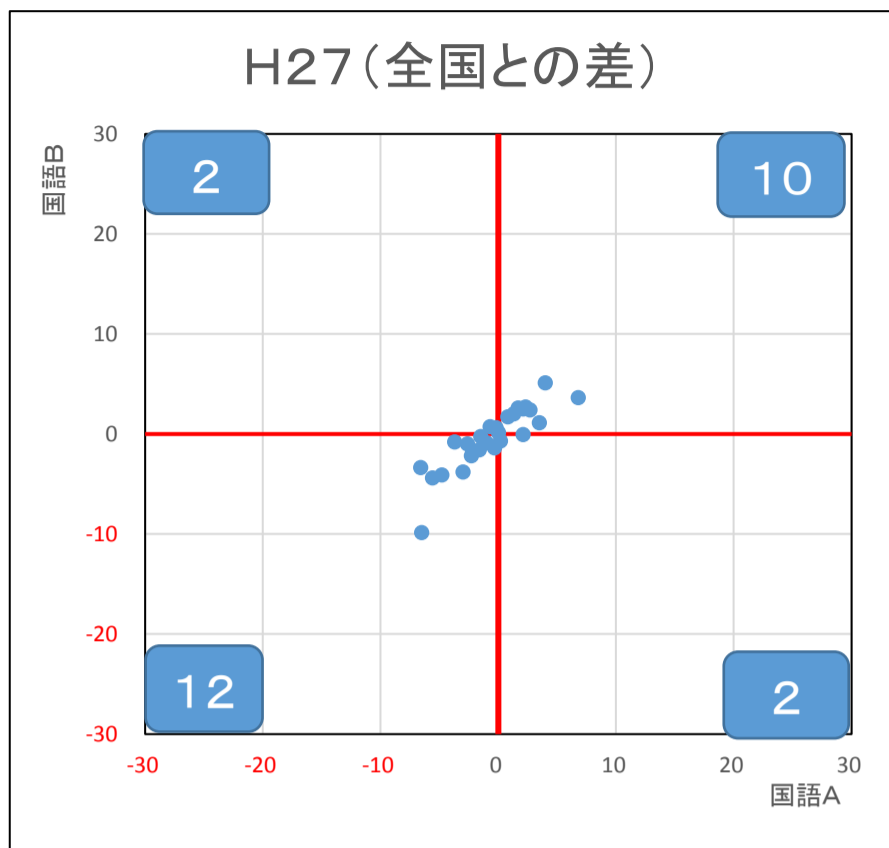




- 国語Aにおいて全国平均を上回る学校が増加した結果、国語A、国語Bともに全国平均を上回る学校数が増加している。
- 算数Bにおいて全国平均を上回る学校が増加した結果、算数A、算数Bともに全国平均を上回る学校数が増加している。
- 昨年度に比べ、国語、算数ともに分布が広がっており、学校間の学力差が開いている。

(3) 各学校のA, Bそれぞれの問題における全国平均との差の散布図
【中学3年生】





- 国語については、昨年度全国平均を上回っていた学校において、国語A、国語Bともに全国平均を下回る学校数が増加している。
- 数学については、昨年度全国平均の近くに分布していた学校において、数学A、数学Bともに全国平均を下回る学校数が増加している。数学Bにおいては、全国平均を10ポイント以上下回る学校数が増加している。
- 昨年度に比べ、全国平均との差が開いている学校が減少しており、度数の分布が狭まっている。

(4) 小学6年生 設問別の概要【設問順】
 【小学6年生 国語A：主として知識】【設問順】
 「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味
 A) 話すこと・聞くこと B) 書くこと C) 読むこと D) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 「評価の観点」のカタカナ表記の意味
 ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 書く能力 才) 言語についての知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		正答率 (%)						ベンチマークグラフ(対全国)			無解答率 (%)				
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	3・4 イ								○							91.5	90.6	90.8	0.7		0.1	0.1	0.1	0.0
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える	5・6 イ						○		○							73.1	72.5	73.8	-0.7		0.3	0.3	0.3	0.0
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える	3・4 イ								○							74.3	73.7	73.9	0.4		0.1	0.2	0.2	-0.1
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える	5・6 エ								○							73.5	74.1	74.0	-0.5		0.3	0.4	0.3	0.0
5	【春休みの出来事の一部】の中で、点線部と実線部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	3・4 (イ) (キ)									○						33.0	33.6	35.5	-2.5		3.4	3.6	3.9	-0.5
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う	3・4 (イ) (カ)								○							90.7	90.4	90.4	0.3		0.9	1.3	1.4	-0.5
7	【話を聞いている様子の一部】のアイに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う	5・6 (イ) (カ)								○							57.1	57.9	56.0	1.1		1.8	2.3	2.7	-0.9
8ア	文の中で漢字を使う(せい造)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 (イ) (ウ)								○							74.0	73.1	73.4	0.6		3.9	4.8	5.2	-1.3
8イ	文の中で漢字を使う(せつ備)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 (イ) (ウ)								○							84.7	82.9	82.2	2.5		4.7	5.8	6.3	-1.6
8ウ	文の中で漢字を使う(しよう毒)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 (イ) (ウ)								○							83.5	82.7	82.2	1.3		4.8	6.0	6.6	-1.8
8エ	文の中で漢字を使う(かん理)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 (イ) (ウ)								○							67.2	66.2	65.0	2.2		5.4	6.9	7.4	-2.0
8オ	文の中で漢字を使う(せつ極的)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 (イ) (ウ)								○							51.1	51.6	51.4	-0.3		5.7	7.3	7.7	-2.0

【小学6年生 算数A：主として知識】 【設問順】

「学習指導要領の領域等」のアルファベットの表記の意味

A) 数と計算 B) 量と測定 C) 図形 D) 数量関係

「評価の観点」の力タカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)							
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差		
1 (1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	4A (3)イ 5A (3)		5D (1)ア			○	○	○		57.2	58.0	62.9	-5.7	1.3	1.6	1.7	-10.0	1.3	1.6	1.7	-0.4
1 (2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる	5A (3)ア				○		○			65.6	62.9	66.7	-1.1	1.6	2.2	2.4		1.6	2.2	2.4	-0.8
1 (3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している	5A (3)ア		5D (1)ア		○	○	○			66.4	65.6	65.3	1.1	1.7	2.2	2.2		1.7	2.2	2.2	-0.5
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	小数の除法の意味について理解している	3A(4) ア 4A(3) イ 5A(3) ア				○	○	○			37.1	38.5	39.9	-2.8	0.6	0.9	1.0		0.6	0.9	1.0	-0.4
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	十進位取り記数法で表された数の大小について理解している	2A (1)イ				○	○	○			74.4	74.7	76.4	-2.0	1.2	1.1	1.3		1.2	1.1	1.3	-0.1
4 (1)	面積がそろっている⑦と⑧の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している	5B (4)ア				○	○	○			89.8	89.9	87.8	2.0	0.4	0.6	0.6		0.4	0.6	0.6	-0.2
4 (2)	②と④の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	5B (4)ア				○	○	○			51.8	49.0	50.1	1.7	0.6	0.9	1.0		0.6	0.9	1.0	-0.4
5 (1)	角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ	180° の角の大きさを理解している	4B (2)ア イ				○	○	○			94.9	94.5	94.4	0.5	0.7	1.0	1.1		0.7	1.0	1.1	-0.4
5 (2)	分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B (2)ア イ				○	○	○			59.5	59.9	58.5	1.0	0.9	1.3	1.5		0.9	1.3	1.5	-0.6
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる			4C (3)		○	○	○			72.6	71.7	73.5	-0.9	2.1	3.0	3.3		2.1	3.0	3.3	-1.2
7 (1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	円周率の意味について理解している			3C (1)ウ 5C (1)エ		○	○	○			43.9	42.6	41.6	2.3	2.2	3.0	3.2		2.2	3.0	3.2	-1.0
7 (2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ	直径の長さと円周の長さの関係について理解している			3C (1)ウ 5C (1)エ		○	○	○			48.8	49.2	55.6	-6.8	2.4	3.3	3.6		2.4	3.3	3.6	-1.2
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	百分率を求めることができる			5D (3)		○	○	○			49.7	50.5	52.9	-3.2	2.9	4.3	4.6		2.9	4.3	4.6	-1.7
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる			4D (1)ア 4D (4)イ		○	○	○			63.2	63.1	63.6	-0.4	4.8	6.9	7.2		4.8	6.9	7.2	-2.4

【小学6年生 算数B：主として活用】 【設問順】

「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味

A) 数と計算 B) 量と測定 C) 図形 D) 数量関係

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域		評価の観点		問題形式			正答率 (%)		無解答率 (%)							
			A	B C D	A	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	
1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる		2C(1) イ 3C(1) ア 4C(1) イ 5C(1) アイウ				○		65.2	65.9	71.7	-6.5		0.2	0.3	0.3	0.3	-0.1
1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさとその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360°になっていることを記述できる		3C(1) ア 4C(1) イ 5C(1) アイウ			○		○	46.8	46.7	48.2	-1.4		13.3	13.6	14.4	14.4	-1.1
2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何かを書く	示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる		1A(2) ア 2A(3) イ			○			67.9	68.2	70.5	-2.6		1.4	1.6	1.5	1.5	-0.1
2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするとするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合適宜な表を整理し、条件に合う時間を判断することができる		3B(3) ア 3A(3) イ			○		○	46.5	46.7	47.9	-1.4		0.9	1.4	1.6	1.6	-0.7
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる					○			20.8	19.7	20.7	0.1		15.8	16.5	18.0	18.0	-2.2
3(2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる		3D(3) ア 3D(4) イ			○			22.3	22.6	23.9	-1.6		0.9	1.1	1.1	1.1	-0.2
4(1)	「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	示された考え方を解釈し、条件を変更して数量の関係を確認し、分配法則の式に表現することができる		2A(1) エ 2A(3) ア 3A(3) ウ			○			60.6	60.8	62.7	-2.1		4.7	5.7	6.2	6.2	-1.5
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる		2A(2) ア 2A(3) ア 4A(3) イ			○			59.3	59.1	59.5	-0.2		9.4	10.8	11.3	11.3	-1.9
5(1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる		2A(3) ア 3A(3) ア 3A(4) ア 4A(3) イ						41.2	41.5	43.2	-2.0		14.6	15.8	16.6	16.6	-2.0
5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったとき、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる		1A(1) 2A(1) ア 3A(4) ア 4A(3) イ 5A(1) イ			○			66.7	65.6	66.5	0.2		7.0	8.9	8.3	8.3	-1.3

【小学6年生 理科】【設問順】
「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味
A) 物質 B) エネルギー C) 生命 D) 地球
「評価の観点」のカタカナ表記の意味
ア) 自然事象への関心・意欲・態度 イ) 科学的な思考・表現 ウ) 観察・実験の技能 エ) 自然事象についての知識・理解

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分等		評価の観点			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)				
			A区分		B区分	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
			A	B																
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ。	安全に留意し、生物を保護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構築できる。			4B (2)ア	○						81.5	82.1	82.1	-0.6		0.0	0.1	0.0	0.0
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ。	調べた結果について考察する際、問題に対応した視点で分析できる。			4B (1)ア	○						78.8	77.2	76.2	2.6		0.1	0.1	0.0	0.0
1 (3)	腕を曲げることでできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。			4B (1)イ	○						81.7	81.8	79.4	2.3		2.8	2.9	3.8	-1.0
1 (4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ。	人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる。			4B (1)アイ	○						54.9	56.3	56.6	-1.7		0.3	0.4	0.4	-0.1
2 (1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。	堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。			5B (3)ア	○						84.1	84.4	83.6	0.5		0.2	0.2	0.1	0.1
2 (2)	流れる水の動きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ。	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を共通して実験を記述できる。			5B (3)ア	○						56.4	55.9	55.4	1.0		0.2	0.3	0.3	-0.1
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降ると流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く。	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。			5B (3)ウ	○						21.8	21.4	20.1	1.7		1.2	1.1	1.0	0.2
2 (4)	上流側の雪の様子や氷の溶ける所と下流側の川の水位の变化から上流側の天気と下流側の水位の関係について考えることを選ぶ。	より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる。			5B (3)ウイ	○						56.9	59.3	59.8	-2.9		0.3	0.4	0.3	0.0
3 (1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ。	乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる。			4A (3)ア	○						66.5	64.4	63.5	3.0		0.2	0.3	0.3	-0.1
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ。	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構築できる。			4A (3)ア	○						48.8	47.6	47.7	1.1		0.3	0.5	0.5	-0.2
3 (3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ。	実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる。			4A (3)ア	○						61.0	59.4	59.4	1.6		0.4	0.5	0.6	-0.2
3 (4)	目的の時間だけモーターを回すため、本機の1日の位置の変化に合わせて箱の中の乾電池の適切な位置や向きを選ぶ。	本機の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。			3B (3)ア	○						41.9	42.2	41.9	0.0		0.4	0.5	0.6	-0.2
4 (1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、戻った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ。	ろ過の適切な操作方法を身に付けている。			5A (1)イ	○						66.4	68.0	71.1	-4.7		0.4	0.6	0.5	-0.1
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ。	より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。			5A (1)ウ	○						88.3	87.9	89.4	-1.1		0.5	0.7	0.6	-0.1
4 (3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ。	物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。			5A (1)ウ	○						37.1	37.9	42.7	-5.6		1.1	1.3	1.3	-0.2
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して得た詳細を書く。	実験結果から書えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。			4A (2)ウ 5A (1)イ ウ	○						35.8	36.4	35.9	-0.1		7.8	7.7	8.9	-1.1

(5)小学6年生 設問別の概要【全国との差順】
 【小学6年生 国語A：主として知識】【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
8イ	文中で漢字を使う(せつ備)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	84.7	82.9	82.2	2.5	4.7	5.8	6.3	-1.6	4.7	5.8	6.3	-1.6
8エ	文中で漢字を使う(かん理)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	67.2	66.2	65.0	2.2	5.4	6.9	7.4	-2.0	5.4	6.9	7.4	-2.0
8ウ	文中で漢字を使う(しょう毒)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	83.5	82.7	82.2	1.3	4.8	6.0	6.6	-1.8	4.8	6.0	6.6	-1.8
7	【話を聞いている様子の一部】の「ア」「イ」に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う	57.1	57.9	56.0	1.1	1.8	2.3	2.7	-0.9	1.8	2.3	2.7	-0.9
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じて、自分が伝えたことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	91.5	90.6	90.8	0.7	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
8ア	文中で漢字を使う(せい造)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	74.0	73.1	73.4	0.6	3.9	4.8	5.2	-1.3	3.9	4.8	5.2	-1.3
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える	74.3	73.7	73.9	0.4	0.1	0.2	0.2	-0.1	0.1	0.2	0.2	-0.1
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う	90.7	90.4	90.4	0.3	0.9	1.3	1.4	-0.5	0.9	1.3	1.4	-0.5
8オ	文中で漢字を使う(せつ極的)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	51.1	51.6	51.4	-0.3	5.7	7.3	7.7	-2.0	5.7	7.3	7.7	-2.0
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える	73.5	74.1	74.0	-0.5	0.3	0.4	0.3	0.0	0.3	0.4	0.3	0.0
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える	73.1	72.5	73.8	-0.7	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0
5	【春休みの出来事の一部】の中で、点線部と実線部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	33.0	33.6	35.5	-2.5	3.4	3.6	3.9	-0.5	3.4	3.6	3.9	-0.5

【小学6年生 国語B：主として活用】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
1三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、 <input type="text"/> を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる	36.7	33.7	33.8	2.9				5.0	5.9	6.2	-1.2	
2二	【おすすすめする文章】の <input type="text"/> に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く	14.2	13.3	13.5	0.7				2.1	2.4	2.7	-0.6	
1一	【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する	話し合いの参加者として、質問の意図を捉える	82.6	82.3	82.5	0.1				0.3	0.3	0.4	-0.1	
2三	【紹介する文章】を基にして【おすすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する	推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える	70.8	70.1	70.8	0.0				3.4	3.3	3.4	0.0	
3二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C「最も心がひかれた一文とその理由の文章の <input type="text"/> 」に入る内容を書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながから読む	52.0	51.9	52.3	-0.3				10.5	10.9	11.9	-1.4	
3一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む	48.9	49.4	49.4	-0.5				3.0	3.3	3.2	-0.2	
1二	【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する	計画的に話し合うために、司会の役割について捉える	76.6	76.9	77.5	-0.9				0.4	0.5	0.6	-0.2	
2一	「かみかみあえ」についての【おすすすめする文章】の最初の部分に <input type="text"/> のように入力した理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える	54.9	56.2	57.6	-2.7				1.7	1.7	1.7	0.0	

【小学6年生 算数A：主として知識】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
7(1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	円周率の意味について理解している	43.9	42.6	41.6	2.3				2.2	3.0	3.2	-1.0	
4(1)	面積がそろっている⑦と④の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している	89.8	89.9	87.8	2.0				0.4	0.6	0.6	-0.2	
4(2)	⑤と①の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	51.8	49.0	50.1	1.7				0.6	0.9	1.0	-0.4	
1(3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している	66.4	65.6	65.3	1.1				1.7	2.2	2.2	-0.5	
5(2)	分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる	59.5	59.9	58.5	1.0				0.9	1.3	1.5	-0.6	
5(1)	角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ	180° の角の大きさを理解している	94.9	94.5	94.4	0.5				0.7	1.0	1.1	-0.4	
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる	63.2	63.1	63.6	-0.4				4.8	6.9	7.2	-2.4	
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる	72.6	71.7	73.5	-0.9				2.1	3.0	3.3	-1.2	
1(2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる	65.6	62.9	66.7	-1.1				1.6	2.2	2.4	-0.8	
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	十進位取り記数法で表された数の大小について理解している	74.4	74.7	76.4	-2.0				1.2	1.1	1.3	-0.1	
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	小数の除法の意味について理解している	37.1	38.5	39.9	-2.8				0.6	0.9	1.0	-0.4	
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	百分率を求めることができる	49.7	50.5	52.9	-3.2				2.9	4.3	4.6	-1.7	
1(1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	57.2	58.0	62.9	-5.7				1.3	1.6	1.7	-0.4	
7(2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ	直径の長さと円周の長さの関係について理解している	48.8	49.2	55.6	-6.8				2.4	3.3	3.6	-1.2	

【小学6年生 算数B：主として活用】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったとき、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それに基づき条件に合う色を判断することができる	66.7	65.6	66.5	0.2				7.0	8.9	8.3	-1.3	
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてのどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる	20.8	19.7	20.7	0.1				15.8	16.5	18.0	-2.2	
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる	59.3	59.1	59.5	-0.2				9.4	10.8	11.3	-1.9	
2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にすると、めめの玉を控える時間を、表に整理して求める	示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる	46.5	46.7	47.9	-1.4				0.9	1.4	1.6	-0.7	
1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさとその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる	46.8	46.7	48.2	-1.4				13.3	13.6	14.4	-1.1	
3(2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる	22.3	22.6	23.9	-1.6				0.9	1.1	1.1	-0.2	
5(1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる	41.2	41.5	43.2	-2.0				14.6	15.8	16.6	-2.0	
4(1)	「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる	60.6	60.8	62.7	-2.1				4.7	5.7	6.2	-1.5	
2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何かを書く	示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる	67.9	68.2	70.5	-2.6				1.4	1.6	1.5	-0.1	
1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる	65.2	65.9	71.7	-6.5				0.2	0.3	0.3	-0.1	

【小学6年生 理科】 【全国との差順】

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率 (%)		
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国
3 (1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ	乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる	66.5	64.4	63.5	3.0	-10.0 ▼	0.3	0.3	0.3	-0.1		
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのもともめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる	78.8	77.2	76.2	2.6		0.1	0.1	0.1	0.0		
1 (3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している	81.7	81.8	79.4	2.3		2.8	2.9	3.8	-1.0		
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる	21.8	21.4	20.1	1.7		1.2	1.1	1.0	0.2		
3 (3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ	実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる	61.0	59.4	59.4	1.6		0.4	0.5	0.6	-0.2		
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	48.8	47.6	47.7	1.1		0.3	0.5	0.5	-0.2		
2 (2)	流れる水の動きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	56.4	55.9	55.4	1.0		0.2	0.3	0.3	-0.1		
2 (1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している	84.1	84.4	83.6	0.5		0.2	0.2	0.1	0.1		
3 (4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせて箱の中の光電池の適切な位置や向きを選ぶ	太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる	41.9	42.2	41.9	0.0		0.4	0.5	0.6	-0.2		
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる	35.8	36.4	35.9	-0.1		7.8	7.7	8.9	-1.1		
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる	81.5	82.1	82.1	-0.6		0.0	0.1	0.0	0.0		
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる	88.3	87.9	89.4	-1.1		0.5	0.7	0.6	-0.1		
1 (4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる	54.9	56.3	56.6	-1.7		0.3	0.4	0.4	-0.1		
2 (4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる	56.9	59.3	59.8	-2.9		0.3	0.4	0.3	0.0		
4 (1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ	ろ過の適切な操作方法を身に付けている	66.4	68.0	71.1	-4.7		0.4	0.6	0.5	-0.1		
4 (3)	食塩水を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる	37.1	37.9	42.7	-5.6		1.1	1.3	1.3	-0.2		

(6) 中学3年生 設問別の概要 【設問順】

[中学3年生 国語A：主として知識] 【設問順】

「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味

A) 話すこと・聞くこと B) 書くこと C) 読むこと D) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 書く能力 カ) 読む能力 キ) 書く能力 ク) 読む能力

知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式				正答率(%)				ベンチマークグラフ (対全国)				無解答率(%)					
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差		
1-1	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2	エ					○		○						87.4	86.2	85.5	-1.9			0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	-0.1
2-1	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する	1	イ					○		○						89.5	88.9	88.7	-0.8			0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
2-2	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く	2	ウ					○		○						64.0	63.6	62.3	-1.7			0.1	0.3	0.3	0.3	-0.2	
3-1	「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	1	カ					○		○						88.2	87.6	86.8	-1.4			3.2	3.5	3.3	3.3	-0.1	
3-2	父と保志の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	1	ウ					○		○						82.8	81.8	80.0	-2.8			0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	
4-1	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する	1	エ					○		○						62.8	61.4	59.2	-3.6			0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	
4-2	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする	2	エ					○		○						79.4	78.5	76.9	-2.5			0.2	0.3	0.3	0.3	-0.1	
5-1	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2	イ					○						76.3	75.1	73.7	-2.6			0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	
5-2	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1	イ					○						59.5	59.3	56.6	-2.9			0.0	0.2	0.2	0.2	-0.2	
6-1	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	1	オ					○		○						72.4	69.4	67.0	-5.4			0.3	0.5	0.5	0.5	-0.2	
6-2	話合いの中で確認しなければならぬことについて同会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す	1	オ					○		○						65.8	64.9	61.9	-3.9			0.4	0.5	0.5	0.5	-0.1	
7-1	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える					1(1) イ(4)				○						87.3	86.9	85.2	-2.1			5.9	5.4	5.1	5.1	0.8	
7-2	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する					1(1) イ(4)				○						88.4	87.3	85.8	-2.6			0.4	0.5	0.4	0.4	0.0	
8-1-1	漢字を書く(紙をひもでたむねる)	漢字に即して漢字を正しく書く					2(1) ウ(4)				○						79.0	78.2	72.2	-6.8			0.5	0.7	0.6	0.6	-0.1	
8-1-2	漢字を書く(舞台のヌケ上がる)	漢字に即して漢字を正しく書く					2(1) ウ(4)				○						72.9	76.6	73.6	0.7			0.5	0.8	0.8	0.8	-0.3	

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ (対全国)				無解答率(%)			
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	
8-3	漢字を書く(先制点をユル)	文脈に即して漢字を正しく書く				2(1) ウ(4)				○			倉敷市	76.3	71.4	7.1	-10.0	15.1	15.7	19.5	-4.4		
8-2-1	漢字を読む(模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1) ウ(7)				○			倉敷市	95.7	95.7	-0.6		2.5	2.0	1.9	0.6		
8-2-2	漢字を読む(池の水が凍る)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1) ウ(7)				○			倉敷市	97.5	97.8	-0.5		1.1	1.0	0.9	0.2		
8-2-3	漢字を読む(技を盗く)					2(1) ウ(7)				○			倉敷市	98.1	98.1	-0.4		1.2	1.2	1.1	0.1		
8-3ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1(1) イ(4)				○			倉敷市	76.2	77.7	-3.4		1.0	0.9	0.8	0.2		
8-3イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)					2(1) イ(4)				○			倉敷市	90.5	91.0	-2.9		0.8	0.7	0.5	0.3		
8-3ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)					2(1) イ(7)				○			倉敷市	89.0	88.0	1.3		0.8	0.8	0.6	0.2		
8-3エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)					1(1) イ(4)				○			倉敷市	29.3	29.2	-1.3		1.1	1.0	0.9	0.2		
8-3オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)					1(1) イ(4)				○			倉敷市	61.3	61.8	-6.4		1.3	1.0	0.9	0.4		
8-3カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)					1(1) イ(4)				○			倉敷市	64.5	65.4	-1.3		1.1	1.1	1.0	0.1		
8-3キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。二五、妹は一人で本を読むことが好きだ)					1(1) イ(4)				○			倉敷市	95.0	95.2	-0.5		1.1	1.0	1.0	0.1		
8-4-1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用語の意味を理解する				3・4 (1)ア (1)				○			倉敷市	94.4	94.7	-0.9		1.1	1.0	0.8	0.3		
8-4-2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く				2(1) イ(4)				○			倉敷市	18.1	22.3	-7.0		8.6	7.8	6.5	2.1		
8-5	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く				1(2) イ				○			倉敷市	50.0	54.4	-2.9		1.6	1.4	1.2	0.4		
8-6-1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2(1) ア(4)				○			倉敷市	91.2	91.1	-0.5		6.3	5.6	5.1	1.2		
8-6-2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1(1) ア(7)				○			倉敷市	66.8	63.0	1.9		8.8	7.8	7.4	1.4		
8-6-3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する				2(1) ア(4)				○			倉敷市	80.6	81.3	-2.2		2.7	2.4	2.2	0.5		

【中学3年生 国語B：主として活用】 【設問順】

「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味

A) 話すこと・聞くこと B) 書くこと C) 読むこと D) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式				正答率(%)				無解答率(%)				
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える			1☑					○	○					41.4	43.9	45.9	-4.5	0.2	0.3	0.2	0.0
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開についての自分の考えをもつ		1☐					○	○					59.8	61.4	64.3	-4.5	0.4	0.4	0.2	0.2	
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く		2☐	1☑				○	○		○			12.6	14.2	13.3	-0.7	11.6	9.6	7.0	4.6	
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ							○					82.8	84.5	86.8	-4.0	0.3	0.3	0.2	0.1	
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1☐						○	○					85.9	87.2	88.3	-2.4	9.6	8.2	5.9	3.7	
2三	ロボットに期待することを述べて發表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1イ						○	○					51.8	53.1	54.6	-2.8	0.7	0.6	0.4	0.3	
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1☐					○					75.8	78.2	80.2	-4.4	0.6	0.5	0.4	0.2	
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる			2☑					○					63.6	65.8	68.2	-4.6	0.5	0.6	0.4	0.1	
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く		1☐	1☑	2(1) ア(4)			○	○	○				43.3	45.1	49.2	-5.9	17.4	15.4	12.4	5.0	

[中学3年生 数学A：主として知識] 【設問順】

「学習指導要領の領域等」のアルファベット表記の意味

A) 数と式 B) 図形 C) 関数 D) 資料の活用

「評価の観点」のカタカナ表記の意味

ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			正答率 (%)					ベンチマークグラフ(対全国)			無解答率 (%)														
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差										
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	1 ⁽¹⁾ ア							○		○				93.9	94.4	94.6	-0.7		0.7	0.6	0.4	0.3					0.7	0.6	0.4	0.3			
1 (2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	1 ⁽¹⁾ ア									○				84.0	76.6	69.0	15.0		3.3	4.8	7.3	-4.0					3.3	4.8	7.3	-4.0			
1 (3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1 ⁽¹⁾ ウ							○		○				70.5	69.7	68.9	1.6		1.4	1.3	1.0	0.4					1.4	1.3	1.0	0.4			
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数値が正の数と負の数で表されることを理解している	1 ⁽¹⁾ ア, イ									○				52.3	54.1	54.2	-1.9		0.3	0.3	0.1	0.2					0.3	0.3	0.1	0.2			
2 (1)	「1個 a kg の荷物 3 個と 1 個 b kg の荷物 4 個の全体の重さは 15kg 以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1 ⁽²⁾ エ							○		○				42.0	43.5	41.5	0.5		11.9	10.3	8.5	3.4					11.9	10.3	8.5	3.4			
2 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2 ⁽¹⁾ ア							○		○				88.6	89.6	91.0	-2.4		4.3	3.5	2.4	1.9					4.3	3.5	2.4	1.9			
2 (3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	1 ⁽²⁾ エ							○		○				75.3	76.4	78.5	-3.2		7.6	6.3	4.8	2.8					7.6	6.3	4.8	2.8			
2 (4)	等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、 a について解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	2 ⁽¹⁾ ウ							○		○				40.8	44.9	48.2	-7.4		19.4	17.2	15.3	4.1					19.4	17.2	15.3	4.1			
3 (1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1 ⁽³⁾ イ							○		○				55.8	58.7	64.0	-8.2		1.0	0.8	0.6	0.4					1.0	0.8	0.6	0.4			
3 (2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	1 ⁽³⁾ ウ							○		○				85.2	86.3	87.8	-2.6		6.7	6.0	5.0	1.7					6.7	6.0	5.0	1.7			
3 (3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2 ⁽²⁾ ウ							○		○				77.3	78.5	80.0	-2.7		6.7	5.9	4.6	2.1					6.7	5.9	4.6	2.1			
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を思いだし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	2 ⁽²⁾ ウ							○		○				74.5	75.2	75.2	-0.7		0.8	0.9	0.6	0.2					0.8	0.9	0.6	0.2			
4 (1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している										○*				64.6	65.3	67.1	-2.5		0.6	0.5	0.3	0.3					0.6	0.5	0.3	0.3			
4 (2)	$\triangle ABC$ を辺 AB が辺 AC に重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している										○				52.9	54.3	54.9	-2.0		1.2	1.0	0.8	0.4					1.2	1.0	0.8	0.4			
4 (3)	長方形 $ABCD$ を、点 A を中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形をかく	回転移動した図形をかきことができる								○		○				62.4	63.9	66.1	-3.7		8.2	6.7	4.4	3.8					8.2	6.7	4.4	3.8			
5 (1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であること)を理解している										○				71.1	73.6	74.3	-3.2		2.3	2.0	1.4	0.9					2.3	2.0	1.4	0.9			
5 (2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している										○				78.5	81.9	82.4	-3.9		4.2	3.4	2.9	1.3					4.2	3.4	2.9	1.3			
5 (3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる								○		○				77.4	82.5	83.7	-6.3		0.5	0.5	0.3	0.2					0.5	0.5	0.3	0.2			

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			A	B	C	D	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差		
5 (4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解している	1(2)ウ										54.1	56.9	57.6	-3.5	0.7	0.7	0.5	0.2			
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2(1)ア										66.2	69.3	71.4	-5.2	0.7	0.6	0.4	0.3			
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	2(1)イ										72.3	74.8	75.7	-3.4	0.7	0.7	0.4	0.3			
7 (1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している	2(2)ア										70.6	71.4	72.0	-1.4	0.8	0.7	0.5	0.3			
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	2(2)ウ										72.8	74.4	78.2	-5.4	0.8	0.7	0.5	0.3			
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	2(2)イ										40.0	42.4	45.5	-5.5	0.9	0.9	0.6	0.3			
9 (1)	比例 $y=5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y=ax$ における比例定数 a の意味を理解している	1(1)イ										59.3	62.8	65.5	-6.2	1.5	1.3	1.2	0.3			
9 (2)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	1(1)エ										49.9	52.8	55.0	-5.1	15.1	13.8	13.0	2.1			
9 (3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	1(1)エ										56.0	55.2	52.8	3.2	1.4	1.4	1.4	0.0			
10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる	1(1)ウ										67.2	68.2	69.9	-2.7	4.1	3.5	2.9	1.2			
11 (1)	一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	2(1)イ										37.8	42.0	45.3	-7.5	19.3	16.6	14.8	4.5			
11 (2)	一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している	2(1)イ										59.9	58.9	56.3	3.6	1.0	1.0	0.9	0.1			
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	2(1)ア										36.7	36.1	36.4	0.3	1.3	1.2	1.0	0.3			
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点とは、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	2(1)ウ										59.7	60.9	62.7	-3.0	2.0	1.9	1.9	0.1			
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出ている値であることを理解している	1(1)ア										68.5	70.0	68.4	0.1	1.4	1.4	1.4	0.0			
14 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	1(1)ア										74.6	75.2	74.0	0.6	5.1	4.8	4.6	0.5			
15 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	2(1)ア										36.4	36.8	40.2	-3.8	2.0	1.8	1.8	0.2			
15 (2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる	2(1)ア										67.9	71.1	71.3	-3.4	11.8	10.2	9.7	2.1			

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の区分等				評価の観点				問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			
			「知識」	「活用」	第1分野		第2分野		ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
6(1)		電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電流計の知識を身に付けている	○		(3) ア(7)												69.1	70.5	-4.4	0.5	0.4	0.1	
6(2)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに関する科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	○		(3) ア(7)												73.5	77.2	-5.7	15.9	14.4	4.3	
6(2)		オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○		(3) ア(4)												50.4	51.9	-5.3	18.6	17.1	4.0	
6(3)		豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	○		(3) ア(6)												90.8	91.4	-1.7	0.9	0.8	0.3	
7(1)		地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	○				(2) ア(4)										55.9	55.1	-0.7	0.7	0.5	0.3	
7(2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	○				(2) ア(4)										78.3	78.5	-0.9	0.8	0.7	0.3	
7(3)		初期微動継続時間の長さと言の速さに関する知識を活用できる	○		(1) ア(6)		(2) ア(4)										93.7	94.4	-0.6	4.5	4.3	0.9	
8(1)		アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	○				(4) ア(4)										81	83.5	-3.0	0.8	0.7	0.2	
8(2)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	○				(4) イ(6)										70.9	72	-3.3	0.8	0.7	0.2	
8(3)		探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	○				(4) イ(6)										70.2	74	-7.5	27.3	23.1	7.0	
9(1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている	○				(1) イ(4)										87.4	88	-2.2	0.9	0.7	0.3	
9(2)		植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	○				(4) ア(7)										16.9	19.4	-5.0	27.0	23.6	5.6	

(7) 中学3年生 設問別の概要 【全国との差順】
 【中学3年生 国語A：主として知識】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)				
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	
8-3	漢字を書く(先制点をユルす)	文脈に即して漢字を正しく書く	78.5	76.3	71.4	7.1	-10.0	15.1	15.7	19.5	-4.4	15.1	15.7	19.5	-4.4
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	64.9	66.8	63.0	1.9		8.8	7.8	7.4	1.4	8.8	7.8	7.4	1.4
8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	89.3	89.0	88.0	1.3		0.8	0.8	0.6	0.2	0.8	0.8	0.6	0.2
8-2	漢字を書く(舞台のムクが上がる)	文脈に即して漢字を正しく書く	73.6	76.6	72.9	0.7		0.5	0.8	0.8	-0.3	0.5	0.8	0.8	-0.3
8二3	漢字を読む(技を磨く)	文脈に即して漢字を正しく読む	97.7	98.1	98.1	-0.4		1.2	1.2	1.1	0.1	1.2	1.2	1.1	0.1
8二2	漢字を読む(池の水が凍る)	文脈に即して漢字を正しく読む	97.3	97.5	97.8	-0.5		1.1	1.0	0.9	0.2	1.1	1.0	0.9	0.2
8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。二五、妹は一人で本を読むことが好きだ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	94.7	95.0	95.2	-0.5		1.1	1.0	1.0	0.1	1.1	1.0	1.0	0.1
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える	90.6	91.2	91.1	-0.5		6.3	5.6	5.1	1.2	6.3	5.6	5.1	1.2
8二1	漢字を読む(模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む	95.1	95.7	95.7	-0.6		2.5	2.0	1.9	0.6	2.5	2.0	1.9	0.6
2-1	図書だよりの下書きの構成を説明したものと適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する	88.7	88.9	89.5	-0.8		0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用句の意味を理解する	93.8	94.4	94.7	-0.9		1.1	1.0	0.8	0.3	1.1	1.0	0.8	0.3
8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	27.9	29.3	29.2	-1.3		1.1	1.0	0.9	0.2	1.1	1.0	0.9	0.2
8三カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	64.1	64.5	65.4	-1.3		1.1	1.1	1.0	0.1	1.1	1.1	1.0	0.1
3-1	「それは掛け値のない一、二秒の間のごとくである」を説明したものと適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	86.8	87.6	88.2	-1.4		3.2	3.5	3.3	-0.1	3.2	3.5	3.3	-0.1
2-2	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く	62.3	63.6	64.0	-1.7		0.1	0.3	0.3	-0.2	0.1	0.3	0.3	-0.2

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)					ベンチマークグラフ(対全国)			無解答率(%)		
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国
1ー	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	85.5	86.2	87.4	-1.9	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	-0.1	
7ー	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える	85.2	86.9	87.3	-2.1	5.9	5.4	5.1	5.1	0.8		
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する	79.1	80.6	81.3	-2.2	2.7	2.4	2.2	2.2	0.5		
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする	76.9	78.5	79.4	-2.5	0.2	0.3	0.3	0.3	-0.1		
5一	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる	73.7	75.1	76.3	-2.6	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1		
7二	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する	85.8	87.3	88.4	-2.6	0.4	0.5	0.4	0.4	0.0		
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	80.0	81.8	82.8	-2.8	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1		
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	56.6	59.3	59.5	-2.9	0.0	0.2	0.2	0.2	-0.2		
8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く	51.5	50.0	54.4	-2.9	1.6	1.4	1.2	1.2	0.4		
8三イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	88.1	90.5	91.0	-2.9	0.8	0.7	0.5	0.5	0.3		
8三ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始二重して交わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	74.3	76.2	77.7	-3.4	1.0	0.9	0.8	0.8	0.2		
4一	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えた内容が十分に表れているかを検討する	59.2	61.4	62.8	-3.6	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1		
6二	話合いの中で確認しなければならないことについて同会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す	61.9	64.9	65.8	-3.9	0.4	0.5	0.5	0.5	-0.1		
6一	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	67.0	69.4	72.4	-5.4	0.3	0.5	0.5	0.5	-0.2		
8三オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつけよ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	55.4	61.3	61.8	-6.4	1.3	1.0	0.9	0.9	0.4		
8一1	漢字を書く(紙をひもでたぐねる)	文脈に即して漢字を正しく書く	72.2	78.2	79.0	-6.8	0.5	0.7	0.6	0.6	-0.1		
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く	15.3	18.1	22.3	-7.0	8.6	7.8	6.5	6.5	2.1		

【中学3年生 国語B：主として活用】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率 (%)					
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差		
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く	12.6	14.2	13.3	-0.7	-10.0	11.6	9.6	7.0	4.6	+10.0	11.6	9.6	7.0	4.6
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	85.9	87.2	88.3	-2.4		9.6	8.2	5.9	3.7		9.6	8.2	5.9	3.7
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	51.8	53.1	54.6	-2.8		0.7	0.6	0.4	0.3		0.7	0.6	0.4	0.3
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	82.8	84.5	86.8	-4.0		0.3	0.3	0.2	0.1		0.3	0.3	0.2	0.1
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	75.8	78.2	80.2	-4.4		0.6	0.5	0.4	0.2		0.6	0.5	0.4	0.2
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える	41.4	43.9	45.9	-4.5		0.2	0.3	0.2	0.0		0.2	0.3	0.2	0.0
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ	59.8	61.4	64.3	-4.5		0.4	0.4	0.2	0.2		0.4	0.4	0.2	0.2
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる	63.6	65.8	68.2	-4.6		0.5	0.6	0.4	0.1		0.5	0.6	0.4	0.1
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く	43.3	45.1	49.2	-5.9		17.4	15.4	12.4	5.0		17.4	15.4	12.4	5.0

【中学3年生 数学A：主として知識】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
1 (2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	84.0	76.6	69.0	15.0	-10.0	▼ +10.0	3.3	4.8	7.3	-4.0		
1 1 (2)	一次関数 $y = -2x + 6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している	59.9	58.9	56.3	3.6			1.0	1.0	0.9	0.1		
9 (3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	56.0	55.2	52.8	3.2			1.4	1.4	1.4	0.0		
1 (3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	70.5	69.7	68.9	1.6			1.4	1.3	1.0	0.4		
1 4 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	74.6	75.2	74.0	0.6			5.1	4.8	4.6	0.5		
2 (1)	「1個 a kgの荷物3個と1個 b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	42.0	43.5	41.5	0.5			11.9	10.3	8.5	3.4		
1 2	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	36.7	36.1	36.4	0.3			1.3	1.2	1.0	0.3		
1 4 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25、5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出ている値であることを理解している	68.5	70.0	68.4	0.1			1.4	1.4	1.4	0.0		
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	93.9	94.4	94.6	-0.7			0.7	0.6	0.4	0.3		
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を思いだし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	74.5	75.2	75.2	-0.7			0.8	0.9	0.6	0.2		
7 (1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している	70.6	71.4	72.0	-1.4			0.8	0.7	0.5	0.3		
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	52.3	54.1	54.2	-1.9			0.3	0.3	0.1	0.2		
4 (2)	$\triangle ABC$ を辺 AB が辺 AC に重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している	52.9	54.3	54.9	-2.0			1.2	1.0	0.8	0.4		
2 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	88.6	89.6	91.0	-2.4			4.3	3.5	2.4	1.9		
4 (1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している	64.6	65.3	67.1	-2.5			0.6	0.5	0.3	0.3		
3 (2)	比例式 $x : 20 = 3 : 4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	85.2	86.3	87.8	-2.6			6.7	6.0	5.0	1.7		
3 (3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x - 2y = 10 \\ 3x - 2y = 2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	77.3	78.5	80.0	-2.7			6.7	5.9	4.6	2.1		
1 0	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる	67.2	68.2	69.9	-2.7			4.1	3.5	2.9	1.2		

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)	無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国の差と		倉敷市	岡山県	全国	全国の差と
1 3	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	59.7	60.9	62.7	-3.0	-10.0	2.0	1.9	1.9	0.1
2 (3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	75.3	76.4	78.5	-3.2		7.6	6.3	4.8	2.8
5 (1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であることを理解している)	71.1	73.6	74.3	-3.2		2.3	2.0	1.4	0.9
1 5 (2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる	67.9	71.1	71.3	-3.4		11.8	10.2	9.7	2.1
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	72.3	74.8	75.7	-3.4		0.7	0.7	0.4	0.3
5 (4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している	54.1	56.9	57.6	-3.5		0.7	0.7	0.5	0.2
4 (3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形をかく	回転移動した図形をかくことができる	62.4	63.9	66.1	-3.7		8.2	6.7	4.4	3.8
1 5 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	36.4	36.8	40.2	-3.8		2.0	1.8	1.8	0.2
5 (2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	78.5	81.9	82.4	-3.9		4.2	3.4	2.9	1.3
9 (2)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	49.9	52.8	55.0	-5.1		15.1	13.8	13.0	2.1
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	66.2	69.3	71.4	-5.2		0.7	0.6	0.4	0.3
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	72.8	74.4	78.2	-5.4		0.8	0.7	0.5	0.3
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	40.0	42.4	45.5	-5.5		0.9	0.9	0.6	0.3
9 (1)	比例 $y=5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y=ax$ における比例定数 a の意味を理解している	59.3	62.8	65.5	-6.2		1.5	1.3	1.2	0.3
5 (3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	77.4	82.5	83.7	-6.3		0.5	0.5	0.3	0.2
2 (4)	等式 $s = \frac{1}{2}ah$ を、 a について解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	40.8	44.9	48.2	-7.4		19.4	17.2	15.3	4.1
1 1 (1)	一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	37.8	42.0	45.3	-7.5		19.3	16.6	14.8	4.5
3 (1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	55.8	58.7	64.0	-8.2		1.0	0.8	0.6	0.4

【中学3年生 数学B：主として活用】 【全国との差順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
5 (2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	6.9	9.2	10.4	-3.5	10.4	8.2	6.6	3.8	10.4	8.2	6.6	3.8
2 (1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	85.6	87.2	89.5	-3.9	89.5	7.7	4.4	3.3	7.7	6.4	4.4	3.3
3 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	9.1	11.9	13.2	-4.1	13.2	44.6	33.4	11.2	44.6	38.9	33.4	11.2
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	11.4	14.0	16.0	-4.6	16.0	29.7	24.1	5.6	29.7	26.6	24.1	5.6
2 (3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる	63.2	65.9	68.3	-5.1	68.3	1.7	1.1	0.6	1.7	1.4	1.1	0.6
4 (1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる	49.4	52.6	55.4	-6.0	55.4	1.3	0.9	0.6	1.3	0.9	0.7	0.6
4 (3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBCDがどのような四角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	36.3	39.9	42.3	-6.0	42.3	31.5	27.3	6.9	31.5	27.3	24.6	6.9
4 (2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBCDは平行四辺形となることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる	36.3	40.3	42.4	-6.1	42.4	8.6	6.9	2.4	8.6	6.9	6.2	2.4
1 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれる理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる	29.9	33.9	36.2	-6.3	36.2	33.5	29.1	8.6	33.5	29.1	24.9	8.6
1 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる	37.5	40.8	43.9	-6.4	43.9	10.6	8.6	3.6	10.6	8.6	7.0	3.6
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	49.0	52.1	55.7	-6.7	55.7	16.2	13.3	5.1	16.2	13.3	11.1	5.1
3 (1)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる	60.8	64.6	67.6	-6.8	67.6	0.9	0.7	0.4	0.9	0.7	0.5	0.4
3 (2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる	70.4	73.8	77.7	-7.3	77.7	10.6	8.9	3.7	10.6	8.9	6.9	3.7
2 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れ計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	29.4	34.0	37.5	-8.1	37.5	37.6	32.2	12.6	37.6	32.2	25.0	12.6

【中学3年生 理科】 【全国との差順】

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
							無解答率(%)			
5 (1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないかと」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事象・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	神経系の動きについての知識を身に付けている	68.7	69.6	57.2	11.5	6.5	6.0	7.1	-0.6
2 (2) 3.0%の濃度	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	47.3	50.5	46.9	0.4	2.5	2.0	1.3	1.2
7 (3)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの広がり方や光と音の広がり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる	93.8	93.7	94.4	-0.6	4.5	4.3	3.6	0.9
2 (1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる	85.5	85.2	86.2	-0.7	0.2	0.2	0.1	0.1
7 (1)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの広がり方や光と音の広がり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	54.4	55.9	55.1	-0.7	0.7	0.5	0.4	0.3
7 (2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの広がり方や光と音の広がり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	77.6	78.3	78.5	-0.9	0.8	0.7	0.5	0.3
6 (3)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに関する科学的に探究する場面において、電流、電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用できるかどうかをみる	豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	89.7	90.8	91.4	-1.7	0.9	0.8	0.6	0.3
3 (1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の気象の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用できるかどうかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	35.7	37.1	37.5	-1.8	0.3	0.3	0.2	0.1
1 (1)	光の反射を利用した「テレプロンブター」のモデルを作った科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる	59.6	61.2	61.7	-2.1	0.1	0.2	0.1	0.0
1 (2)	光の反射を利用した「テレプロンブター」のモデルを作った科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	テレプロンブターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	71.6	72.7	73.7	-2.1	0.3	0.3	0.2	0.1
9 (1)	部屋に昇ってきた容器に植物を入れて温度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用できるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る動きが蒸散であるという知識を身に付けている	85.8	87.4	88	-2.2	0.9	0.7	0.6	0.3
4 (2)	図書便りに紹介されていたフアラテラの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	41.8	43.8	44.1	-2.3	20.1	17.3	15.5	4.6
4 (3)	図書便りに紹介されていたフアラテラの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	47.0	48.4	49.4	-2.4	20.2	18.0	16.2	4.0
2 (2) 低い濃度	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる	74.0	75.2	76.5	-2.5	2.3	1.9	1.2	1.1
3 (3)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の気象の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用できるかどうかをみる	シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる	49.6	52.8	52.3	-2.7	10.8	8.7	7.9	2.9
8 (1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	80.5	81	83.5	-3.0	0.8	0.7	0.6	0.2

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)			
			倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
2 (3)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘できる	76.6	78.7	79.7	-3.1	0.4	0.3	0.2	0.2
8 (2)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱に関する知識と問題解決の知識・技能を活用することができているかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	発熱バックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	68.7	70.9	72	-3.3	0.8	0.7	0.6	0.2
5 (2)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事象・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができているかどうかをみる	反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	58.8	61.3	62.8	-4.0	0.5	0.6	0.5	0.0
4 (1)	図書便りに紹介されていたフアラデーの「ロウソクの科学」を讀んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができているかどうかをみる	ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる	69.2	72.0	73.4	-4.2	0.5	0.5	0.4	0.1
3 (2)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができているかどうかをみる	太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴についての知識を身に付けている	62.9	64.8	67.3	-4.4	0.6	0.5	0.4	0.2
6 (1)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに関する科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができているかどうかをみる	電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電氣用図記号の知識を身に付けている	66.1	69.1	70.5	-4.4	0.5	0.5	0.4	0.1
9 (2)	部屋に昇立させた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸気と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができているかどうかをみる	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸気以外の原因を指摘できる	14.4	16.9	19.4	-5.0	27.0	23.6	21.4	5.6
6 (2) 抵抗	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに関する科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができているかどうかをみる	オームの法則を使って、抵抗の値を求めめることができる	46.6	50.4	51.9	-5.3	18.6	17.1	14.6	4.0
2 (4)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	55.7	59.0	61.3	-5.6	13.7	11.6	9.5	4.2
6 (2) 電流	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに関する科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができているかどうかをみる	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	71.5	73.5	77.2	-5.7	15.9	14.4	11.6	4.3
8 (3)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱に関する知識と問題解決の知識・技能を活用することができているかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているアルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を思い出すことができる	66.5	70.2	74	-7.5	27.3	23.1	20.3	7.0

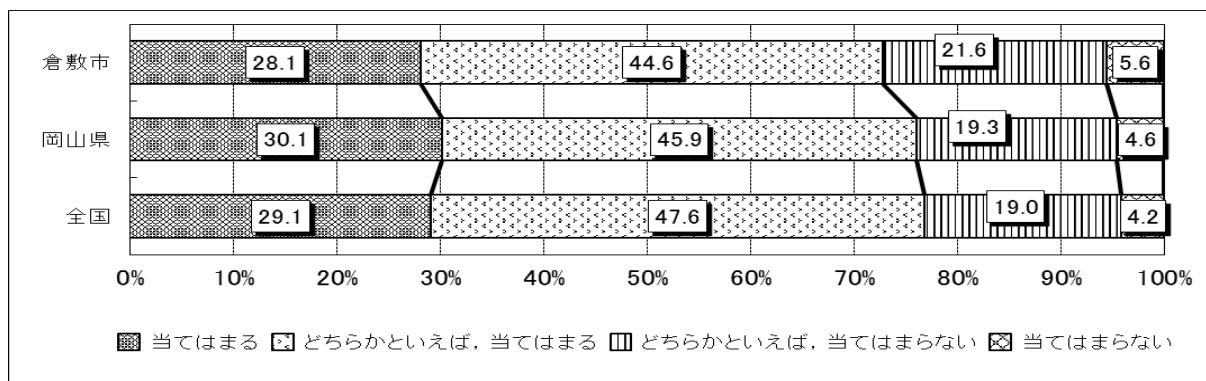
**4 児童生徒質問紙・
学校質問紙から見える特徴**

(1) 質問ごとの分析

【授業に関する質問】（児童生徒質問紙：P58・P60・P62・P64）

小（55）中（52） ・ 5年生（1，2年生）までに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか。

【小学6年生】



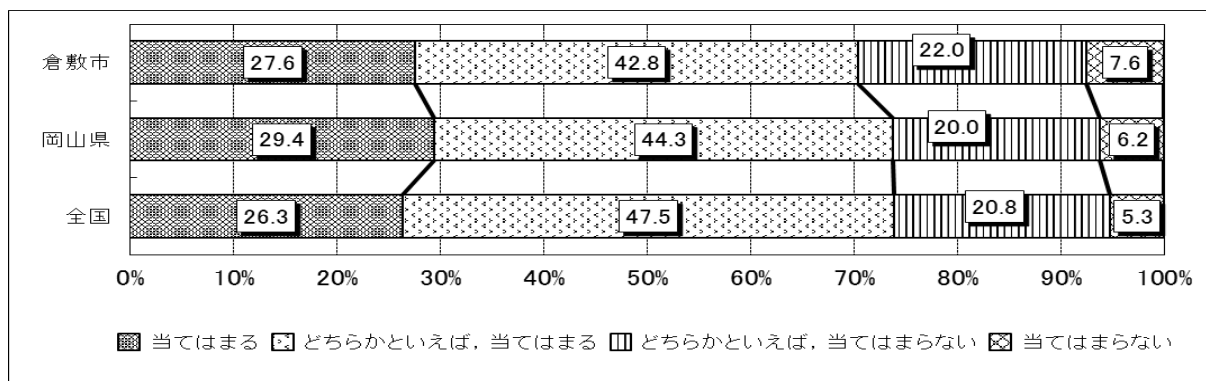
○ 「当てはまる」，「どちらかといえば，当てはまる」を回答した児童の割合

* H30 倉敷市：72.7 全国：76.7 差：-4.0

* H29 倉敷市：73.2 全国：77.9 差：-4.7

* H28 倉敷市：74.0 全国：77.8 差：-3.8

【中学3年生】



○ 「当てはまる」，「どちらかといえば，当てはまる」を回答した生徒の割合

* H30 倉敷市：70.4 全国：73.8 差：-3.4

* H29 倉敷市：70.8 全国：74.9 差：-4.1

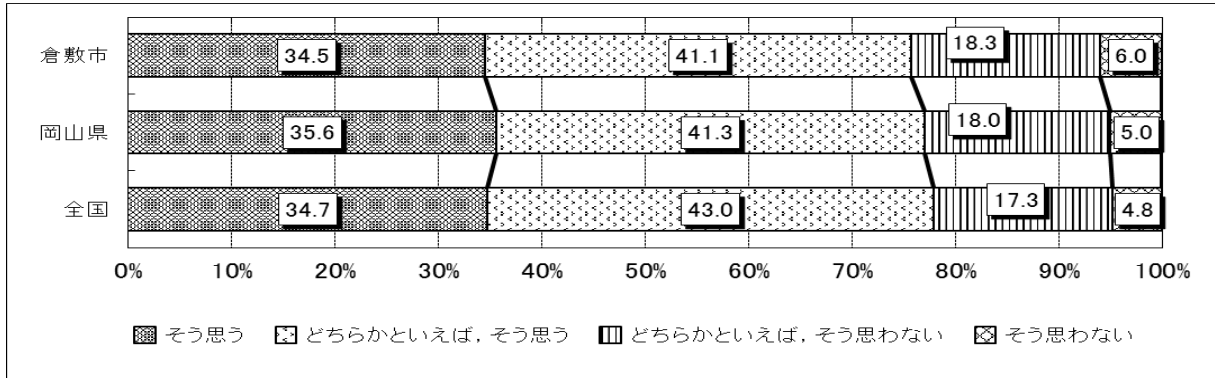
* H28 倉敷市：66.3 全国：73.8 差：-7.5

- 小学校中学校ともに，全国平均を下回っている。
- 中学校は，少しずつ全国平均との差が縮まっている。

【授業に関する質問】（児童生徒質問紙：P58・P60・P62・P64）

小（57）中（54） ・学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

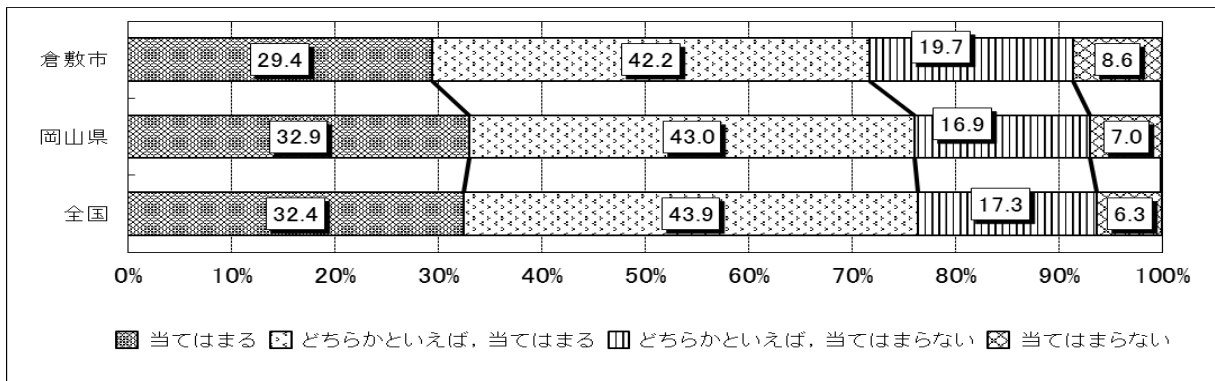
【小学6年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

- *H30 倉敷市：75.6 全国：77.7 差：-2.1
- *H29 倉敷市：64.6 全国：68.2 差：-3.6
- *H28 倉敷市：63.0 全国：64.7 差：-1.7
- *H27 倉敷市：62.4 全国：62.8 差：-0.4
- *H26 倉敷市：60.5 全国：61.0 差：-0.5

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

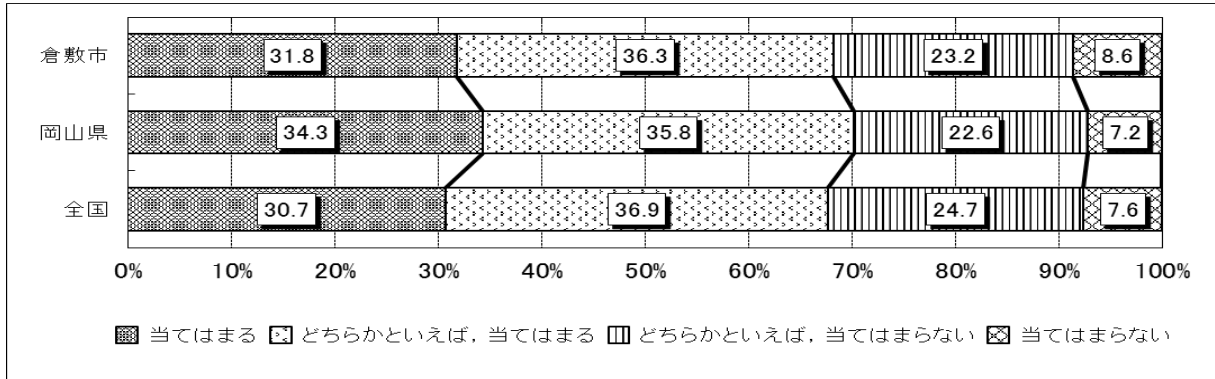
- *H30 倉敷市：71.6 全国：76.3 差：-4.7
- *H29 倉敷市：60.6 全国：64.8 差：-4.2
- *H28 倉敷市：59.2 全国：64.8 差：-5.6
- *H27 倉敷市：56.6 全国：62.9 差：-6.3
- *H26 倉敷市：56.2 全国：61.9 差：-5.7

- 小学校・中学校ともに、全国平均を下回っている。
- 中学校は、依然として5%近く全国平均と差がある。

【家庭学習に関する質問】（児童生徒質問紙：P57・P59・P61・P64）

小中（10） ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

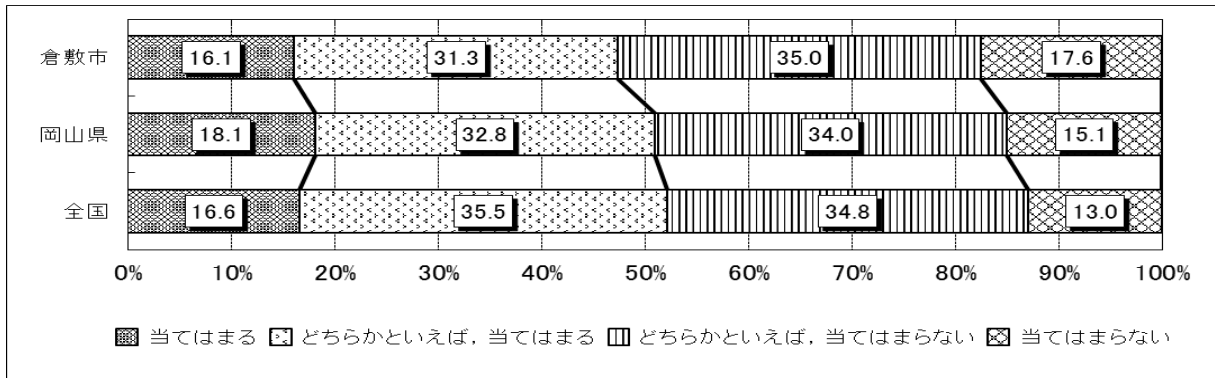
【小学6年生】



○「している」、「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合

- *H30 倉敷市：68.1 全国：67.6 差：+0.5
- *H29 倉敷市：65.6 全国：64.5 差：+1.1
- *H28 倉敷市：63.0 全国：64.7 差：-1.7
- *H27 倉敷市：62.4 全国：62.8 差：-0.4
- *H26 倉敷市：60.5 全国：61.0 差：-0.5

【中学3年生】



○「している」、「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合

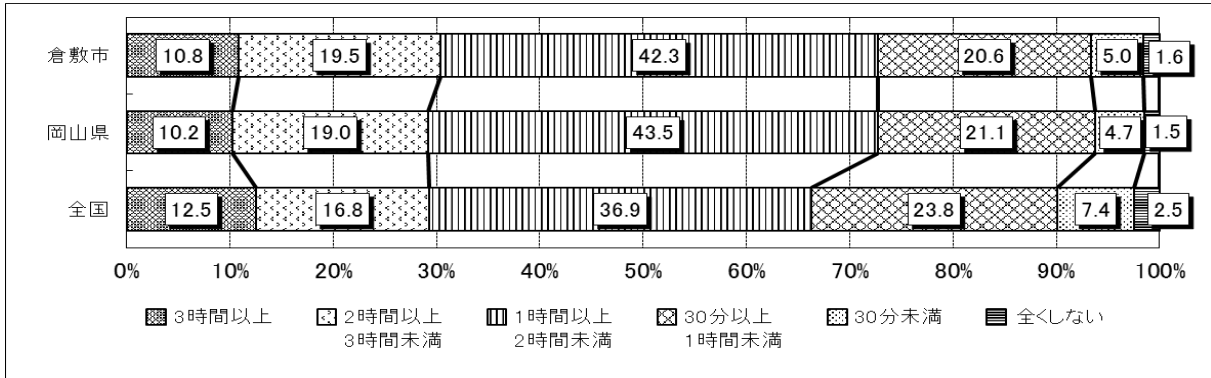
- *H30 倉敷市：47.4 全国：52.1 差：-4.7
- *H29 倉敷市：46.7 全国：51.5 差：-4.8
- *H28 倉敷市：44.4 全国：48.4 差：-4.0
- *H27 倉敷市：43.2 全国：48.8 差：-5.6
- *H26 倉敷市：41.3 全国：46.4 差：-5.1

○小学校については、5年間で肯定的な回答が増加し、全国平均を上回っている。
○中学校についても、肯定的な解答は増えている。しかし、全国平均と比べると低い値となっている。生活ノート等を活用し、自分で計画を立てる力を身に付けさせたい。

【家庭学習に関する質問】（児童生徒質問紙：P57・P59・P61・P64）

小中（14） ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師含む）

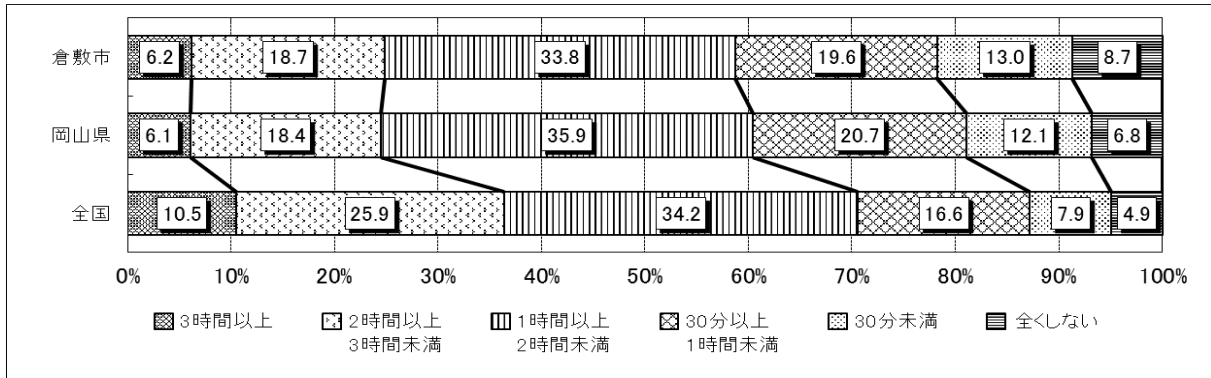
【小学6年生】



○平日に1時間以上学習する児童の割合

- * H30 倉敷市：72.6 全国：66.2 差：+6.4
- * H29 倉敷市：72.9 全国：64.4 差：+8.5
- * H28 倉敷市：71.4 全国：62.5 差：+8.9
- * H27 倉敷市：67.9 全国：62.7 差：+5.2
- * H26 倉敷市：67.1 全国：62.0 差：+5.1

【中学3年生】



○平日に1時間以上学習する生徒の割合

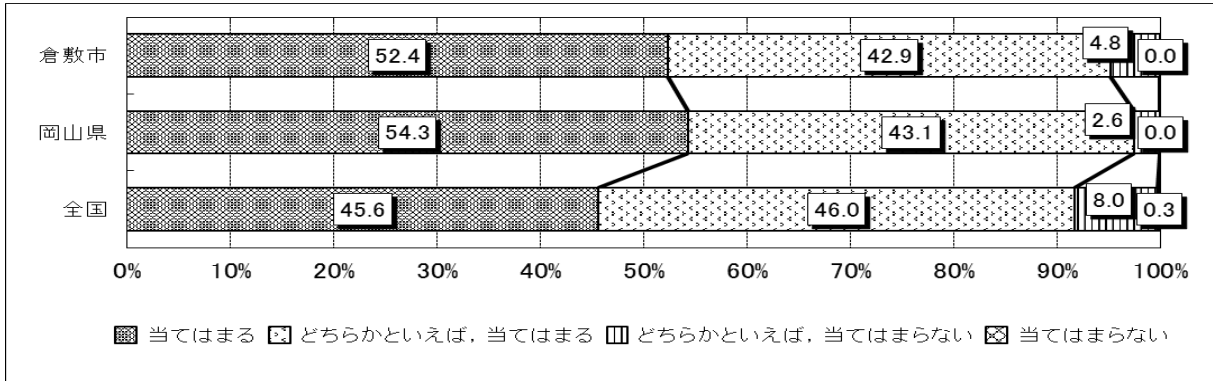
- * H30 倉敷市：58.7 全国：70.6 差：-11.9
- * H29 倉敷市：56.0 全国：69.6 差：-13.6
- * H28 倉敷市：53.4 全国：67.9 差：-14.5
- * H27 倉敷市：54.7 全国：69.0 差：-14.3
- * H26 倉敷市：54.1 全国：67.9 差：-13.8

○小学校については、全国平均と比べて学習時間は長くなっている。
 ○中学生については、肯定的な回答は今年度増えているが、全国平均や県平均と比べて依然として学習時間が短くなっている。また、「全くしない」層が8.7%となっている。「30分未満」の層と合わせると、21.7%となっている。

【家庭学習に関する質問】（学校質問紙：P66・P67・P70・P72）

小(64)中(61)・調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数（数学）共通）

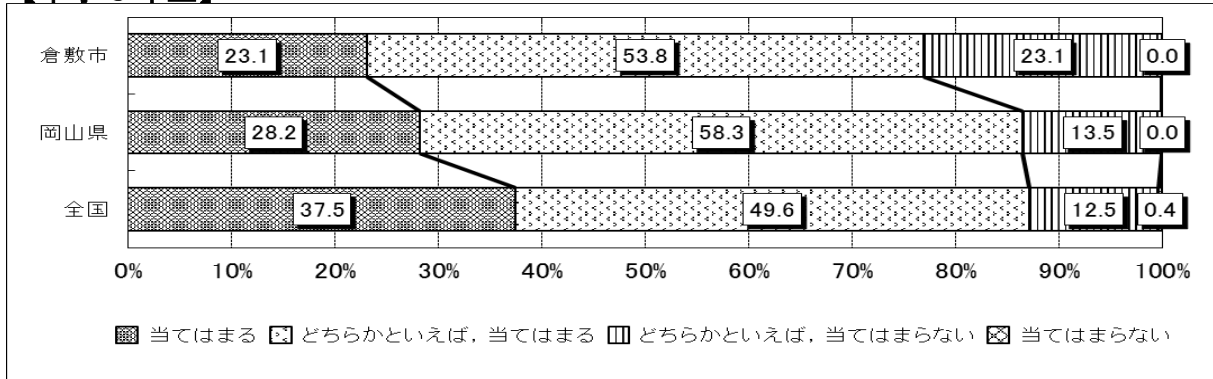
【小学6年生】



○「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合

- *H30 倉敷市：95.3 全国：91.6 差：+3.7
- *H29 倉敷市：95.2 全国：89.6 差：+5.6
- *H28 倉敷市：92.0 全国：88.8 差：+3.2
- *H27 倉敷市：95.2 全国：87.1 差：+8.1
- *H26 倉敷市：92.1 全国：85.4 差：+6.7

【中学3年生】



○「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合

- *H30 倉敷市：76.9 全国：87.1 差：-10.2
- *H29 倉敷市：69.3 全国：82.2 差：-12.9
- *H28 倉敷市：76.9 全国：82.1 差：-5.2
- *H27 倉敷市：57.5 全国：78.5 差：-21.0
- *H26 倉敷市：65.3 全国：76.9 差：-11.6

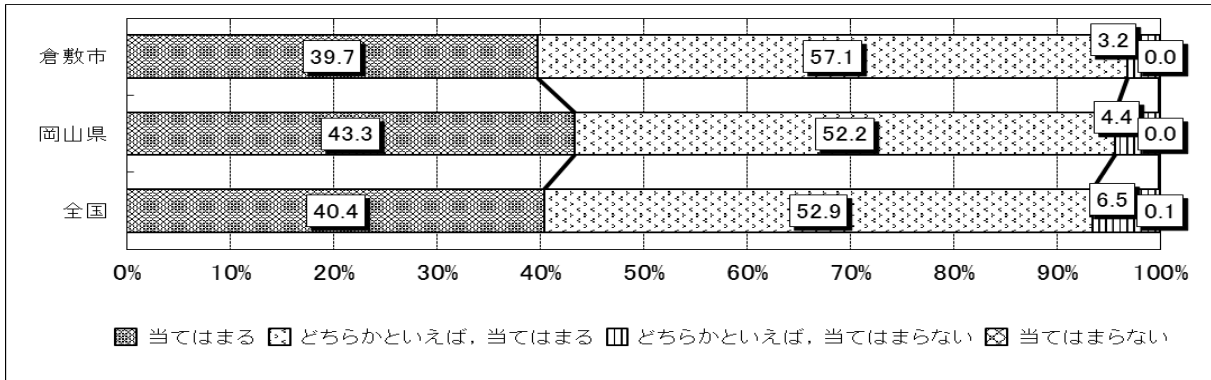
○小学校は、肯定的な回答が95%を超えている。家庭学習の課題の与え方について、校内での教職員で共通理解が図られている様子が見えてくる。

○中学校においても、肯定的な回答が増えてきている。しかし、全国平均と比べると、依然として10%以上低い数値となっている。また、「当てはまる」という回答の数値が特に全国と比べると少ない結果となっている。

【家庭学習に関する質問】（学校質問紙：P66・P67・P70・P72）

小（66）中（63）・調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。
（国語／算数（数学）共通）

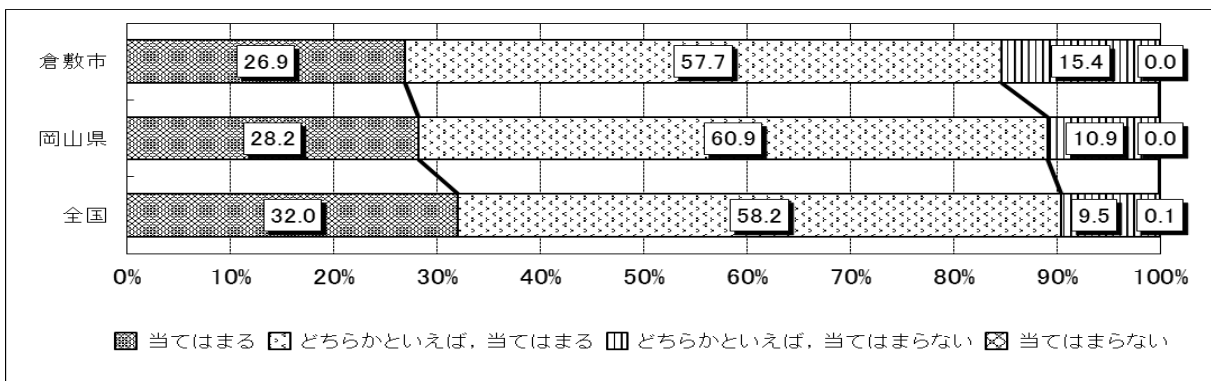
【小学6年生】



○「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合

- *H30 倉敷市：96.8 全国：93.3 差：+3.5
- *H29 倉敷市：98.4 全国：92.2 差：+6.2
- *H28 倉敷市：93.7 全国：91.9 差：+1.8
- *H27 倉敷市：95.2 全国：89.8 差：+5.4
- *H26 倉敷市：93.7 全国：88.2 差：+5.5

【中学3年生】



○「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合

- *H30 倉敷市：84.6 全国：90.2 差：-5.6
- *H29 倉敷市：61.6 全国：88.3 差：-26.7
- *H28 倉敷市：80.7 全国：87.9 差：-7.2
- *H27 倉敷市：65.4 全国：85.7 差：-20.3
- *H26 倉敷市：65.3 全国：84.8 差：-19.5

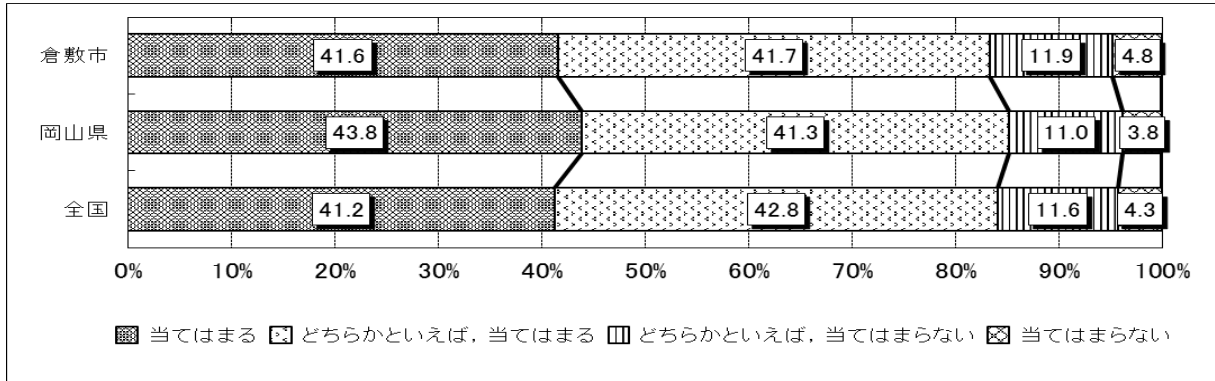
○小学校においては、肯定的な回答が95%を超えている。児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしている様子が見えてくる。

○中学校においては、昨年度に比べると大幅に改善が図られている。全国平均と比べても差をつめている。しかし、年度によって変動も大きく、今後も研修等を通してこの項目が課題となっていることを周知するとともに、各校でその手立てを考えたい。

【自己肯定感等に関する質問】（児童生徒質問紙：P57・P60・P61・P63）

小中（1） ・自分には、よいところがあると思いますか。

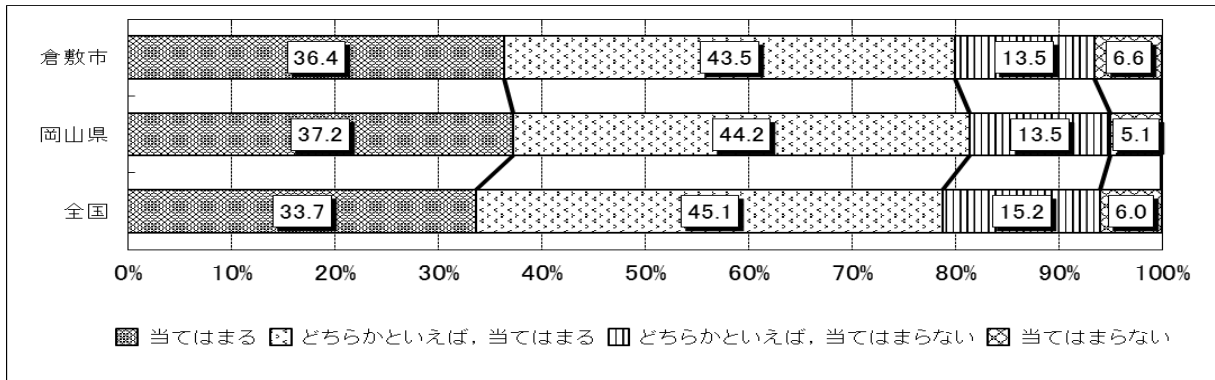
【小学6年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

- *H30 倉敷市：83.3 全国：84.0 差：-0.7
- *H29 倉敷市：77.7 全国：77.9 差：-0.2
- *H28 倉敷市：76.6 全国：76.3 差：+0.3
- *H27 倉敷市：76.4 全国：76.4 差：±0.0
- *H26 倉敷市：77.1 全国：76.1 差：+1.0

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

- *H30 倉敷市：79.9 全国：78.8 差：+1.1
- *H29 倉敷市：71.7 全国：70.7 差：+1.0
- *H28 倉敷市：71.0 全国：69.3 差：+1.7
- *H27 倉敷市：68.7 全国：68.1 差：+0.6
- *H26 倉敷市：69.5 全国：67.1 差：+2.4

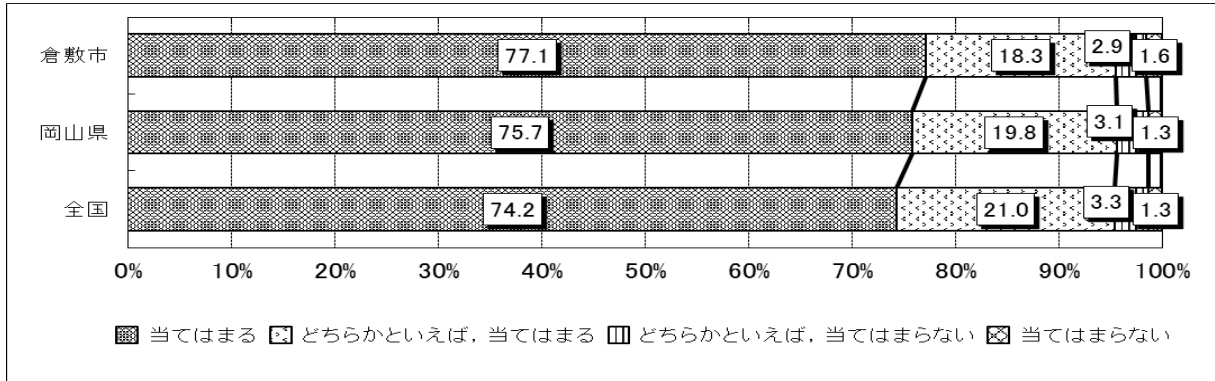
○小中学校とも肯定的な回答が、昨年度までの数値を超えている。小学校では、80%を超えている。中学校でも、80%近くまでとなっており、自己肯定感が高まっている児童生徒が増えていることがうかがえる。

○中学校では肯定的な回答が全国平均を超えている。一方、「当てはまらない」という回答が、6.6%見られる。小学校でも4.8%見られる。

【自己肯定感等に関する質問】（児童生徒質問紙：P57・P59・P61・P63）

小中（6） ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

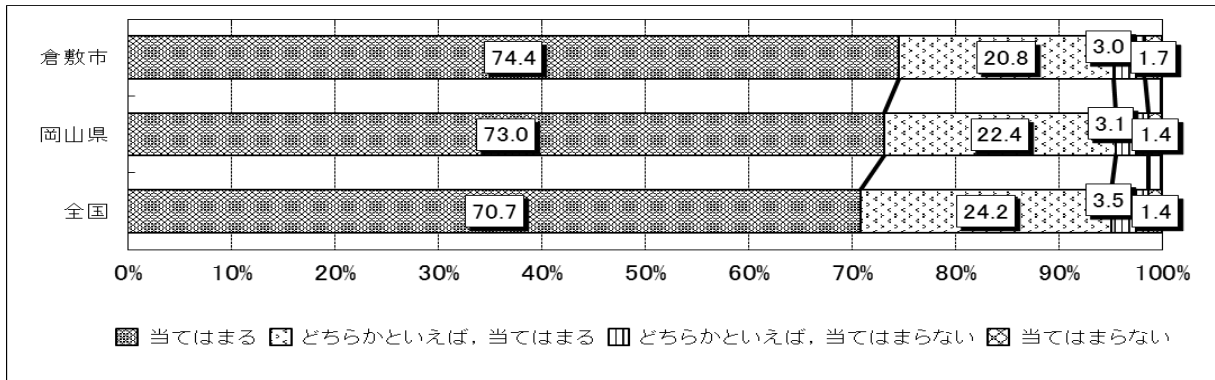
【小学6年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

- *H30 倉敷市：95.4 全国：95.2 差：+0.2
- *H29 倉敷市：92.7 全国：92.5 差：+0.2
- *H28 倉敷市：94.0 全国：93.8 差：+0.2
- *H27 倉敷市：94.8 全国：93.7 差：+1.1
- *H26 倉敷市：93.5 全国：94.0 差：-0.5

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

- *H30 倉敷市：95.2 全国：94.9 差：+0.3
- *H29 倉敷市：92.0 全国：91.9 差：+0.1
- *H28 倉敷市：91.9 全国：92.8 差：-0.9
- *H27 倉敷市：93.4 全国：93.7 差：-0.3
- *H26 倉敷市：94.1 全国：94.0 差：+0.1

○小中学校とも、肯定的な回答が95%を超え、どちらも全国平均よりも高い数値となっている。

○肯定的な回答が、小中学校ともに、過去5年間で最も高い数値となっている。

(2) 児童質問紙
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	83.3	85.1	84.0	-1.8	-1.8	-0.7	-0.7
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	83.0	87.1	85.3	-4.1	-4.1	-2.3	-2.3
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	85.2	84.4	85.1	+0.8	+0.8	+0.1	+0.1
(4)	学校のきまりを守っていますか	88.6	90.3	89.5	-1.7	-1.7	-0.9	-0.9
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.6	97.0	96.8	-0.4	-0.4	-0.2	-0.2
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.4	95.5	95.2	-0.1	-0.1	+0.2	+0.2
(7)	朝食を毎日食べていますか	94.0	94.4	94.5	-0.4	-0.4	-0.5	-0.5
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.8	77.2	77.0	-1.4	-1.4	-1.2	-1.2
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	87.5	89.1	88.8	-1.6	-1.6	-1.3	-1.3
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.1	70.1	67.6	-2.0	-2.0	+0.5	+0.5
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	96.9	97.6	97.1	-0.7	-0.7	-0.2	-0.2
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	63.9	64.5	62.6	-0.6	-0.6	+1.3	+1.3
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	72.3	72.8	69.9	-0.5	-0.5	+2.4	+2.4
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)※1時間以上	72.6	72.7	66.2	-0.1	-0.1	+6.4	+6.4
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※30分以上	40.1	40.8	41.1	-0.7	-0.7	-1.0	-1.0
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	82.3	81.4	80.5	+0.9	+0.9	+1.8	+1.8
(19)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	71.5	74.7	74.4	-3.2	-3.2	-2.9	-2.9
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	51.2	65.2	62.7	-14.0	-14.0	-11.5	-11.5
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	61.0	62.5	63.8	-1.5	-1.5	-2.8	-2.8
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.4	48.0	49.9	-1.6	-1.6	-3.5	-3.5
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	32.9	37.8	36.1	-4.9	-4.9	-3.2	-3.2
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	40.4	41.8	41.6	-1.4	-1.4	-1.2	-1.2
(25)	新聞を読んでいますか※週1~3回以上	19.1	20.6	19.9	-1.5	-1.5	-0.8	-0.8
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	86.0	85.4	86.2	+0.6	+0.6	-0.2	-0.2
(27)	算数の勉強は好きですか	65.1	63.6	64.0	+1.5	+1.5	+1.1	+1.1
(28)	算数の勉強は大切だと思いますか	92.6	92.8	92.1	-0.2	-0.2	+0.5	+0.5
(29)	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.8	82.5	83.4	-1.7	-1.7	-2.6	-2.6
(30)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	73.9	75.1	74.3	-1.2	-1.2	-0.4	-0.4
(31)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	77.0	79.7	78.4	-2.7	-2.7	-1.4	-1.4
(32)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	63.9	64.8	64.4	-0.9	-0.9	-0.5	-0.5

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(33)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.0	91.6	90.3	-0.6	+0.7		
(34)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.8	77.6	78.5	-0.8	-1.7		
(35)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	77.7	79.9	80.4	-2.2	-2.7		
(36)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.0	86.0	85.8	-1.0	-0.8		
(37)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか	71.0	72.4	70.6	-1.4	+0.4		
(38)	理科の勉強は好きですか	83.6	83.3	83.5	+0.3	+0.1		
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	85.2	86.3	85.4	-1.1	-0.2		
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.6	89.0	89.4	-0.4	-0.8		
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	86.0	86.5	87.0	-0.5	-1.0		
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.5	64.0	64.7	-1.5	-2.2		
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.0	74.5	72.9	-2.5	-0.9		
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	25.2	25.2	26.1	+0.0	-0.9		
(45)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	54.9	56.2	54.5	-1.3	+0.4		
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか※月1回以上	82.7	86.7	89.1	-4.0	-6.4		
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	88.7	88.4	89.8	+0.3	-1.1		
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	75.3	75.1	75.2	+0.2	+0.1		
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	80.5	81.5	81.8	-1.0	-1.3		
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	67.0	69.7	68.1	-2.7	-1.1		
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	78.0	78.7	77.3	-0.7	+0.7		
(52)	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	89.2	87.7	87.5	+1.5	+1.7		
(53)	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	75.7	75.5	75.1	+0.2	+0.6		
(54)	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか	81.5	81.6	82.0	-0.1	-0.5		
(55)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	72.7	76.0	76.7	-3.3	-4.0		
(56)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	57.8	61.3	61.0	-3.5	-3.2		
(57)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	75.6	76.9	77.7	-1.3	-2.1		
(58)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	82.4	79.9	80.0	+2.5	+2.4		
(59)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	76.3	73.9	74.7	+2.4	+1.6		
(60)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	82.9	80.0	80.3	+2.9	+2.6		
(61)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	66.9	64.2	66.0	+2.7	+0.9		
(62)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	90.6	90.2	90.1	+0.4	+0.5		

(3) 児童質問紙
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (全国差順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)※1時間以上	72.6	72.7	66.2		-0.1		+6.4
(60)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	82.9	80.0	80.3		+2.9		+2.6
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	72.3	72.8	69.9		-0.5		+2.4
(58)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	82.4	79.9	80.0		+2.5		+2.4
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	82.3	81.4	80.5		+0.9		+1.8
(52)	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思えましたか	89.2	87.7	87.5		+1.5		+1.7
(59)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	76.3	73.9	74.7		+2.4		+1.6
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	63.9	64.5	62.6		-0.6		+1.3
(27)	算数の勉強は好きですか	65.1	63.6	64.0		+1.5		+1.1
(61)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	66.9	64.2	66.0		+2.7		+0.9
(33)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.0	91.6	90.3		-0.6		+0.7
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	78.0	78.7	77.3		-0.7		+0.7
(53)	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	75.7	75.5	75.1		+0.2		+0.6
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.1	70.1	67.6		-2.0		+0.5
(28)	算数の勉強は大切だと思いますか	92.6	92.8	92.1		-0.2		+0.5
(62)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	90.6	90.2	90.1		+0.4		+0.5
(37)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか	71.0	72.4	70.6		-1.4		+0.4
(45)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	54.9	56.2	54.5		-1.3		+0.4
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.4	95.5	95.2		-0.1		+0.2
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	75.3	75.1	75.2		+0.2		+0.1
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	85.2	84.4	85.1		+0.8		+0.1
(38)	理科の勉強は好きですか	83.6	83.3	83.5		+0.3		+0.1
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	86.0	85.4	86.2		+0.0		+0.0
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.6	97.0	96.8		+0.6		-0.2
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	96.9	97.6	97.1		-0.4		-0.2
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	85.2	86.3	85.4		-0.7		-0.2
(30)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	73.9	75.1	74.3		-1.1		-0.2
(7)	朝食を毎日食べていますか	94.0	94.4	94.5		-1.2		-0.4
(54)	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか	81.5	81.6	82.0		-0.1		-0.5
(32)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	63.9	64.8	64.4		-0.9		-0.5

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	83.3	85.1	84.0	-1.8	-1.8	-0.7	-0.7
(25)	新聞を読んでいますか※週1~3回以上	19.1	20.6	19.9	-1.5	-1.5	-0.8	-0.8
(36)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.0	86.0	85.8	-1.0	-1.0	-0.8	-0.8
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.6	89.0	89.4	-0.4	-0.4	-0.8	-0.8
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	25.2	25.2	26.1	+0.0	+0.0	-0.9	-0.9
(4)	学校のきまりを守っていますか	88.6	90.3	89.5	-1.7	-1.7	-0.9	-0.9
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.0	74.5	72.9	-2.5	-2.5	-0.9	-0.9
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※30分以上	40.1	40.8	41.1	-0.7	-0.7	-1.0	-1.0
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	86.0	86.5	87.0	-0.5	-0.5	-1.0	-1.0
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	67.0	69.7	68.1	-2.7	-2.7	-1.1	-1.1
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	88.7	88.4	89.8	+0.3	+0.3	-1.1	-1.1
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.8	77.2	77.0	-1.4	-1.4	-1.2	-1.2
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	40.4	41.8	41.6	-1.4	-1.4	-1.2	-1.2
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	87.5	89.1	88.8	-1.6	-1.6	-1.3	-1.3
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	80.5	81.5	81.8	-1.0	-1.0	-1.3	-1.3
(31)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	77.0	79.7	78.4	-2.7	-2.7	-1.4	-1.4
(34)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.8	77.6	78.5	-0.8	-0.8	-1.7	-1.7
(57)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	75.6	76.9	77.7	-1.3	-1.3	-2.1	-2.1
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.5	64.0	64.7	-1.5	-1.5	-2.2	-2.2
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	83.0	87.1	85.3	-4.1	-4.1	-2.3	-2.3
(29)	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.8	82.5	83.4	-1.7	-1.7	-2.6	-2.6
(35)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	77.7	79.9	80.4	-2.2	-2.2	-2.7	-2.7
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	61.0	62.5	63.8	-1.5	-1.5	-2.8	-2.8
(19)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	71.5	74.7	74.4	-3.2	-3.2	-2.9	-2.9
(56)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	57.8	61.3	61.0	-3.5	-3.5	-3.2	-3.2
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	32.9	37.8	36.1	-4.9	-4.9	-3.2	-3.2
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.4	48.0	49.9	-1.6	-1.6	-3.5	-3.5
(55)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	72.7	76.0	76.7	-3.3	-3.3	-4.0	-4.0
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか※月1回以上	82.7	86.7	89.1	-4.0	-4.0	-6.4	-6.4
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	51.2	65.2	62.7	-14.0	-14.0	-11.5	-11.5

(4) 生徒質問紙
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	79.9	81.4	78.8	-1.5	+1.1		
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	82.3	85.4	82.2	-3.1	+0.1		
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	71.6	71.3	72.4	+0.3	-0.8		
(4)	学校の規則を守っていますか	94.4	94.9	95.1	-0.5	-0.7		
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	95.8	95.5	-0.1	+0.2		
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	95.4	94.9	-0.2	+0.3		
(7)	朝食を毎日食べていますか	91.3	91.8	91.9	-0.5	-0.6		
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	73.6	75.4	74.2	-1.8	-0.6		
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.4	90.0	90.3	-0.6	-0.9		
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	47.4	50.9	52.1	-3.5	-4.7		
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	89.1	90.3	91.6	-1.2	-2.5		
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	41.5	45.9	55.2	-4.4	-13.7		
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	67.7	68.9	71.3	-1.2	-3.6		
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)※1時間以上	58.7	60.4	70.6	-1.7	-11.9		
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※30分以上	30.2	31.2	30.9	-1.0	-0.7		
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	76.9	77.5	76.0	-0.6	+0.9		
(19)	1,2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	64.6	69.9	68.7	-5.3	-4.1		
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	38.3	47.1	45.6	-8.8	-7.3		
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	58.7	60.1	59.3	-1.4	-0.6		
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	36.3	38.4	38.7	-2.1	-2.4		
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	58.9	59.8	51.8	-0.9	+7.1		
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることができますか	27.3	25.3	25.5	+2.0	+1.8		
(25)	新聞を読んでいますか※週1~3回以上	28.4	30.6	29.2	-2.2	-0.8		
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	87.2	87.2	86.6	+0.0	+0.6		
(27)	数学の勉強は好きですか	50.3	52.5	53.9	-2.2	-3.6		
(28)	数学の勉強は大切だと思いますか	83.6	84.8	83.6	-1.2	+0.0		
(29)	数学の授業の内容はよく分かりますか	63.9	67.6	71.0	-3.7	-7.1		
(30)	数学ができるようになりたいと思いますか	91.5	92.1	92.5	-0.6	-1.0		
(31)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	66.1	68.5	70.3	-2.4	-4.2		

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	36.0	38.1	38.7	-2.1	-2.1	-2.7	-2.7
(33)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.0	75.3	72.9	-1.3	-1.3	+1.1	+1.1
(34)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	65.4	66.9	69.2	-1.5	-1.5	-3.8	-3.8
(35)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	66.2	68.8	70.4	-2.6	-2.6	-4.2	-4.2
(36)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.8	79.9	80.6	+1.9	+1.9	+1.2	+1.2
(37)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	51.0	55.4	55.5	-4.4	-4.4	-4.5	-4.5
(38)	理科の勉強は好きですか	62.2	63.6	62.9	-1.4	-1.4	-0.7	-0.7
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	69.1	70.4	70.6	-1.3	-1.3	-1.5	-1.5
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	67.4	68.6	70.0	-1.2	-1.2	-2.6	-2.6
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	75.4	76.6	77.6	-1.2	-1.2	-2.2	-2.2
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	41.2	43.3	45.4	-2.1	-2.1	-4.2	-4.2
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	55.1	56.2	55.7	-1.1	-1.1	-0.6	-0.6
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.7	22.5	22.2	+0.2	+0.2	+0.5	+0.5
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	36.9	41.0	41.4	-4.1	-4.1	-4.5	-4.5
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか※月1回以上	84.7	89.7	87.1	-5.0	-5.0	-2.4	-2.4
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	78.0	80.6	82.1	-2.6	-2.6	-4.1	-4.1
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	51.6	56.6	58.5	-5.0	-5.0	-6.9	-6.9
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	61.7	68.3	72.3	-6.6	-6.6	-10.6	-10.6
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	51.5	56.8	59.0	-5.3	-5.3	-7.5	-7.5
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	59.4	63.3	62.8	-3.9	-3.9	-3.4	-3.4
(52)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	70.4	73.7	73.8	-3.3	-3.3	-3.4	-3.4
(53)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	47.0	51.5	53.8	-4.5	-4.5	-6.8	-6.8
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.6	75.9	76.3	-4.3	-4.3	-4.7	-4.7
(55)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	90.8	92.0	92.1	-1.2	-1.2	-1.3	-1.3
(56)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	77.9	80.4	82.2	-2.5	-2.5	-4.3	-4.3
(57)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	91.3	92.3	91.5	-1.0	-1.0	-0.2	-0.2
(58)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	73.0	73.4	73.5	-0.4	-0.4	-0.5	-0.5
(59)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	91.5	92.6	92.3	-1.1	-1.1	-0.8	-0.8

(5) 生徒質問紙
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (全国差順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	58.9	59.8	51.8	-0.9	+7.1		
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	27.3	25.3	25.5	+2.0	+1.8		
(36)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.8	79.9	80.6	+1.9	+1.2		
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	79.9	81.4	78.8	-1.5	+1.1		
(33)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.0	75.3	72.9	-1.3	+1.1		
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	76.9	77.5	76.0	-0.6	+0.9		
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	87.2	87.2	86.6	+0.0	+0.6		
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.7	22.5	22.2	+0.2	+0.5		
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	95.4	94.9	-0.2	+0.3		
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	95.8	95.5	-0.1	+0.2		
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	82.3	85.4	82.2	-3.1	+0.1		
(28)	数学の勉強は大切だと思いますか	83.6	84.8	83.6	-1.2	+0.0		
(57)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	91.3	92.3	91.5	-1.0	-0.2		
(58)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	73.0	73.4	73.5	-0.4	-0.5		
(7)	朝食を毎日食べていますか	91.3	91.8	91.9	-0.5	-0.6		
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	58.7	60.1	59.3	-1.4	-0.6		
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	55.1	56.2	55.7	-1.1	-0.6		
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	73.6	75.4	74.2	-1.8	-0.6		
(4)	学校の規則を守っていますか	94.4	94.9	95.1	-0.5	-0.7		
(38)	理科の勉強は好きですか	62.2	63.6	62.9	-1.4	-0.7		
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※30分以上	30.2	31.2	30.9	-1.0	-0.7		
(59)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	91.5	92.6	92.3	-1.1	-0.8		
(25)	新聞を読んでいますか※週1~3回以上	28.4	30.6	29.2	-2.2	-0.8		
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	71.6	71.3	72.4	+0.3	-0.8		
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.4	90.0	90.3	-0.6	-0.9		
(30)	数学ができるようになりたいと思いますか	91.5	92.1	92.5	-0.6	-1.0		
(55)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	90.8	92.0	92.1	-1.2	-1.3		
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	69.1	70.4	70.6	-1.3	-1.5		

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	75.4	76.6	77.6		-1.2		-2.2
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか※月1回以上	84.7	89.7	87.1		-5.0		-2.4
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	36.3	38.4	38.7		-2.1		-2.4
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	89.1	90.3	91.6		-1.2		-2.5
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	67.4	68.6	70.0		-1.2		-2.6
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	36.0	38.1	38.7		-2.1		-2.7
(52)	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	70.4	73.7	73.8		-3.3		-3.4
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	59.4	63.3	62.8		-3.9		-3.4
(27)	数学の勉強は好きですか	50.3	52.5	53.9		-2.2		-3.6
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	67.7	68.9	71.3		-1.2		-3.6
(34)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	65.4	66.9	69.2		-1.5		-3.8
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	78.0	80.6	82.1		-2.6		-4.1
(19)	1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	64.6	69.9	68.7		-5.3		-4.1
(35)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	66.2	68.8	70.4		-2.6		-4.2
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	41.2	43.3	45.4		-2.1		-4.2
(31)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	66.1	68.5	70.3		-2.4		-4.2
(56)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	77.9	80.4	82.2		-2.5		-4.3
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	36.9	41.0	41.4		-4.1		-4.5
(37)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	51.0	55.4	55.5		-4.4		-4.5
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	47.4	50.9	52.1		-3.5		-4.7
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.6	75.9	76.3		-4.3		-4.7
(53)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	47.0	51.5	53.8		-4.5		-6.8
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	51.6	56.6	58.5		-5.0		-6.9
(29)	数学の授業の内容はよく分かりますか	63.9	67.6	71.0		-3.7		-7.1
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	38.3	47.1	45.6		-8.8		-7.3
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	51.5	56.8	59.0		-5.3		-7.5
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	61.7	68.3	72.3		-6.6		-10.6
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)※1時間以上	58.7	60.4	70.6		-1.7		-11.9
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	41.5	45.9	55.2		-4.4		-13.7

(6) 学校質問紙
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差			全国との差		
					-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(12)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95.2	90.1	89.4			+5.1			+5.8
(13)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	87.3	83.5	83.6			+3.8			+3.7
(16)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	95.2	94.8	94.7			+0.4			+0.5
(17)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	92.1	91.1	93.2			+1.0			-1.1
(18)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.2	98.4	94.9			-3.2			+0.3
(19)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	95.2	98.5	96.0			-3.3			-0.8
(20)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	85.7	91.4	90.6			-5.7			-4.9
(21)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	49.2	70.5	63.1			-21.3			-13.9
(22)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	88.9	91.4	93.0			-2.5			-4.1
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	73.0	81.2	83.3			-8.2			-10.3
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	98.4	95.3	96.5			+3.1			+1.9
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.8	98.2	97.7			-1.4			-0.9
(26)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	85.7	85.9	89.7			-0.2			-4.0
(27)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	77.8	81.0	85.1			-3.2			-7.3
(28)	調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	84.1	84.6	73.0			-0.5	+11.1		
(29)	調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、児童がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	42.8	36.3	36.6			+6.5			+6.2
(30)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	98.4	98.2	99.0			+0.2			-0.6
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか※よく行った	46.0	49.6	42.7			-3.6			+3.3
(32)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)※よく行った	20.6	35.2	35.7			-14.6			-15.1
(33)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	96.8	98.7	94.4			-1.9			+2.4
(34)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	73.0	83.8	63.3			-10.8	+9.7		
(35)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか※年間の授業のうち2分の1以上	20.6	31.3	35.2			-10.7			-14.6
(36)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか※年間の授業のうち2分の1以上	15.8	15.7	25.7			+0.1			-9.9
(37)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	92.1	92.2	94.3			-0.1			-2.2
(38)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	65.1	59.3	64.5			+5.8			+0.6
(39)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	76.2	69.4	78.0			+6.8			-1.8
(40)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	96.8	96.6	96.7			+0.2			+0.1
(41)	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか※実施している	1.6	5.2	9.3			-3.6			-7.7
(42)	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	92.1	93.0	96.1			-0.9			-4.0
(43)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	54.0	52.5	66.5			+1.5			-12.5
(44)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	49.2	39.4	56.5	+9.8					-7.3
(45)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	77.7	72.9	85.7			+4.8			-8.0
(46)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	74.6	76.2	88.1			-1.6			-13.5
(47)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	81.0	82.2	86.5			-1.2			-5.5
(48)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	96.8	93.0	96.0			+3.8			+0.8
(49)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか	93.7	92.1	94.4			+1.6			-0.7

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(50)	調査対象学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたが※配置されていた	12.7	13.1	14.7		-0.4		-2.0
(51)	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	93.6	96.9	97.4		-3.3		-3.8
(52)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	96.8	95.1	94.4		+1.7		+2.4
(53)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	76.1	85.9	83.4		-9.8		-7.3
(54)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	65.1	66.9	49.2		-1.8	+15.9	
(55)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	46.0	38.9	49.0	+7.1			-3.0
(56)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	79.4	78.5	79.1		+0.9		+0.3
(57)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	84.1	87.2	86.2		-3.1		-2.1
(58)	調査対象学年の児童に対して、小学校在籍期間中に、教育課程に位置づけられた自然の中での集団宿泊活動を行ったことがあるか、または今後行う予定がありますか(複数回実施した場合は、最も長期のもの)※2泊3日以上行った	20.7	9.2	40.8	+11.5			-20.1
(59)	職場見学や職場体験活動を行っていますか※行っている	36.5	32.4	47.5		+4.1		-11.0
(60)	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	98.1	97.7		+1.9		+2.3
(61)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(60)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	81.0	81.2	72.8		-0.2	+8.2	
(62)	(60)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100.0	96.9	95.4		+3.1		+4.6
(63)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/算数共通)	96.9	98.9	97.2		-2.0		-0.3
(64)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を回りましたか(国語/算数共通)	95.3	97.4	91.6		-2.1		+3.7
(65)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数共通)	92.0	86.9	84.4		+5.1	+7.6	
(66)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)	96.8	95.5	93.3		+1.3		+3.5
(67)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	100.0	99.5		+0.0		+0.5
(68)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	98.5	98.9	97.6		-0.4		+0.9
(69)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	49.2	42.3	45.7	+6.9			+3.5
(70)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	93.6	82.5	86.0	+11.1		+7.6	
(71)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	76.2	70.3	74.1		+5.9		+2.1
(72)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	99.2	99.3		+0.8		+0.7
(73)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	96.8	94.5	94.0		+2.3		+2.8
(74)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	95.2	97.1	96.7		-1.9		-1.5
(75)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	96.8	95.3	97.4		+1.5		-0.6
(76)	個々の教員が、自らの専門性を高めていることとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	84.1	81.8	87.2		+2.3		-3.1
(77)	前年度までに、近隣の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	57.1	77.0	69.5		-19.9		-12.4
(78)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	98.5	96.4	96.9		+2.1		+1.6
(79)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	98.4	95.3	97.5		+3.1		+0.9
(80)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	88.9	90.8	93.1		-1.9		-4.2
(81)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	87.3	90.9	94.2		-3.6		-6.9
(82)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	95.2	97.7	98.5		-2.5		-3.3
(83)	学校として業務改善に取り組んでいますか	96.8	95.3	97.4		+1.5		-0.6
(84)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100.0	95.1	95.1		+4.9		+4.9

(7) 学校質問紙
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (全国差順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(54)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	65.1	66.9	49.2	-1.8	+15.9		
(28)	調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	84.1	84.6	73.0	-0.5	+11.1		
(34)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	73.0	83.8	63.3	-10.8	+9.7		
(61)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(60)の質問にあるような保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか	81.0	81.2	72.8	-0.2	+8.2		
(65)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしての宿題を与えましたか(国語/算数共通)	92.0	86.9	84.4	+5.1	+7.6		
(70)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	93.6	82.5	86.0	+11.1	+7.6		
(29)	調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、児童がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	42.8	36.3	36.6	+6.5	+6.2		
(12)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95.2	90.1	89.4	+5.1	+5.8		
(84)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100.0	95.1	95.1	+4.9	+4.9		
(62)	(60)の質問にあるような保護者や地域の人の協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100.0	96.9	95.4	+3.1	+4.6		
(13)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	87.3	83.5	83.6	+3.8	+3.7		
(64)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数共通)	95.3	97.4	91.6	-2.1	+3.7		
(66)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)	96.8	95.5	93.3	+1.3	+3.5		
(69)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	49.2	42.3	45.7	+6.9	+3.5		
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか※よく行った	46.0	49.6	42.7	-3.6	+3.3		
(73)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	96.8	94.5	94.0	+2.3	+2.8		
(52)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	96.8	95.1	94.4	+1.7	+2.4		
(33)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	96.8	98.7	94.4	-1.9	+2.4		
(60)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	98.1	97.7	+1.9	+2.3		
(71)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	76.2	70.3	74.1	+5.9	+2.1		
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	98.4	95.3	96.5	+3.1	+1.9		
(78)	教職員は、校外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	98.5	96.4	96.9	+2.1	+1.6		
(68)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	98.5	98.9	97.6	-0.4	+0.9		
(79)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	98.4	95.3	97.5	+3.1	+0.9		
(48)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	96.8	93.0	96.0	+3.8	+0.8		
(72)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	99.2	99.3	+0.8	+0.7		
(38)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	65.1	59.3	64.5	+5.8	+0.6		
(16)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	95.2	94.8	94.7	+0.4	+0.5		
(67)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	100.0	99.5	+0.0	+0.5		
(56)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	79.4	78.5	79.1	+0.9	+0.3		
(18)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.2	98.4	94.9	-3.2	+0.3		
(40)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	96.8	96.6	96.7	+0.2	+0.1		
(63)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/算数共通)	96.9	98.9	97.2	-2.0	-0.3		
(30)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	98.4	98.2	99.0	+0.2	-0.6		
(83)	学校として業務改善に取り組んでいますか	96.8	95.3	97.4	+1.5	-0.6		
(75)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	96.8	95.3	97.4	+1.5	-0.6		

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(49)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか	93.7	92.1	94.4		+1.6		-0.7
(19)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	95.2	98.5	96.0		-3.3		-0.8
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.8	98.2	97.7		-1.4		-0.9
(17)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	92.1	91.1	93.2		+1.0		-1.1
(74)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	95.2	97.1	96.7		-1.9		-1.5
(39)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	76.2	69.4	78.0	+6.8			-1.8
(50)	調査対象学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていたか※配置されていた	12.7	13.1	14.7		-0.4		-2.0
(57)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	84.1	87.2	86.2		-3.1		-2.1
(37)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	92.1	92.2	94.3		-0.1		-2.2
(55)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	46.0	38.9	49.0	+7.1			-3.0
(76)	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	84.1	81.8	87.2		+2.3		-3.1
(82)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	95.2	97.7	98.5		-2.5		-3.3
(51)	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	93.6	96.9	97.4		-3.3		-3.8
(42)	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	92.1	93.0	96.1		-0.9		-4.0
(26)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	85.7	85.9	89.7		-0.2		-4.0
(22)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	88.9	91.4	93.0		-2.5		-4.1
(80)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	88.9	90.8	93.1		-1.9		-4.2
(20)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	85.7	91.4	90.6		-5.7		-4.9
(47)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	81.0	82.2	86.5		-1.2		-5.5
(81)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	87.3	90.9	94.2		-3.6		-6.9
(27)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	77.8	81.0	85.1		-3.2		-7.3
(44)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	49.2	39.4	56.5	+9.8			-7.3
(53)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	76.1	85.9	83.4		-9.8		-7.3
(41)	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	1.6	5.2	9.3		-3.6		-7.7
(45)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	77.7	72.9	85.7		+4.8		-8.0
(36)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか※年間の授業のうち2分の1以上	15.8	15.7	25.7		+0.1		-9.9
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	73.0	81.2	83.3		-8.2		-10.3
(59)	職場見学や職場体験活動を行っていますか※行っている	36.5	32.4	47.5		+4.1		-11.0
(77)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	57.1	77.0	69.5		-19.9		-12.4
(43)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	54.0	52.5	66.5		+1.5		-12.5
(46)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	74.6	76.2	88.1		-1.6		-13.5
(21)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	49.2	70.5	63.1		-21.3		-13.9
(35)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか※年間の授業のうち2分の1以上	20.6	31.3	35.2		-10.7		-14.6
(32)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)※よく行った	20.6	35.2	35.7		-14.6		-15.1
(58)	調査対象学年の児童に対して、小学校在籍期間中に、教育課程に位置づけられた自然の中での集団宿泊活動を行ったことがあるか、または今後行う予定がありますか(複数回実施した場合は、最も長期のもの)※2泊3日以上行った	20.7	9.2	40.8	+11.5			-20.1

(8) 学校質問紙
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0 ▼	+10.0	-10.0 ▼	+10.0
(12)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	88.4	87.8	94.6		+0.6		-6.2
(13)	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか	65.4	73.1	80.8		-7.7		-15.4
(15)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	76.9	81.4	90.2		-4.5		-13.3
(16)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	84.6	82.7	88.7		+1.9		-4.1
(17)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	69.2	90.4	93.1		-21.2		-23.9
(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	57.7	77.6	84.6		-19.9		-26.9
(19)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	76.9	88.5	85.2		-11.6		-8.3
(20)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	61.5	77.0	69.2		-15.5		-7.7
(21)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	84.6	89.7	92.6		-5.1		-8.0
(22)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100.0	100.0	98.6		+0.0		+1.4
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	96.1	94.2	95.0		+1.9		+1.1
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.1	98.8	98.3		-2.7		-2.2
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	65.4	73.1	83.6		-7.7		-18.2
(26)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	73.1	72.4	81.7		+0.7		-8.6
(27)	調査対象である第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	100.0	89.1	74.8	+10.9		+25.2	
(28)	調査対象である第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、生徒がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	30.8	31.4	33.5		-0.6		-2.7
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100.0	96.8	97.9		+3.2		+2.1
(30)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか※よく行った	19.2	30.1	34.3		-10.9		-15.1
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)※よく行った	19.2	28.8	33.1		-9.6		-13.9
(32)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100.0	97.4	91.8		+2.6	+8.2	
(33)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	61.5	80.8	64.0		-19.3		-2.5
(34)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか※年間の授業の2分の1以上	7.7	21.8	28.6		-14.1		-20.9
(35)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか※年間の授業の2分の1以上	3.8	18.6	22.9		-14.8		-19.1
(36)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	84.6	87.2	91.4		-2.6		-6.8
(37)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	53.9	57.0	66.5		-3.1		-12.6
(38)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	61.5	57.7	72.1		+3.8		-10.6
(39)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	100.0	95.6	96.2		+4.4		+3.8
(40)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	100.0	97.4	97.7		+2.6		+2.3
(41)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	80.8	80.8	85.2		+0.0		-4.4
(42)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	57.7	58.3	69.0		-0.6		-11.3
(43)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	84.6	87.8	90.7		-3.2		-6.1
(44)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	76.9	76.3	82.0		+0.6		-5.1
(45)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	57.7	69.8	73.0		-12.1		-15.3
(46)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか	88.4	93.0	94.3		-4.6		-5.9
(47)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか	69.2	79.5	81.2		-10.3		-12.0

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(48)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたが※配置されていた※配置されていた	0.0	0.0	4.4		+0.0		-4.4
(49)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	96.1	98.7	97.7		-2.6		-1.6
(50)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	96.2	96.2	92.2		+0.0		+4.0
(51)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	53.9	65.3	70.1		-11.4		-16.2
(52)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	23.0	36.5	33.0		-13.5		-10.0
(53)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	23.0	25.7	25.9		-2.7		-2.9
(54)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	50.0	60.2	71.6		-10.2		-21.6
(55)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	65.4	73.1	79.8		-7.7		-14.4
(56)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	100.0	100.0	98.9		+0.0		+1.1
(57)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	80.8	86.5	90.4		-5.7		-9.6
(58)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(57)の質問にあるような保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか	57.7	62.2	60.7		-4.5		-3.0
(59)	(57)の質問にあるような保護者や地域の人の協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	92.3	91.0	88.6		+1.3		+3.7
(60)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/数学共通)	92.3	94.8	91.9		-2.5		+0.4
(61)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/数学共通)	76.9	86.5	87.1		-9.6		-10.2
(62)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/数学共通)	73.0	74.4	73.7		-1.4		-0.7
(63)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)	84.6	89.1	90.2		-4.5		-5.6
(64)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	100.0	94.5		+0.0		+5.5
(65)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	96.2	97.4	94.5		-1.2		+1.7
(66)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	92.3	90.4	76.6		+1.9	+15.7	
(67)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与えましたか	80.8	72.4	81.1	+8.4			-0.3
(68)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか	92.3	91.0	89.0		+1.3		+3.3
(69)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	100.0	98.1		+0.0		+1.9
(70)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	92.3	88.4	88.5		+3.9		+3.8
(71)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	88.4	88.5	90.9		-0.1		-2.5
(72)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	100.0	97.4	95.5		+2.6		+4.5
(73)	教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	65.4	72.5	82.9		-7.1		-17.5
(74)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	69.2	83.3	76.5		-14.1		-7.3
(75)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	92.3	91.7	93.9		+0.6		-1.6
(76)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか	96.1	96.2	95.6		-0.1		+0.5
(77)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	80.8	73.7	86.0	+7.1			-5.2
(78)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	80.7	84.7	90.7		-4.0		-10.0
(79)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	92.3	96.1	96.9		-3.8		-4.6
(80)	学校として業務改善に取り組んでいますか	100.0	98.7	96.8		+1.3		+3.2
(81)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	76.9	78.8	85.4		-1.9		-8.5

(9) 学校質問紙
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (全国差順)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(27)	調査対象である第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	100.0	89.1	74.8	+10.9		+25.2	
(66)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	92.3	90.4	76.6		+1.9	+15.7	
(32)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100.0	97.4	91.8		+2.6	+8.2	
(64)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	100.0	94.5		+0.0		+5.5
(72)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	100.0	97.4	95.5		+2.6		+4.5
(50)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	96.2	96.2	92.2		+0.0		+4.0
(39)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	100.0	95.6	96.2		+4.4		+3.8
(70)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	92.3	88.4	88.5		+3.9		+3.8
(59)	(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	92.3	91.0	88.6		+1.3		+3.7
(68)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか	92.3	91.0	89.0		+1.3		+3.3
(80)	学校として業務改善に取り組んでいますか	100.0	98.7	96.8		+1.3		+3.2
(40)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	100.0	97.4	97.7		+2.6		+2.3
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100.0	96.8	97.9		+3.2		+2.1
(69)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	100.0	98.1		+0.0		+1.9
(65)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	96.2	97.4	94.5		-1.2		+1.7
(22)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100.0	100.0	98.6		+0.0		+1.4
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	96.1	94.2	95.0		+1.9		+1.1
(56)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	100.0	100.0	98.9		+0.0		+1.1
(76)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか	96.1	96.2	95.6		-0.1		+0.5
(60)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/数学共通)	92.3	94.8	91.9		-2.5		+0.4
(67)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与えましたか	80.8	72.4	81.1	+8.4			-0.3
(62)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/数学共通)	73.0	74.4	73.7		-1.4		-0.7
(75)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	92.3	91.7	93.9		+0.6		-1.6
(49)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	96.1	98.7	97.7		-2.6		-1.6
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.1	98.8	98.3		-2.7		-2.2
(33)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	61.5	80.8	64.0		-19.3		-2.5
(71)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	88.4	88.5	90.9		-0.1		-2.5
(28)	調査対象である第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、生徒がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか※週1回以上	30.8	31.4	33.5		-0.6		-2.7
(53)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	23.0	25.7	25.9		-2.7		-2.9
(58)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	57.7	62.2	60.7		-4.5		-3.0
(16)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	84.6	82.7	88.7		+1.9		-4.1
(41)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	80.8	80.8	85.2		+0.0		-4.4
(48)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか※配置されていた※配置されていた	0.0	0.0	4.4		+0.0		-4.4
(79)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	92.3	96.1	96.9		-3.8		-4.6
(44)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	76.9	76.3	82.0		+0.6		-5.1

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(77)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	80.8	73.7	86.0	+7.1			-5.2
(63)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)	84.6	89.1	90.2		-4.5		-5.6
(46)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか	88.4	93.0	94.3		-4.6		-5.9
(43)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	84.6	87.8	90.7		-3.2		-6.1
(12)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	88.4	87.8	94.6		+0.6		-6.2
(36)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	84.6	87.2	91.4		-2.6		-6.8
(74)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	69.2	83.3	76.5		-14.1		-7.3
(20)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	61.5	77.0	69.2		-15.5		-7.7
(21)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	84.6	89.7	92.6		-5.1		-8.0
(19)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	76.9	88.5	85.2		-11.6		-8.3
(81)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	76.9	78.8	85.4		-1.9		-8.5
(26)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	73.1	72.4	81.7		+0.7		-8.6
(57)	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	80.8	86.5	90.4		-5.7		-9.6
(78)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	80.7	84.7	90.7		-4.0		-10.0
(52)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	23.0	36.5	33.0		-13.5		-10.0
(61)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/数学共通)	76.9	86.5	87.1		-9.6		-10.2
(38)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	61.5	57.7	72.1		+3.8		-10.6
(42)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	57.7	58.3	69.0		-0.6		-11.3
(47)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか	69.2	79.5	81.2		-10.3		-12.0
(37)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	53.9	57.0	66.5		-3.1		-12.6
(15)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	76.9	81.4	90.2		-4.5		-13.3
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)※よく行った	19.2	28.8	33.1		-9.6		-13.9
(55)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	65.4	73.1	79.8		-7.7		-14.4
(30)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか※よく行った	19.2	30.1	34.3		-10.9		-15.1
(45)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	57.7	69.8	73.0		-12.1		-15.3
(13)	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか	65.4	73.1	80.8		-7.7		-15.4
(51)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	53.9	65.3	70.1		-11.4		-16.2
(73)	教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	65.4	72.5	82.9		-7.1		-17.5
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	65.4	73.1	83.6		-7.7		-18.2
(35)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか※年間の授業の2分の1以上	3.8	18.6	22.9		-14.8		-19.1
(34)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか※年間の授業の2分の1以上	7.7	21.8	28.6		-14.1		-20.9
(54)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	50.0	60.2	71.6		-10.2		-21.6
(17)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	69.2	90.4	93.1		-21.2		-23.9
(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	57.7	77.6	84.6		-19.9		-26.9

5 総括

(1) 学力調査の結果から【○成果 ●課題】(P15～P40参照)

◇小学校国語について (P15・P16・P21・P22参照)

- 国語Aでは、全8題のうち5題で全国平均を上回り、全体でも全国平均を0.5ポイント上回った。全国平均を上回った設問【1】、【3】、【6】から、小学4年生での指導内容である相手や目的に応じて適切に話したり読んだりする力の定着がみられる。日常生活に生きて働く力の育成を目指した授業展開の成果と考えられる。
- 国語Bは全国平均を0.1ポイント下回ったが、条件に従って自分の考えを書く設問は、3問中2問で全国平均を上回った。その中には全国平均を2.9ポイント上回っている設問もあり、継続指導の成果が見られる。
- 文の中で漢字を使う設問は全5題のうち4題で全国平均を上回った。その内2題は2.2ポイント以上全国平均を上回った。漢字の小テスト等普段からの地道な取組の成果と考えられる。
- 国語Aでは、主語と述語に注意して文を書き直す設問【5】(第3学年及び第4学年の指導内容)が全国平均を2.5ポイント下回っている。また、物語を書くときの構成の工夫を選択する設問【2】(第5学年及び第6学年の指導内容)においても、全国平均を0.7ポイント下回った。全国平均を下回った設問は「言葉の特徴やきまりに関する事項」であり、修飾と被修飾との関係等の文の構成や日常によく使われる敬語の使い方等の継続的な指導が必要であることが分かる。
- 国語Bでは、目的や意図に応じた文章全体の構成を問う選択の設問【2一】で全国平均を2.7ポイント下回った。自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考えて書く時間を設定し、継続的に指導する必要がある。
- 文の中で適切な漢字を使う設問では、積極的の「積」と同じ漢字を選ぶ設問が、全国平均を0.3ポイント下回った。全国平均を大きく下回ってはいないが、「セキ任」に「積」を選ぶ誤答が多く、市平均が51.1ポイントと低くなっている。書かれている内容や文の意味を理解し、該当学年に配当されている漢字を文章の中で適切に使用する学習を継続的に行うことが必要と考える。

◇小学校算数について (P17・P18・P23・P24参照)

- 算数Aでは、全14題のうち6題で全国平均を上回っている。
- 本市の課題であった分度器を開いて180度よりも大きい角の大きさを求める設問【5】(2)では、全国平均を1.0ポイント上回った。分度器を使う指導を丁寧に行っている成果であると考えられる。
- 算数Bでは、順列の規則性を解釈し、条件に合うものを判断する設問【5】(2)で全国平均を0.2ポイント上回った。問題場面における数量などを解釈して、関連付けて論理的に考察することができている。
- 算数Aでは、直径と円周の長さの関係を問う設問【7】(2)において、全国平均を6.8ポイント下回った。また、小数で表された数量関係を問う設問【1】(1)では、全国平均を5.7ポイント下回った。視覚的に捉えにくい数量関係について理解が不十分であると思われる。
- 算数Bでは、合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出す設問【1】(1)で、全国平均を6.5ポイント下回った。日常生活の事象を図形の構成要素や性質をもとに観察し、図形を判断したり、事柄が成り立つことを論理的に考察したりすることに課題がある。

◇小学校理科について（P19・P25参照）

- 前回（H27）全国平均と比べて2.7ポイントの差があったが、今回は0.2ポイントの差となっており、差が縮まっている。16問中、8問で全国平均を上回っている。
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できるかどうかをみる設問【3】（1）では、正答率66.5ポイントとなっており、全国平均を3.0ポイント上回っている。みのむしクリップの色の違いまで見極めることができている、実験などで回路を組み立てる経験がしっかりできているものと思われる。
- 設問【4】（3）は、物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことについて、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できるかどうかをみる設問である。正答率37.1ポイントとなっており、全国平均を5.6ポイント下回っている。結晶が水に溶ける様子を観察させるときに、「見えなくなる」ことから、児童は視覚的に納得することができない。はかりの上で実験を行う等して定量的な変化を捉えさせる必要がある。それと同時に、見えない世界を絵や図などを使ってモデル化して表現させるなどして、質的な見方を働かせる場面を授業の中で展開させたい。定量的な変化は濃度につながり、倉敷市の児童が苦手としている算数の割合の学習にも通じる場所なので、確実に理解させたい。

◇中学校国語について（P27～P29・P37～P39参照）

- 国語Aにおいて、行書を理解しているかどうかをみる設問では、H29は全国平均を6.2ポイント下回っていたが、H30は同様の設問【8】五で2.9ポイント下回っており、全国平均との差が縮まった。引き続き書写の指導を適切に行っていく必要がある。
- 国語Aにおいて、教科書で学習した古典の文章に係る設問【8】六（1）（2）（3）では、全国平均を上回る設問もあった。
- H30の市の平均正答率について全国平均と比較すると、国語Aは1.9ポイント、国語Bは3.8ポイント下回っており、H29（国語A－0.3ポイント、国語Bは－2.0）の結果と比べて全国平均との差が広がった。
- 国語Aにおいて、特に全国平均との差が大きい設問【8】四2では、本市の正答率は15.3%で、全国平均を7.0ポイント下回った。「心打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心打たれた」のかが分かるように書くという設問で、主語を明確にしていなかった解答が68.3ポイントとなっている。主語を明確にするという課題が改めて浮き彫りになるとともに、普段の授業においても、教師が生徒に対して主述の関係が明確な文章を書くよう指導することが大切である。
- 国語Bでは、相手に的確に伝わるように、話のあらすじを捉えて書くこと設問【3】三に課題が見られ、全国平均と比べて5.9ポイント下回っていた。本市では、書くことに例年課題があり、無解答率も17.4%と全国平均（12.4%）より高い。

◇中学校数学について（P31～P33・P41～P43参照）

- 数学Aでは、全国平均を上回る設問が8問であり、H29の12問から減少したが、絶対値に関する設問で、全国平均を15ポイント上回っている。関数に関する設問でも全国平均を3ポイント以上上回っているものが2問あり、関数に関する設問の8問中3問が全国平均を上回っている。
- 数学Aでは、全国平均を5ポイント以上下回る設問数が、H29は2問あったが、H30は9問増えている。資料の活用以外の領域において、基本的な内容

の定着に課題が見られる。

- 数学Aでは、H29に引き続いて図形領域に課題がある。図形は、12問すべての設問で全国平均を下回っている。各校において苦手とする領域として捉え、指導法の見直しと、適切な時期に適切な復習に継続して取り組む必要がある。
- 数学Bにおいて、設問【4】(1)(2)(3)の3問は、平行四辺形に関する証明問題であるが、3問すべて全国平均を6ポイント以上下回っていた。証明を振り返り、新たな性質を見いだすこと、発展的に考えて証明すること、発展的に考え、新たに見出した事柄を説明することに課題がある。

◇中学校理科について（P35・P36・P45・P46参照）

- 設問【5】(1)は、動物の生活と生物の変遷で、神経系の働きについての知識についての設問である。正答率68.7ポイント(全国平均57.2ポイント)となっており、全国平均を11.5ポイント上回っている。神経系の働きについて、目が捉えた信号を脳・脊髄に至る間にどの神経を経由するかを問う内容で、全国平均よりも高い正答率となっている。科学用語の知識は高いことがうかがえる。
- 全27問中25問で全国平均を下回っている。その中で5ポイント以上下回っている設問が4問ある。
- 設問【8】(3)は、化学変化の原子・分子の探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとする設問である。正答が、66.5ポイント(全国平均74.0ポイント)となっており、全国平均を7.5ポイント下回っている。同じ大問の(1)アルミニウムの原子記号、(2)グラフから熱の出入りを見いだすことを指摘する設問では、全国平均を2.3ポイント下回っている。(3)新たな問題を見いだすことについては、7.5ポイント下回っている。これは、日頃から知識の習得を中心とした授業を受けていることが要因の一つと考えられる。

(2) 児童生徒質問紙の結果から【○成果 ●課題】（P57～P64参照）

◇自己意識と自己肯定感について

- 小中(5)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
小中(6)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の二つの項目（P57・P59・P61・P63）については、小学校・中学校とも95%以上が、肯定的な回答をしている。規範意識が高く、友達との関係や友達の役に立つことを真剣に考えていることがうかがえる。
- 小中(1)「自分にはよいところがあると思いますか」（P55・P57・P60・P61・P63）という自尊感情に関する項目については、肯定的な回答をした児童生徒の割合が高い。肯定的な回答が年々少しずつではあるが増えていく。(【小学校】H27：76.4，H28：76.6，H29：77.7，H30：83.3【中学校】H27：68.7，H28：71.0，H29：71.7，H30：79.9)

◇家庭での学習・生活について

- 小中(18)「家の人と学校の出来事について話しますか」（P57・P59・P61・P63）という項目では、小中学校ともに全国平均を上回っており、家族と学校のことについてよく話題にしていることがうかがえる。家庭での会話が活発に行われていることを表しており、これは、例年と同じような好まし

い傾向となっている。

- 小中（14）「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」（P52・P57・P59・P61・P64）という項目において、小学校では、平日に1時間以上の学習をしている児童の割合は、全国平均と比較して高くなっている（+6.4）。この項目は、すべての項目の中で最も全国平均を上回っている。しかし、中学校では、全国平均と比較して11.9ポイント下回っている。この項目は、全国平均と比較して、すべての項目の中で二番目に低くなっている。小学校と中学校で対照的な結果となっている。
- 小中（20）「今住んでいる地域の行事に参加しているか。」（P57・P60・P61・P64）という項目では、小学校、中学校ともに全国平均と比べて、7%以上下回っている。【小学校】-11.5ポイント【中学校】-7.3ポイント

（3）学校質問紙の結果から【○成果 ●課題】（P65～P72参照）

◇学校の学習への取組について

- 小（18）中（17）「児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」（P65・P67・P69・P72）という項目において、小学校においては、95.2%となっており、全国平均を0.2%上回っている。しかし、中学校では、69.2%となっており、全国平均を23.9%下回っている。この項目は、全国平均と比較して、生徒質問紙すべての項目の中で二番目に低くなっている。
- 小（31）中（30）「平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」（P65・P67・P69・P72）という項目において、肯定的な回答は、小学校は、46.0%で、全国平均を3.3%上回っている。しかし、中学校においては、19.2%であり、全国平均を15.1%下回っている。学校全体の課題として捉えられていない現状が浮き彫りになっている。学校や教員の意識改革が求められる。

◇研修会への参加・教育課程の取組について

- 小（76）「個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか」（P66・P68），中（75）「教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか」（P70・P72）という項目において、小学校、中学校とも全国平均を下回っている。小学校は、84.1%で全国平均を3.1%下回っている。中学校は65.4%で全国平均を17.5%下回っている。積極的な教科教育の研修への参加とともに、教員が研究会等に行きやすい環境整備が大切である。
- 小（77）中（74）「前年度までに、近隣などの中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」（P66・P70）という項目において、肯定的な回答は、小学校では、57.1%で、全国平均を12.4%下回っている。中学校においても、69.2%となっており、全国平均を7.3%下回っている。

(4) 考察

- ◇小学校の国語では、国語A・国語Bを合計すると、全国平均を上回っている。どの設問もほぼ全国平均に近い値となっており、「聞くこと・話すこと」「書くこと」「読むこと」のすべての領域においてバランスよく力が身に付いていることがよく分かる。例えば「読むこと」において、情景描写について問う設問があったが、「場面についての描写を捉える」等といった学習指導要領に記載された国語科で身に付けなければならない力をしっかり見極め、授業の中で子どもたちに指導していくことが大切である。普段の授業において、それが丁寧に指導できている成果と考える。また、言語事項では、昨年度、漢字が6問中4問全国平均を下回っていたが、本年度は全国平均を5問中4問上回っている。今年度から、出題傾向が変わり、より様々な熟語を書く力が求められている。H29より始めた「基礎・基本定着モデル事業」の成果を検証していきながら、書かれている内容や意味を理解し、文の中で漢字を正しく使う力が求められている。
- ◇小学校の算数Aでは、直径と円周の長さの関係を問う設問【7】(2)や、小数で表された数量関係を問う設問【1】(1)で、全国平均より5ポイント以上下回っている。視覚的に捉えにくい数量関係について理解が不十分であると思われる。岡山県学力・学習状況調査の生活行動・学習活動調査においても「文章問題は、式や図に置きかえて考えている」という項目で、行っている層の方が高い正答率であった。線分図に自分で線や数値を書き込んだり、直径が1cmの場合と2cmの場合を図に描いたりすることで、問題をよりの確に捉え、正確に答えることができると思われる。普段からの授業においても、このように自立解決に向けて問題を読んだらノートに線分図に表したり、図を書き込んだりするような習慣を身に付けさせたい。
- ◇小学校理科においては、誤った予想を立てた児童の考えを紹介し、「○○さんの予想が正しければ」どのような結果になるかをという、新しい傾向の設問【2】(2)・【3】(2)が複数見られた。理科の実験が児童の予想通りに進む場合はあまり問題ないが、予想通りに進まない場合もあると思われる。そのような場合に、教師がすぐに正解を伝えるのではなく、「なぜ予想と違ったのか」児童自身に考えさせる場面を教師が設定することが必要である。また、実験がうまくいかなかった場合も、なぜそのような結果となったのかを普段の授業で児童に考えさせるよう研修会を通して周知を図りたい。
- ◇中学校国語においては、ほとんどの設問で全国平均を下回っている。特に本市では「書くこと」に例年課題が見られる。普段の授業において、自分の考えを明確にして書く時間を適宜設定し、書いたものを推敲したり交流したりする際に、文章を複数の観点(条件)から見直す等、観点(条件)を示して指導することが必要である。また、自分の考えを論理的に書く力を身に付けさせるためには、すべての教科で自分の考えを書く指導を行うことについて、研修等を通して徹底させたい。
- ◇中学校数学においては、「図形」と「関数」がここ数年課題となっている。しかし、なかなか改善が見られない領域である。授業改革推進リーダー・推進員、指導主事等を構成員として「授業実践モデル」を作成し、各学校に周知して理解の補強と定着を図る必要がある。

- ◇中学校理科においては、科学的な知識は定着している。しかし、児童生徒質問紙から分かるように、実験をする頻度が低いことがうかがえる。また、実験をしてそこで分かったことや自分で理解したことを他人に説明することに課題が見られる。例えば、電気分野の設問【6】(1)(2)(3)は、全国平均と比べて4～6ポイント程度低い問題が多い。このことから、実験を行うことはもちろんのこと、データ処理の経験を授業中に行い、確実に理解させるとともに、その結果について、生徒が説明できる力を身に付けることが必要であることが分かる。また、記述式の【8】(3)・【9】(2)は、全国平均を5～7ポイント程度下回っている。授業の中で、科学的に説明する文章を生徒が書き、それを交流することが必要である。科学的説明について、教師が正解を示し暗記させるような手法ではこれらの課題は解決できない。
- ◇本年度より倉敷市では、新しい学習支援ソフトを導入した。教師が授業や家庭学習に使用するプリントを出力したり、児童生徒が家庭でプリントを出力したりすることも可能である。全国学力・学習状況調査や、岡山県学力・学習状況調査の類題を作成する機能もあり、本年度の調査で課題となった設問について類題を作成し、学校に配布し、児童生徒が解くことを行う予定である。
- ◇全国学力・学習状況調査及び岡山県学力・学習状況調査の結果を受けての課題と今後の対策について、校長研修会、副校長教頭研修会で周知を図りたい。また、学力・学習状況調査で、明らかになった課題について、市教委が講師となって学校を訪問し、授業改善に関する校内研修会を行う予定である。その際に、課題がある問題の類題を学習支援ソフトで作成する方法についての実技研修会も併せて行いたい。本学習支援ソフトは、家庭学習でも児童生徒が活用できることから、その使用方法や注意点等も教員に指導する。
- ◇「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。（学習塾や家庭教師含む）」という項目では、中学校において、10%以上全国平均を下回っている。また、それに加えて、「課題の与え方についての教職員の共通理解や、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える」という項目が中学校において全国平均と比べて下回る傾向となっている。家庭学習の質と量の両面における改善が急務である。
- ◇例年配布している「春休みの課題」の内容を大幅に入れ替える予定である。今まで以上に学力調査で課題があった内容を盛り込むよう、内容を精査して倉敷市の児童生徒の課題を克服できるようなものにしたい。
- ◇8月末には「学力・学習状況調査改善プラン」を各校が提出しているが、課題の解消には、改善すべきことを明らかにした上で、期限を決めて、どのような方策で取り組むのかが大切になってくる。各校でしっかり話し合いをして、教職員が一体となって「学力・学習状況調査改善プラン」に基づいた実践をすることが大切である。

<参考資料>

平成30年度全国学力・学習状況調査における 過去の調査との経年比較（小学6年生・中学3年生）

学年	小学6年生												中学3年生【理科】						
	H30年度(全国)【小6】						H29年度(県)【小5】			H28年度(市)【小4】			H30全国			H27全国			
調査名	国語A	国語B	算数A	算数B	全体	国語	算数	全体	国語	算数	全体	国語	算数	全体	理科	調査名	H29市	H28県	H27全国
教科等	71.2	54.6	62.5	49.7	59.5	75.0	70.3	72.7	71.6	70.3	70.9	60.1	60.1	60.1	60.1	倉敷市	中3	中1	小6
倉敷市	70.8	54.3	62.1	49.7	59.2	74.4	69.8	72.1	/	/	/	/	/	/	60.1	岡山県	65.6	60.3	59.9
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.1	76.2	72.5	74.3	73.1	75.9	74.5	60.3	60.3	60.3	60.3	全国	66.1	52.6	60.8
県との差	0.4	0.3	0.4	0.0	0.3	0.6	0.5	0.5	/	/	/	0.0	0.0	0.0	0.0	県との差	-1.9	-0.7	0.0
全国との差	0.5	-0.1	-1.0	-1.8	-0.6	-1.2	-2.2	-1.7	-1.6	-5.6	-3.6	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	全国との差	-2.4	-1.3	-0.9

学年	中学3年生																					
	H30年度(全国)【中3】						H29年度(県)【中2】			H28年度(県)【中1】			平成27年度(全国)【小6】									
調査名	国語A	国語B	数学A	数学B	全体	国語	数学	全体	国語	数学	全体	国語A	国語B	算数A	算数B	全体	国語A	国語B	算数A	算数B	全体	
教科等	74.2	57.4	63.8	41.1	59.1	69.0	57.9	63.5	63.7	66.0	64.9	69.5	65.0	75.5	44.9	63.7	69.5	65.0	75.5	44.9	63.7	63.7
倉敷市	75.6	59.2	65.3	44.3	61.1	70.2	59.3	64.8	64.9	68.1	66.5	69.2	64.5	75.2	44.8	63.4	70.0	65.4	75.2	45.0	63.9	63.9
岡山県	76.1	61.2	66.1	46.9	62.6	70.4	58.4	64.4	/	/	/	70.0	65.4	75.2	45.0	63.9	70.0	65.4	75.2	45.0	63.9	63.9
全国	-1.4	-1.8	-1.5	-3.2	-2.0	-1.2	-1.4	-1.3	-1.2	-2.1	-1.6	0.3	0.5	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3
県との差	-1.9	-3.8	-2.3	-5.8	-3.5	-1.4	-0.5	-0.9	/	/	/	-0.5	-0.4	-0.1	-0.1	-0.2	-0.5	-0.4	0.3	-0.1	-0.1	-0.2
全国との差	-1.9	-3.8	-2.3	-5.8	-3.5	-1.4	-0.5	-0.9	/	/	/	-0.5	-0.4	-0.1	-0.1	-0.2	-0.5	-0.4	0.3	-0.1	-0.1	-0.2

※教科は、国語、算数・数学、理科について掲載。

倉敷市教育委員会指導課 作成